



**BMW
MOTORRAD**

RIDER'S MANUAL

R 1250 GS Adventure



MAKE LIFE A RIDE

モーターサイクルデータ

モデル

車両識別番号

カラー

初度登録

ライセンスプレート

ディーラーデータ

アフターサービス担当者

氏名

電話番号

ディーラー所在地／電話(スタンプ)

BMWの世界へようこそ。

BMW Motorrad をご購入いただき、ありがとうございます。世界中で多くの熱狂的なファンを持つBMW Motorrad のライダーの一員となられたことを、心から歓迎いたします。あらゆる交通状況のなかで、安全にライディングを楽しんでいただくためには、購入された新規車両をよく理解し、親しんでいただくことが大切です。

本書について

新しいBMW モーターサイクルを使用される前に、まず本書をお読みください。本書には、BMW モーターサイクルを操作し、あらゆる機能を十分に活かすための情報が掲載されています。

また、ライダーの安全やモーターサイクルの信頼性を確保し、愛車の価値を末永く維持するための整備とお手入れに関する情報が掲載されています。

将来、もしご使用のBMW モーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお渡しくださいますようお願いいたします。本書は、本車両にとって重要な構成部品のひとつです。

BMW と共に、安全で快適なライディングをお楽しみください。

BMW Motorrad。

01 一般的な情報	2	04 取扱方法	54
分かりやすい構成	4	イグニッションスイッチ	
記号と意味	4	／ステアリングロック	56
装備	5	Keyless Ride によるイグ	
仕様(諸元)	5	ニッション	58
本書の記述について	6	イグニッションキルス	
補足情報	6	イッチ	63
認証および運転許可	6	照明	63
データ処理について	6	ダイナミックトラクシ	
		ョンコントロール(DTC)	67
02 全体図	12	電子調整式サスペンシ	
左側面	14	ョン(D-ESA)	69
右側面	15	走行モード	72
シート下	16	走行モードPro	75
左コンビネーションス		クルーズコントロール	76
イッチ	17	発進アシスト	79
右コンビネーションス		盗難警報装置(DWA)	81
イッチ	18	タイヤ空気圧コントロー	
メーターパネル	19	ル(RDC)	84
		ヒーター	85
03 表示	20	ストレージコンパートメ	
インジケーター／警告灯	22	ント	87
TFT ディスプレイ		05 TFT ディスプレイ	88
(Pure Ride 画面)	23	一般的な情報	90
TFT ディスプレイ(メ		原理	91
ニュー画面)	24	Pure Ride 画面	97
警告表示	25	一般的な設定	98
		Bluetooth	100
		My Motorcycle	103
		ナビゲーション	106
		メディア	108
		電話	109
		ソフトウェアバージョン	
		を表示する	110

ライセンス情報を表示する	110	08 技術情報	152
06 調整	112	一般的な情報	154
ミラー	114	アンチロックブレーキシステム(ABS)	154
ヘッドライト	115	ダイナミックトラクションコントロール(DTC)	157
ウインドシールド	116	エンジンブレーキトルクレギュレーター(MSR)	159
クラッチ	117	Dynamic ESA	160
ブレーキ	118	走行モード	160
シフト動作	120	ダイナミックブレーキコントロール	164
フットレスト	121	タイヤ空気圧コントロール(RDC)	165
ハンドルバー	122	ギヤシフトアシスト	167
シート	123	発進アシスト	168
Rallye シート	126	ShiftCam	169
スプリングプリロード	127	アダプティブヘッドライト	170
ショックアブソーバー	128		
07 走行	130	09 メインテナンス	172
安全に関する注意事項	132	一般的な情報	174
定期点検	135	車載ツールセット	174
始動	136	フロントホイールスタン	
慣らし走行	139	ド	175
オフロード走行	140	エンジンオイル	175
ギヤチェンジ	141	ブレーキシステム	177
ブレーキ	142	クラッチ	182
駐車	144	クーラント	182
給油	145	タイヤ	184
モーターサイクルを搬送用に固定します	150	ホイールリム	185
		ホイール	186
		エアクリーナー	192
		ライトバルブ	194
		ジャンプスタート	198
		バッテリー	199

ヒューズ	203	ホイールとタイヤ	243
診断コネクタ	205	電装系	244
		盗難警報装置	246
10 アクセサリー	208	寸法	246
一般的な情報	210	重量	248
電源ソケット	210	性能	248
USB 充電ポート	211		
ケース	211	13 サービス	250
トップケース	214	リサイクル	252
ナビゲーションシステム	215	BMW Motorrad サービス	253
		BMW Motorrad サービス履	
11 お手入れ	222	歴	254
ケア用品	224	BMW Motorrad モバイル	
洗車	224	サービス	254
損傷しやすい車両部品の		メンテナンス作業	254
お手入れ	225	メンテナンススケ	
ペイントのお手入れ	226	ジュール	256
保護コーティング	227	BMW Motorrad 初回点検	257
長期保管	227	メンテナンスの確認	258
モーターサイクルの再使		一般整備記録	270
用	228		
		付録	272
12 テクニカルデータ	230	電子式エンジン始動ロッ	
トラブルシューティング	232	クシステム(イモビライ	
ねじ止め部	235	ザー) に関する認証	273
燃料	238	Keyless Ride に関する認	
エンジンオイル	238	証	276
エンジン	239	TFT メーターパネル用認	
クラッチ	239	証	280
ギヤボックス	240		
リヤホイールドライブ	240	索引	284
フレーム	240		
サスペンション	241		
ブレーキ	242		

一般的な情報

01

分かりやすい構成	4
記号と意味	4
装備	5
仕様(諸元)	5
本書の記述について	6
補足情報	6
認証および運転許可	6
データ処理について	6

4 一般的な情報

分かりやすい構成

本書は、使いやすさを重視して作成されています。特殊な項目についてお探しの際には、索引もご利用ください。まず、車両の概要を確認したいという場合には、第2章をご覧ください。「サービス」の章には、実施されたメインテナンスおよび修理作業がすべて記録されます。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。

記号と意味

 **注意** リスクレベルの低い危険にさらされます。回避しないことにより、軽度または中程度の怪我や損傷に至るおそれがあります。

 **警告** リスクレベルが中程度の危険にさらされます。回避しないことにより、死亡または重傷を負ったり、重度の損傷に至るおそれがあります。

 **危険** リスクレベルの高い危険にさらされます。回避しないことにより、死亡または重傷を負ったり、重度の損傷に至ります。

 **重要事項** 特別な注意事項および予防処置。回避を怠ると車両や装備品の損傷を招き、

保証の対象外になる可能性があります。

 モーターサイクルの制御、点検、調整などの手順に関する個々の情報と、お手入れについての一般的な情報を示します。

• 作業内容の指示を示します。

» 作業の結果を示します。

 説明のある参照ページを示します。

◁ アクセサリーや装備に関する情報の末尾を示します。

 締付けトルク。

 仕様(諸元)。

LA 国別仕様。

OE オプション装備
BMW Motorrad オプション装備は、モーターサイクルの製造時に工場で装着されます。

OA	アクセサリー BMW Motorrad アクセサ リーのご購入および 取り付けにつきましては、BMW Motorrad ディー ラーにて承ります。
ABS	アンチロックブレーキ システム。
D-ESA	電子調整式サスペン ション。
DTC	ダイナミックトラク ションコントロール
DWA	盗難警報装置(DWA)。
EWS	電子式イモビライ ザー。
MSR	エンジnbrakeトル クレギュレーター。
RDC	タイヤ空気圧コント ロール。

装備

BMW Motorrad のご購入に際しましては、それぞれお選びいただいたご希望の装備が装着されたモデルとなっています。本書では、BMW がご用意しているオプション(OE) および選択したアクセサリー(OA) について説明しています。そのため、ご使用のモーターサイクルには装着されていない装備についての説明が含まれている場合がございますことをご

了承ください。同様に、国別の仕様により、図示されているモーターサイクルと異なる場合があります。

ご使用のモーターサイクルに、本書に記載されていない装備が含まれている場合には、別途用意されている個別の説明書の記載をご参照ください。

仕様(諸元)

本書に掲載されている寸法、重量、性能に関する情報はすべて、DIN (ドイツ工業規格) およびその許容差規定に基づいて表記されています。

本取扱説明書のテクニカルデータと仕様は基準として参照してください。選択されたオプション装備、国別仕様または各国の測定方法などの理由により、モデル別のデータは本書と異なることがあります。詳細データについては自動車登録証でご確認いただけます。あるいは、BMW Motorrad ディーラー、その他の認定サービスパートナー、または専門の整備工場にお問い合わせください。車検証のデータが常にこの取扱説明書のデータより優先されます。

6 一般的な情報

本書の記述について

BMW Motorrad の高い安全性および品質は、デザイン、装備、アクセサリーに関する絶え間ない開発によって支えられています。そのため、本書の記述が実際のモーターサイクルとは異なる場合があります。また、BMW Motorrad はそのような誤りを完全に排除することはできません。したがって、記載内容や図、説明について責任を負いかねる場合がありますことをご理解くださいますようお願い申し上げます。

補足情報

BMW Motorrad ディーラー

BMW Motorrad ディーラーはいつでもご質問にお答えします。

インターネット

車両の Rider's Manual、アクセサリーの操作および取付説明書、技術関連情報など、BMW Motorrad に関する一般的な情報については、bmw-motorrad.com/manuals をご覧ください。

認証および運転許可

車両の認証およびアクセサリーに関する官庁の使用許可については、

bmw-motorrad.com/certification でご確認ください。

データ処理について

一般的な情報

車両にはコントロールユニットが取り付けられています。コントロールユニットは、データを車両センサーから受信したり、自身で生成または交換するなどの処理を行います。いくつかのコントロールユニットは車両の安全機能に必須であったり、ドライビングアシスタントシステムなどのように走行をサポートしたりします。さらにコントロールユニットはコンフォート機能やインフォテイメント機能を可能にします。

保存または転送されたデータの取り扱いに関する情報は、車両メーカーの個別カタログなどで得ることができます。

個人特定

各車両には一義的な車両識別番号が付けられています。国に依じて、車両識別番号、ライセンスナンバープレートおよび該当官庁により車両所有者を特定することができます。さらに、使用

した ConnectedDrive アカун
トなどにより車両で集められた
データによってライダーや車両
所有者を特定することもできま
す。

データ保護法

車両使用者は有効なデータ保護
法にしたがい、メーカーや個人
データを収集または処理する企
業に対して特定の権利を有しま
す。

車両使用者は、車両使用者の個人
データを保存する機関に対して
無償および包括的な情報開示請
求権を有します。

この機関とは次のようなものが
あります：

- 車両メーカー
- 認定サービスパートナー
- 専門の整備工場
- サービスプロバイダー

車両使用者はどの個人情報保存され、どのような目的でその
データが利用され、どこに由来す
るのか、についての情報を請求す
ることができます。これらの情
報を請求するには、所有または使
用証明が必要です。

情報開示請求には他の企業や機
関に転送されたデータに関する
情報も含まれます。

車両メーカーのウェブページに
は、有効なデータ保護に関する
注意事項が記載されています。

このデータ保護に関する注意事
項には、データの削除や訂正を行
う権利についての情報も含まれ
ます。車両メーカーはインター
ネットでも、連絡先データやデー
タ保護委託会社の問い合わせ先
を記載しています。

車両所有者はBMW Motorrad ディ
ーラーまたはその他の認定サー
ビスパートナー、専門の整備工場
において車両に保存されたデー
タを有償で読み出すことができ
ます。

車両データの読み出しは、法的に
定められた車載コンピューター
診断装置(OBD) 用ソケットから行
います。

データ開示請求のための法的要件

車両メーカーは有効な法の範囲
内で、保存されているデータを官
庁に提供する義務があります。
必要範囲のデータ提供は、犯罪証
明など個別のケースで行われま
す。

国の機関は有効な法の範囲内で、
個別のケースにおいてその機関
でデータを車両から読み出す権
利を有します。

車両の作動データ

車両を作動させる際、コントロー
ルユニットがデータを処理しま
す。

例えば以下が含まれます：

8 一般的な情報

- ホイール回転数、ホイール回転速度、動作遅延などの、モーターサイクルおよびその個々のコンポーネントのステータスメッセージ
- 温度などの環境状況

処理データは車内でのみ処理され、通常は揮発性データです。このデータは作動時間外にはメモリーされません。

コントロールユニットなどの電子部品は、技術情報を保存するためのコンポーネントを含みます。これは車両状態や部品への負荷、イベント、エラーに関する情報を一時的または長期的にメモリーすることができます。

これらの情報は一般に、以下のようなコンポーネント、モジュール、システム、および環境の状態を示すものです：

- システムコンポーネントの作動状態、例えば充填レベル、タイヤ空気圧など
- 重要なシステムコンポーネントの機能異常、故障、例えばライトおよびブレーキ
- 特別な走行状況での車両の反応、例えばドライビングスタビリティコントロールの作動
- 車両損傷の状況に関する情報

これらのデータはコントロールユニット機能の実行に必要です。さらにこれらのデータは機

能不良の検出と解消、車両メーカーによる車両機能の最適化に使用されます。

これらのデータの大部分は揮発性であり、車両自体でのみ処理されます。一部のデータのみ、状況に応じてイベントまたはディフェクトメモリーに保存されます。

例えば修理作業、サービスプロセス、保証、品質保証などでサービス業務が要求される場合、車両からこれらの技術的な情報と車両識別番号を読み出すことができます。

情報の読出しはBMW Motorradディーラーまたはその他の認定サービスパートナーあるいは専門の整備工場で行うことができます。読出しには、法律で規定された車載コンピューター診断装置(OBD)用ソケットを使用します。

データはサービスネットワークの各拠点で集計、処理、利用されます。このデータは車両の技術的な状態を記録し、故障の発見や補償義務および品質改善の遵守のために使用されます。

さらにメーカーは製造物責任法により製品監視義務を担っています。この義務を果たすために、車両メーカーは車両からの技術的なデータを必要とします。これに加えて、車両からのデータ

は顧客からの補償および保証要求の検査にも使用されます。

車両のエラーおよびイベントメモリーは、BMW Motorrad ディーラーまたはその他の認定サービスパートナーあるいは専門の整備工場において修理またはサービス作業の範囲でリセットすることができます。

データ入力と車両へのデータ転送

一般的な情報

装備に応じて、コンフォート設定および個人設定を車両にメモリーし、いつでも変更することができます。

例えばスマートフォンを介して、データを車両のエンターテイメントおよび通信システムに送信することができます。

これは装備に応じて異なります：

- 再生用音楽などのマルチメディアデータ
- ナビゲーションシステムまたは内蔵のナビゲーションシステムと接続して利用されるアドレス帳データ
- 入力された目的地
- インターネットサービスの利用に関するデータ。これらのデータは車両にローカルでメモリーすることができます。あるいはスマートフォン、USB メモリー、MP3 プレーヤーなど、車両と接

続された機器に入っています。

これらのデータを車両にメモリーした場合は、いつでも削除することができます。

これらのデータを第三者へ転送することは、オンラインサービスの利用の枠組みにおいて個人の希望に基づいてのみ行われます。これはサービス利用時の希望設定によって異なります。

モバイル端末機器の接続

装備に応じて、スマートフォンなど、車両と接続されたモバイル端末機器を車両の操作エレメントにより制御することができます。

その場合、モバイル端末機器の画像と音声をマルチメディアシステムを介して出力することができます。同時に、モバイル端末機器に特定の情報が伝送されます。接続方式によって、位置データとその他の一般車両情報などがこれに含まれます。これにより、ナビゲーションや音楽再生など、選択したアプリを最適に利用することができます。

その他のデータ処理の方式は、使用される各アプリのプロバイダーによって規定されます。可能な設定の範囲は、各アプリとモバイル端末機器のオペレーティングシステムにより異なります。

10 一般的な情報

サービス

一般的な情報

車両が無線ネットワークを使用する場合、車両とその他のシステム間でのデータ交換が可能となります。無線ネットワークは、車両固有の送受信ユニットにより、または個人的に使用するスマートフォンなどのモバイル端末機器を介して実現されます。この無線ネットワークを介していわゆるオンライン機能を利用することができます。これには、車両メーカーまたは他のプロバイダーによって提供されるオンラインサービスやアプリが含まれます。

自動車メーカーのサービス

自動車メーカーのオンラインサービスの場合、各機能の説明は取扱説明書やメーカーのウェブページなど適切な箇所にあります。そこには、関連するデータ保護法の情報も記載されています。オンラインサービスを利用する際には、個人に関するデータが使用されることがあります。データ交換は、例えば車両メーカーの専用 IT システムとの安全な接続を介して行われます。

サービス提供の範囲を超える個人データの収集、処理、利用は、法律による許可、契約による取決め、または同意に基づいてのみ行われます。また、全てのデータ接

続をオンまたはオフにすることもできます。法で定められた機能については除外されます。

他のプロバイダーのサービス

他のプロバイダーのオンラインサービスを利用する場合、これらのサービスはその都度該当するプロバイダーの責任ならびにデータ保護条件および利用条件の下で行われます。その際に交換される内容に対し、車両メーカーは何ら影響を与えません。第三者のサービス範囲における個人データの収集および処理の方法、範囲、目的についての情報は、該当するサービスプロバイダーにお問い合わせください。

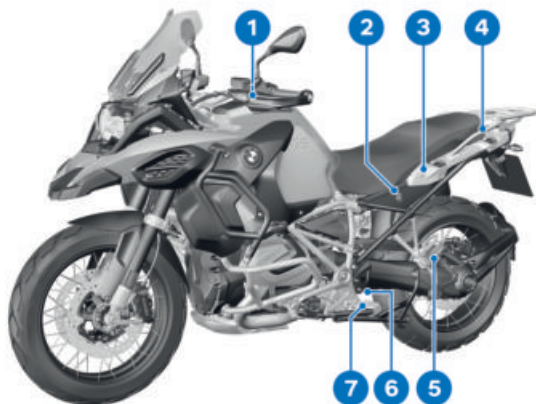
全体図

02

左側面	14
右側面	15
シート下	16
左コンビネーションスイッチ	17
右コンビネーションスイッチ	18
メーターパネル	19

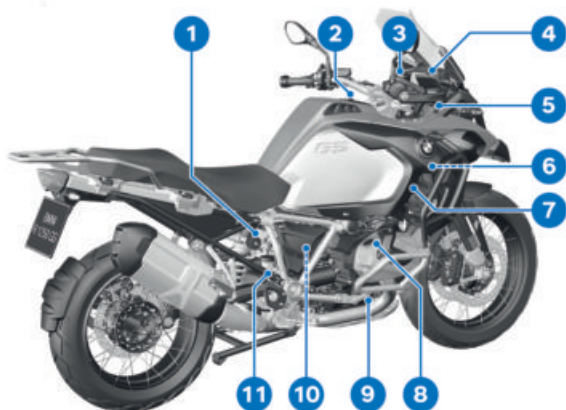
14 全体図

左側面



- 1 フューエル注入口 (▶▶▶▶ 146)
- 2 12 V ソケット
- 3 シートロック (▶▶▶▶ 123)
- 4 パッセンジャー用グリップ
- 5 パッセンジャー用フットレスト
- 6 リヤショックアブソーバーの調整(スプリングストラット下) (▶▶▶▶ 128)
- 7 フロントフットレスト

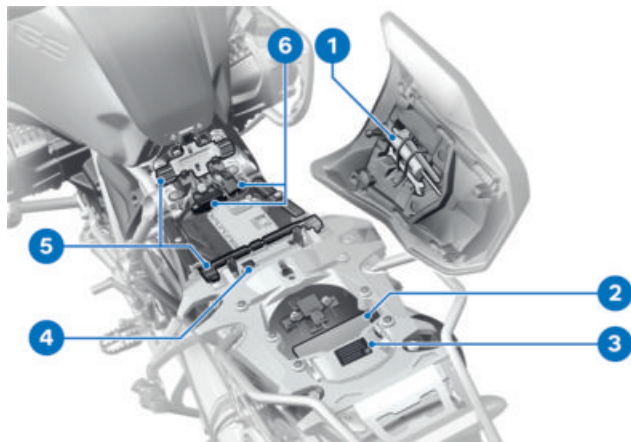
右側面



- | | |
|--|---|
| <p>1 リヤスプリングプリロードの調整 (117)</p> <p>2 エアフィルター(センターフェアリングの下) (192)</p> <p>3 フロントブレーキフルードリザーバータンク (180)</p> <p>4 ウインドシールドの高さ調整 (116)</p> <p>5 USB 充電ポート (211)</p> <p>6 車両識別番号(ステアリングヘッドベアリングのところ)
型式プレート(ステアリングヘッドベアリングのところ)</p> | <p>7 クーラントレベル表示 (182)
クーラントタンク (183)</p> <p>8 オイル注入口 (177)</p> <p>9 エンジンオイルレベル表示 (175)</p> <p>10 サイドフェアリングの後ろ(右下フレームチューブ):
バッテリー (199)
バッテリープラスターミナル (198)
診断コネクタ (205)</p> <p>11 リヤブレーキフルードリザーバータンク (181)</p> |
|--|---|

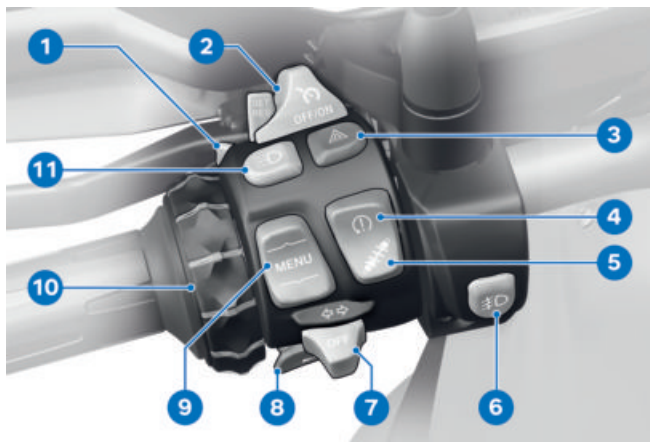
16 全体図

シート下



- 1 ツールキット (▶▶▶ 174)
- 2 Rider's Manual
- 3 タイヤ空気圧表
- 4 積載荷重一覧
- 5 フロントシート高さの調整 (▶▶▶ 125)
- 6 ヒューズ (▶▶▶ 203)

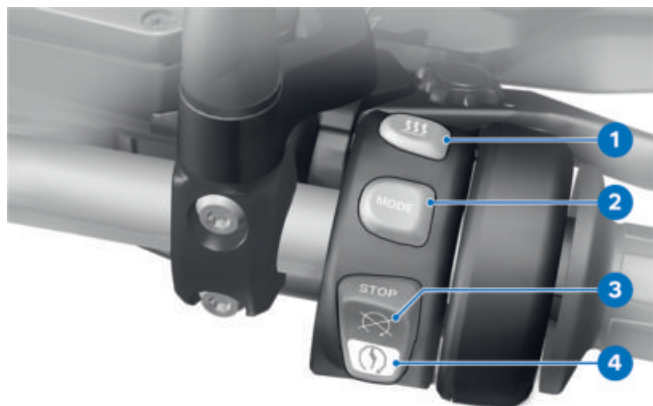
左コンビネーションスイッチ



- 1 ハイビームとパッシングライ
ット (▶▶▶▶ 64)
- 2 クルーズコントロー
ル (▶▶▶▶ 76)
- 3 ハザードランプ (▶▶▶▶ 67)
- 4 DTC (▶▶▶▶ 67)
- 5 Dynamic ESA (▶▶▶▶ 69)
- 6 補助ヘッドライト (▶▶▶▶ 64)
- 7 ウインカー (▶▶▶▶ 67)
- 8 ホーン
- 9 MENU ロックースイッ
チ (▶▶▶▶ 91)
- 10 マルチコントローラ
ー (▶▶▶▶ 91)
- 11 デイライト (▶▶▶▶ 65)

18 全体図

右コンビネーションスイッチ



- 1 ヒーター (☞ 85)
- 2 走行モード (☞ 72)
- 3 イグニッションキルスイッチ (☞ 63)
- 4 スターターボタン (☞ 136)

メーターパネル



- 1 インジケーター／警告灯 (▶▶▶ 22)
- 2 TFT ディスプレイ (▶▶▶ 23)
- 3 インジケーター／警告灯
DWA (▶▶▶ 82)
Keyless Ride (▶▶▶ 59)
- 4 フォトダイオード(メーターパネルライトの明るさの調整用)

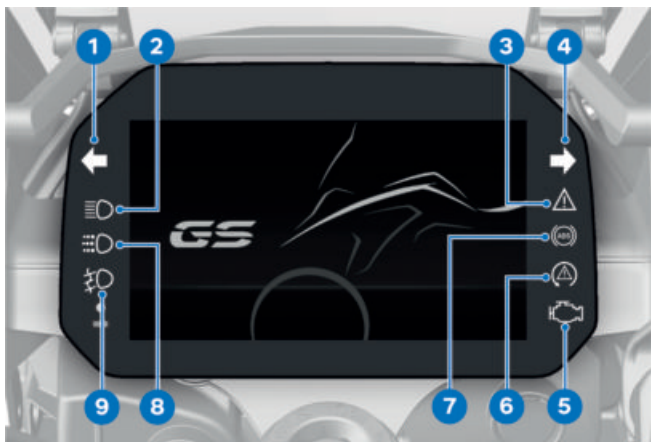
表示

03

インジケーター／警告灯	22
TFT ディスプレイ(PURE RIDE 画面)	23
TFT ディスプレイ(メニュー画面)	24
警告表示	25

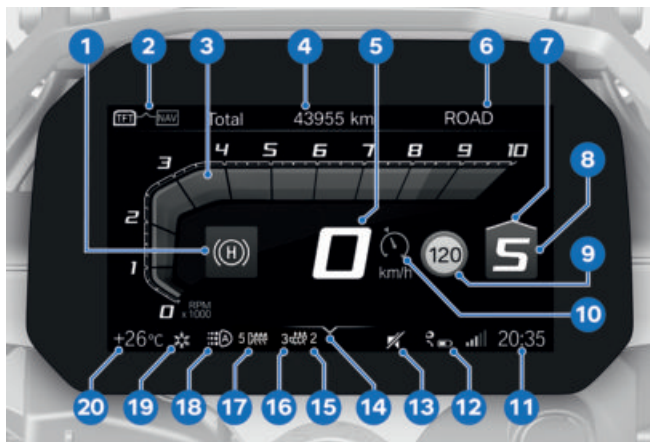
22 表示

インジケータ／警告灯



- 1 左側ウインカー (■ ■ ■ 67)
- 2 ハイビーム (■ ■ ■ 64)
- 3 ジェネラル警告灯 (■ ■ ■ 25)
- 4 右側ウインカー (■ ■ ■ 67)
- 5 駆動システム故障警告灯 (■ ■ ■ 40)
- 6 DTC (■ ■ ■ 48)
- 7 ABS (■ ■ ■ 47)
- 8 デイライト (■ ■ ■ 65)
- 9 補助ヘッドライト (■ ■ ■ 64)

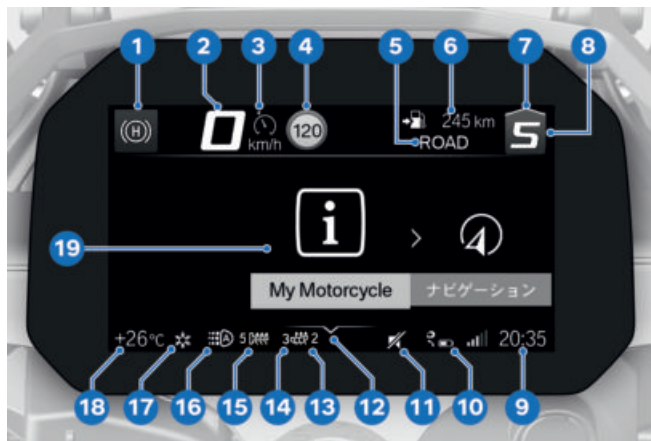
TFT ディスプレイ(PURE RIDE 画面)



- | | |
|--------------------------------------|--------------------------|
| 1 Hill Start Control (▶▶▶ 50) | 11 時計 (▶▶▶ 99) |
| 2 操作対象の切り替え (▶▶▶ 95) | 12 接続ステータス (▶▶▶ 101) |
| 3 エンジン回転数表示 (▶▶▶ 97) | 13 ミュートスイッチ (▶▶▶ 98) |
| 4 ライダー情報ステータスバー (▶▶▶ 95) | 14 操作サポート |
| 5 スピードメーター | 15 リヤシートヒーター (▶▶▶ 86) |
| 6 走行モード (▶▶▶ 72) | 16 フロントシートヒーター (▶▶▶ 85) |
| 7 シフトアップ推奨 (▶▶▶ 98) | 17 グリップヒーター (▶▶▶ 85) |
| 8 ギヤインジケーター | 18 オートマチックデイライト (▶▶▶ 66) |
| 9 Speed Limit Info (制限速度情報) (▶▶▶ 97) | 19 外気温度警告 (▶▶▶ 33) |
| 10 クルーズコントロール (▶▶▶ 76) | 20 外気温度 |

24 表示

TFT ディスプレイ(メニュー画面)



- | | |
|--------------------------------------|--------------------------|
| 1 Hill Start Control (▶▶▶ 50) | 12 操作サポート |
| 2 スピードメーター | 13 リヤシートヒーター (▶▶▶ 86) |
| 3 クルーズコントロー (▶▶▶ 76) | 14 フロントシートヒーター (▶▶▶ 85) |
| 4 Speed Limit Info (制限速度情報) (▶▶▶ 97) | 15 グリップヒーター (▶▶▶ 85) |
| 5 走行モード (▶▶▶ 72) | 16 オートマチックデिलイト (▶▶▶ 66) |
| 6 ライダー情報ステータスバー (▶▶▶ 95) | 17 外気温度警告 (▶▶▶ 33) |
| 7 シフトアップ推奨 (▶▶▶ 98) | 18 外気温度 |
| 8 ギヤインジケーター | 19 メニューエリア |
| 9 時計 (▶▶▶ 99) | |
| 10 接続ステータス | |
| 11 ミュートスイッチ (▶▶▶ 98) | |

警告表示

表示

警告は対応する警告灯により表示されます。

警告はジェネラル警告灯とTFTディスプレイのダイアログとの組み合わせで表示されます。警告の緊急性に応じて、ジェネラル警告灯が黄または赤に点灯します。



ジェネラル警告灯が、警告の緊急度に応じて表示されます。

以降のページに警告表示の一覧があります。

- 緑色の CHECK OK **1** : メッセージなし、値は最適。
- 白い円と小さな「i」 **2** : 情報。
- 黄色の三角表示 **3** : 警告メッセージ、値が最適でない。
- 赤色の三角表示 **3** : 警告メッセージ、値が限界域



値の表示

アイコン **4** には複数の異なる表示方法があります。評価に応じて異なる色が使用されます。数値 **8** と単位 **7** の代わりに、テキスト **6** も表示されます：

アイコンの色

- 緑 : (OK) 現在の値は最適。
- 青 : (冷たい！) 現在の温度は低い。
- 黄 : (低い！ / 高い！) 現在の値は低すぎるか高すぎる。
- 赤 : (熱い！ / 高い！) 現在の温度または値は高すぎる。
- 白 : (---) 有効な値がない。値の代わりに線 **5** が表示されます。



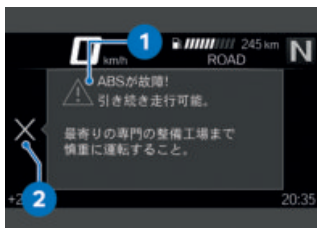
チェックコントロール表示

ディスプレイのメッセージには複数の異なる表示方法があります。優先度に応じて異なる色と記号が使用されます：

26 表示

 個々の値の評価の一部は、一定の走行時間または速度を超えて初めて可能になります。測定条件が満たされていないために測定値が表示可能になっていない場合は、値の代わりにプレースホルダーとして線が表示されます。有効な測定値がない間は、色付きアイコンの形式での評価も行われません。

ニューMy Motorcycle のページに追加タブとして付加されます (➡ 93)。故障が存在している間は、メッセージを再度呼び出すことができます。



チェックコントロールダイアログ画面

メッセージはチェックコントロールダイアログ画面 **1** として通知されます。

- 同じ優先度のチェックコントロールメッセージが複数ある場合、メッセージは発生した順序で切り替わりながら、了承確認するまで表示され続けます。
- アイコン **2** が有効表示されている場合、マルチコントローラーを左に傾けて了承確認することができます。
- チェックコントロールメッセージが、状況に合わせて、メ

警告表示一覧

インジケーター／ディスプレイテキスト
警告灯

意味

		が表示されます。	外気温度警告 (▶▶▶ 33)	
	黄色で点灯する。		無線キーが有効範囲内にない。	無線キーが受信範囲外 (▶▶▶ 33)
	黄色で点灯する。		Keyless Ride が故障！	Keyless Ride が故障している (▶▶▶ 34)
	黄色で点灯する。		無線キーバッテリーが弱い。	無線キーのバッテリーを交換する (▶▶▶ 34)
		が黄色で表示されます。	車両電装システム電圧が低すぎる (▶▶▶ 34)	
		バッテリー電圧！		
	黄色で点灯する。		が赤で表示されます。	車両電装システム電圧が限界値 (▶▶▶ 35)
		バッテリー電圧が低下している！		
	点滅します (黄)。		が赤で表示されます。	充電電圧が限界値 (▶▶▶ 35)
		バッテリー電圧が低下している！		
	黄色で点灯する。		不具合のあるバルブが表示されます。	ライトバルブの故障 (▶▶▶ 36)
	点滅します (黄)。		不具合のあるバルブが表示されます。	
	黄色で点灯する。		ライトコントロールが故障！	ライトコントロールの故障 (▶▶▶ 37)

28 表示

インジケーター／ディスプレイテキスト 警告灯

意味

	DWA バッテリーが弱い。	DWA バッテリーが弱っている (➡ 37)
	盗難防止用バッテリーが放電状態。	DWA バッテリーが空になっている (➡ 37)
	DWA が故障。	DWA が故障している (➡ 38)
 黄色で点灯する。	 エンジンオイルレベル エンジンオイルレベルを点検。	エンジンオイルレベルが低すぎる (➡ 38)
 黄色で点灯する。	 エンジン温度が高い！	エンジン温度が高い (➡ 39)
 赤色で点灯する。	 エンジンが過熱！	エンジンオーバーヒート (➡ 39)
 点灯します。	 エンジン！	駆動システムの故障 (➡ 40)
 赤色で点滅する。	 エンジン制御内に深刻な故障！	駆動システムの重大な故障 (➡ 40)
 点滅します。		
 黄色で点灯する。	 エンジン制御の通信がない。	エンジンコントロール機能停止 (➡ 40)
 点灯します。		
 黄色で点灯する。	 エンジン制御内に故障。	エンジンがエマージェンシーモードになっている (➡ 41)
 赤色で点滅する。	 エンジン制御内に深刻な故障！	エンジン制御の重度の故障 (➡ 41)

インジケーター／ ディスプレイテキスト 警告灯

意味

	黄色で点灯する。		が黄色で表示されます。	タイヤ空気圧が許容限界域にある (▶▶▶ 43)
			タイヤ空気圧が規定値ではない。	
	赤色で点滅する。		が赤で表示されます。	タイヤ空気圧が許容範囲外にある (▶▶▶ 43)
			タイヤ空気圧が規定値ではない。	
			タイヤ空気圧モニター。空気圧の損失。	
			"----"	伝送障害 (▶▶▶ 44)
	黄色で点灯する。		"----"	センサーの故障またはシステムエラー (▶▶▶ 45)
	黄色で点灯する。		タイヤ空気圧モニターが故障！	タイヤ空気圧コントロール(RDC)が故障している (▶▶▶ 45)
	黄色で点灯する。		RDC バッテリーセンサーが弱い。	タイヤ空気圧センサーのバッテリーが弱っている (▶▶▶ 45)
			転倒検知センサーが故障	転倒検知センサーが故障している (▶▶▶ 46)
	黄色で点灯する。		サイドスタンドモニターが故障。	サイドスタンドモニター故障 (▶▶▶ 46)

30 表示

インジケーター／ディスプレイテキスト

警告灯

	が定期的に点滅。		ABS 自己診断が終了していない (▶▶▶ 46)	
	黄色で点灯する。		ABS は制限付きで使用可能！	ABS の故障 (▶▶▶ 46)
	点灯します。			
	黄色で点灯する。		ABS が故障！	ABS 機能停止 (▶▶▶ 47)
	点灯します。			
	黄色で点灯する。		ABS Pro が故障！	ABS Pro 機能停止 (▶▶▶ 47)
	点灯します。			
	が不規則に点滅します。			ABS 制御はフロントホイールのみ (▶▶▶ 47)
	素早く点滅します。			DTC の介入 (▶▶▶ 48)
	ゆっくりと点滅します。			DTC 自己診断が終了していない (▶▶▶ 48)
	点灯します。		Off!	DTC が OFF になっている (▶▶▶ 48)
			駆動制御はOFF の状態。	
	黄色で点灯する。		駆動制御の機能を制限している！	DTC の使用に制限 (▶▶▶ 48)
	点灯します。			

インジケーター／ディスプレイテキスト 警告灯

意味

	黄色で点灯する。		駆動制御が故障！	DTC エラー (▶▶▶ 49)
	点灯します。			
	黄色で点灯する。		サスペンション調整が故障！	D-ESA エラー (▶▶▶ 50)
			タンクリザーブ容量に達した。	フューエルリザーブ容量に達している (▶▶▶ 50)
			が緑で表示されます。	Hill Start Control オン (▶▶▶ 50)
			点滅します(黄)。	Hill Start Control は自動でオフ (▶▶▶ 51)
			が表示されます。	Hill Start Control 作動不可 (▶▶▶ 51)
			HSC 使用不可。エンジンが始動できない。	
			シフト表示が点滅します。	ギア未学習 (▶▶▶ 51)
	緑色で点滅します。			ハザードランプは ON の状態です (▶▶▶ 51)
	緑色で点滅します。			
			が白で表示されます。	サービス期限 (▶▶▶ 52)
			サービス実施時期！	
	黄色で点灯する。		が黄色で表示されます。	サービス時期を過ぎている (▶▶▶ 52)

32 表示

インジケーター／ ディスプレイテキスト
警告灯

意味

サービス時期超過！

サービス時期を過ぎている (▶▶▶ 52)

外気温度

外気温度は TFT ディスプレイのステータスバーに表示されます。

停車時には、エンジン(モーター)放射熱により外気温度の測定に誤差が生じる場合があります。エンジン(モーター)放射熱の影響が著しい場合には、値の代わりに横線が一時的に表示されます。



外気温度が約 3 °C の限界値未満になると、路面が凍結するおそれがあります。

この温度を下回ると、TFT ディスプレイのステータスバーで外気温度表示が氷結晶アイコンとともに点滅します。

外気温度警告



が表示されます。

考えられる原因:



モーターサイクル付近で測定された外気温度

約 3 °C



警告

を超えている場合でも、路面が凍結している危険約 3 °C 事故の危険性があります

- 外気温度が低い場合、橋の上や陰になった暗い路面は凍結しているおそれがあることを考慮してください。

- よく注意して走行してください。

無線キーが受信範囲外

-Keyless Ride^{OE} 装備



黄色で点灯する。



無線キーが有効範囲内にならない。イグニッションを再度 ON にすることができない。

考えられる原因:

無線キーとエンジンエレクトロニクス間の通信が妨げられています。

- 無線キーのバッテリーを点検します。

-Keyless Ride^{OE} 装備

- 無線キーのバッテリーを交換します。(▶ 61)

- 継続走行にはスペアキーを使用してください。

34 表示

—Keyless Ride^{OE} 装備

- 無線キーのバッテリーが空になっているか、または無線キーの紛失。(▶▶ 61)
- 走行中にチェックコントロールダイアログ画面が表示されても、平静を保ってください。引き続き走行できます。エンジンは停止しません。
- 故障した無線キーはBMW Motorrad ディーラーで交換を依頼します。

Keyless Ride が故障している

—Keyless Ride^{OE} 装備



黄色で点灯する。



Keyless Ride が故障！ エンジンを止めないこと。エンジンが再始動できないことがある。

考えられる原因：

Keyless Ride コントロールユニットで通信エラーが診断により検出されました。

- エンジンを停止させないでください。できるかぎり早くBMW Motorrad ディーラー(最善)または専門の整備工場をお訪ねください。
- ▶ Keyless Ride を使用してのエンジン始動ができなくなっています。
- ▶ DWA が作動不可になっています。

無線キーのバッテリーを交換する

—Keyless Ride^{OE} 装備



黄色で点灯する。



無線キーバッテリーが弱い。機能が制限されています。バッテリーを交換してください。

考えられる原因：

- 無線キーのバッテリー容量が100%ではなくなっています。無線キーの機能は、限られた時間内のみ保証されています。
- 無線キーのバッテリーを交換します。(▶▶ 61)

車両電装システム電圧が低すぎる



が黄色で表示されます。



バッテリー電圧！ 不要な電力消費機器をOFF にする。

車両電装システム電圧が低すぎます。走行を続けると、車両エレクトロニクスがバッテリーを放電させます。

考えられる原因：

電流消費量の大きい電装品(ヒーター機能付きベストなど) が使用されている、多くの電装品が同時に使用されている、またはバッテリーの故障。

- 不要な電装品を OFF にするか、車両電装システムから外してください。
- 不具合がまだ生じるか、接続されている電装品がなくても発生する場合には、できる限り早く BMW Motorrad ディーラー（最善）または専門の整備工場に故障の修理を依頼してください。
- 不要な電装品を OFF にするか、車両電装システムから外してください。
- 不具合がまだ生じるか、接続されている電装品がなくても発生する場合には、できる限り早く BMW Motorrad ディーラー（最善）または専門の整備工場に故障の修理を依頼してください。

車両電装システム電圧が限界値



黄色で点灯する。



が赤で表示されます。



バッテリー電圧が低下している！ 電力消費機器がOFF になった。バッテリーを点検すること。

充電電圧が限界値



点滅します(黄)。



が赤で表示されます。



バッテリー電圧が低下している！ バッテリー充電不可。バッテリーレベルを点検すること。



警告

車両システムの機能停止

事故の危険

- 走行を続けしないでください。



警告

車両システムの機能停止

事故の危険

- 走行を続けしないでください。

車両電装システム電圧が限界値です。走行を続けると、車両エレクトロニクスがバッテリーを放電させます。

考えられる原因:

電流消費量の大きい電装品（ヒーター機能付きベストなど）が使用されている、多くの電装品が同時に使用されている、またはバッテリーの故障。

バッテリーが充電されていません。走行を続けると、車両エレクトロニクスがバッテリーを放電させます。

考えられる原因:

オルタネーターまたはオルタネータードライブが故障、またはオルタネーターレギュレーター（電圧調整器）用ヒューズが溶断。

36 表示

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ライトバルブの故障

 黄色で点灯する。

 不具合のあるバルブが表示されます：

 ハイビームが故障！

 左フロントウインカーが故障！ または右フロントウインカーが故障！

 ロービームが故障！

 フロントポジションが故障！

—デイトタイムランニングライト^{OE} 装備

 デイライトが故障！ <

—補助ヘッドライト^{OE} 装備

 左補助ヘッドライトが故障！ または右補助ヘッドライトが故障！ <

 テールライトが故障！

 ブレーキライトが故障！

 左リヤウインカーが故障！ または右リヤウインカーが故障！

 ライセンスプレートライトが故障！

—正規ディーラーに点検を依頼すること。

 点滅します(黄)。

—アダプティブヘッドライト^{OE} 装備

 不具合のあるバルブが表示されます：

 アダプティブヘッドライトの故障。<

警告

車両バルブ機能停止による道路交通での車両の見過ごし

安全に関わる危険

- 故障したライトバルブはできるかぎり早く交換してください。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

考えられる原因：

1個または複数のバルブが故障しています。

- 目視点検を行い、故障したバルブを検出します。
- LED バルブをアセンブリーで交換します。その交換はBMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に依頼してください。

ライトコントロールの故障



黄色で点灯する。



ライトコントロールが故障！ 正規ディーラーに点検を依頼すること。



警告

市街地走行中にモーターサイクルが車両照明の故障によって見過ごされる

安全に関わる危険

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

車両照明の一部またはすべてが故障しています。

考えられる原因:

ライトコントロールが通信エラーを診断で検出しました。

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

DWA バッテリーが弱っている

–盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備



DWA バッテリーが弱い。制約なし。正規ディーラーへ予約を入れること。



このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。

考えられる原因:

DWA バッテリーがフル充電されていません。DWA の機能が保証されるのは、バッテリーのターミナルを外している場合、ごく限られた時間内のみです。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

DWA バッテリーが空になっている

–盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備



盗難防止用バッテリーが放電状態。独自のアラームなし。正規ディーラーへ予約を入れること。



このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。

考えられる原因:

DWA バッテリーが充電されていません。DWA の機能は、バッテリーのターミナルを外している場合、保証されません。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

38 表示

DWA が故障している

—盗難防止装置 (DWA) ^{OE} 装備



DWA が故障。正規ディーラーに点検を依頼すること。

考えられる原因:

DWA コントロールユニットで通信エラーが診断により検出されました。

●BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

» DWA が ON にならない、または OFF にならなくなっている。

» 誤警報の可能性あります。

電子制御式オイルレベルコントロール



電子制御式オイルレベルコントロールは、エンジン内のオイルレベルをOK または低い！ により評価します。

電子式オイルレベルコントロールについては、以下の条件が満たされていなければならないか、必要に応じて複数の測定が必要となります：

—ライダーがモーターサイクルに着座しており、車両がすでに min 10 km/h 以上で走行した状態であること。

—エンジンを 20 秒間以上アイドリングさせていること

—エンジンが作動温度状態であること。

—モーターサイクルが平坦な場所に真っ直ぐに立っていること。

—サイドスタンドが格納されており、モーターサイクルがメイン (センター) スタンドで立てられていないこと。

—スプリングストラットが荷重状態に合わせて調整されており、D-ESA が荷重モード Auto であること。

測定が完全でないか、あるいは必要な条件が満たされていない場合、オイルの評価判定はできません。注意表示の代わりに横線(---)が表示されます。

エンジンオイルレベルが低すぎる



黄色で点灯する。



エンジンオイルレベル エンジンオイルレベルを点検。

考えられる原因:

電子式オイルレベルセンサーがエンジンオイルレベルが低すぎることを検知しました。モーターサイクルが平坦な路面の上に真っ直ぐに立っていない場合、オイルレベルが正常であってもメッセージが表示されることがあります。次の燃料補給時に：

●エンジンオイルレベルを点検します。(175)

点検窓でオイルレベルが低すぎる場合：

- エンジンオイルを補充します。(177)

点検窓でオイルレベルが正常な場合：

- 電子式オイルレベルコントロールに関する条件が満たされているかを点検します。

オイルレベルがMAX のやや下側にある場合でも注意事項が何度也表示される場合：

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

エンジン温度が高い



黄色で点灯する。



エンジン温度が高い！ 冷却のため適度に走行を続行。



重要事項

オーバーヒートしているエンジンでの走行

エンジンの損傷

- 必ず下記の処置を順守してください。

考えられる原因：

クーラントレベルが低すぎます。

- クーラントレベルを点検します。(182)

クーラントレベルが低すぎる場合：

- エンジンを冷まします。

- クーラントを補充する。(183)。

- 専門の整備工場で冷却システムの点検を受けてください。BMW Motorrad パートナーが最も信頼できます。

考えられる原因：

クーラント温度が高すぎます。

- 可能であれば、エンジンを冷ますためにパーシャルロード域で走行します。

クーラント温度がより頻繁に高くなりすぎる場合：

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

エンジンオーバーヒート



赤色で点灯する。



エンジンが過熱！ 慎重に停車しエンジンを停止。



重要事項

オーバーヒートしているエンジンでの走行

エンジンの損傷

- 必ず下記の処置を順守してください。

40 表示

考えられる原因:

クーラントレベルが低すぎます。

- クーラントレベルを点検します。(182)

クーラントレベルが低すぎる場合:

- エンジンを冷まします。
- クーラントを補充する(183)。
- 専門の整備工場で冷却システムの点検を受けてください。BMW Motorrad パートナーが最も信頼できます。

考えられる原因:

エンジンがオーバーヒートしています。

- 慎重に停車し、エンジンが冷めた状態になるまで、エンジンを止めておいてください。
- エンジンが頻繁にオーバーヒートする場合には、できる限り早く、BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に故障の修理を依頼してください。

駆動システムの故障



点灯します。



エンジン! 正規ディーラーに点検を依頼すること。

考えられる原因:

エンジンコントロールユニットが、有害物質の排出に作用する故障を診断しました。

- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。
» 走行を続行することは可能です。ただし、有害物質の排出規定値を超えています。

駆動システムの重大な故障



赤色で点滅する。



点滅します。



エンジン制御内に深刻な故障! 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因:

エンジンマネジメントシステムが、エキゾーストシステムの損傷に至るおそれのある故障を診断で検出しました。

- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。
» 走行を続行することは可能ですが、推奨されません。

エンジンコントロール機能停止



黄色で点灯する。



点灯します。



エンジン制御の通信がない。複数のシステムが該当。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因:

エンジンコントロールユニットとの通信が停止しました。

- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

エンジンがエマージェンシーモードになっている



黄色で点灯する。



エンジン制御内に故障。引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。



警告

**エンジンのエマージェンシーモードにおける特殊な走行特性
事故の危険**

- 急激な加速や追い越しは避けてください。

考えられる原因:

エンジンコントロールユニットが、エンジン出力またはスロットルレスポンスを低下させる故障を診断しました。エンジンはエマージェンシーモードで作動しています。最悪の場合、エンジンが停止し、その後始動できなくなります。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。
- » 走行を続けることは可能ですが、通常どおりのエンジン出力や回転数域に達しないおそれがあります。

エンジン制御の重度の故障



赤色で点滅する。



エンジン制御内に深刻な故障！ 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。



警告

エマージェンシーモードでのエンジンの損傷

事故の危険

- 低速で走行し、急激な加速や追い越しは避けてください。
- 可能であれば車両の回収を依頼し、専門の整備工場に、出来ればBMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

考えられる原因:

エンジンマネジメントシステムが重度の不具合につながるおそれが不具合を検出しました。エンジンはエマージェンシーモードにあります。

- 走行を続行することは可能ですが、推奨されません。
- 高負荷高回転数域での走行は、できるかぎり避けてください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

タイヤ空気圧

-タイヤ空気圧モニター (RDC)^{0E} 装備

タイヤ空気圧の表示は、メニュー画面MY MOTORCYCLE およびチェックコントロールメッセージの他に、画面タイヤ空気圧 でも行われます：



左の値はフロントホイール、右の値はリアホイールのものです。タイヤ空気圧の規定値と実測値に基づいて圧力差が表示されます。

イグニッションを ON にした直後は、横線のみが表示されます。タイヤ空気圧値の伝送は、以下の最低速度を初めて超過した後に開始されます：



RDC センサーは OFF

min 30 km/h (最低速度を超過した後に初めて、RDC センサーは信号を車両に発信します。)



タイヤ空気圧は TFT ディスプレイに温度補正されて表示され、常に以下のタイヤ内の空気温度の場合の値となります：

20 °C



さらにタイヤのアイコンが黄色または赤色で表示される場合は、警告です。圧力差は同様に色付きのエクスクラメー

ションマーク (!) で強調されます。

 該当する値が許容限界域にある場合には、さらにジェネラル警告灯(黄) が点灯します。

 測定されたタイヤ空気圧が許容範囲外にある場合は、ジェネラル警告灯(赤) が点滅します。

BMW Motorrad RDC に関する詳細情報については「技術情報」の章 ( 165) ページ以降) を参照してください。

タイヤ空気圧が許容限界域にある

 黄色で点灯する。

 が黄色で表示されます。

 タイヤ空気圧が規定値ではない。タイヤ空気圧を点検すること。

考えられる原因:

測定されたタイヤ空気圧が許容限界域にあります。

- タイヤ充填圧を調整します。
- タイヤ空気圧の調整を行う前に、温度補正および空気圧調整に関する情報を「技術情報」の章で確認し、遵守してください：

– タイヤ空気圧モニター (RDC) ^{OE} 装備

» 温度補正 ( 166) <

– タイヤ空気圧モニター (RDC) ^{OE} 装備

» 充填圧の調整 ( 166) <

» 規定タイヤ空気圧は、以下の箇所に記載されています：

– Rider's Manual の裏表紙面

– メーターパネル(タイヤ空気圧 画面)

– シート下の注意書

タイヤ空気圧が許容範囲外にある

 赤色で点滅する。

 が赤で表示されます。

 タイヤ空気圧が規定値ではない。直ちに停車！ タイヤ空気圧を点検すること。

 タイヤ空気圧モニター。空気圧の損失。直ちに停車！ タイヤ空気圧を点検すること。

警告

タイヤ空気圧が許容範囲外にある。

事故の危険、車両の走行特性の悪化。

• ドライビングスタイルを状況に合わせます。

44 表示

考えられる原因:

測定されたタイヤ空気圧が許容範囲外にあります。

- タイヤが損傷していないか、走行に適した状態か点検します。

タイヤがまだ走行できる状態の場合:

- できるだけ早く、タイヤ空気圧を修正します。
- タイヤ空気圧の調整を行う前に、温度補正および空気圧調整に関する情報を「技術情報」の章で確認し、遵守してください:
 - タイヤ空気圧モニター (RDC) ^{OE} 装備

» 温度補正 (▶▶▶ 166) <

- タイヤ空気圧モニター (RDC) ^{OE} 装備

» 充填圧の調整 (▶▶▶ 166) <

» 規定タイヤ空気圧は、以下の箇所に記載されています:

- Rider's Manual の裏表紙面

- メーターパネル(タイヤ空気圧 画面)

- シート下の注意書

» 規定タイヤ空気圧は、以下の箇所に記載されています:

- Rider's Manual の裏表紙面

- メーターパネル(タイヤ空気圧 画面)

- 左フォークにあるステッカー

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の修理工場に、タイ

ヤが損傷していないか、点検を依頼してください。



オフロード走行用にRDC 警告メッセージを OFF にすることができます。

タイヤの走行可能性が確実にない場合:

- 走行を続けしないでください。
- エマージェンシーサービスに知らせます。

伝送障害



"----"

考えられる原因:

車両が最小速度に達していませんでした (▶▶▶ 165)。



RDC センサーは OFF

min 30 km/h (最低速度を超過した後初めて、RDC センサーは信号を車両に発信します。)

- RDC 表示を、高速走行時に点検します。さらにジェネラル警告灯が点灯する場合には、継続している不具合があることを示します。このような場合には、
- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

考えられる原因:

RDC センサーへの無線接続に障害が発生しています。原因としては、周辺に無線機器／システム類があり、これらが RDC コントロールユニットとセンサー間の接続を妨害している、ということが考えられます。

- RDC 表示を、別の環境／状況で点検します。さらにジェネラル警告灯が点灯する場合には、継続している不具合があることを示します。このような場合には、
- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

センサーの故障またはシステムエラー

 黄色で点灯する。

 "----"

考えられる原因:

RDC センサー非装備のホイールが装着されています。

- RDC センサー付きホイールセットを後付けします。

考えられる原因:

1 つまたは 2 つの RDC センサーが故障しているか、またはシステムエラーが発生しています。

- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

タイヤ空気圧コントロール(RDC)が故障している

 黄色で点灯する。

 タイヤ空気圧モニターが故障！ 機能が制限されている。正規ディーラーに点検を依頼すること。

考えられる原因:

RDC コントロールユニットで通信エラーが診断により検出されました。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。
- » タイヤ空気圧警告を使用不可。

タイヤ空気圧センサーのバッテリーが弱っている

 黄色で点灯する。

 RDC バッテリーセンサーが弱い。機能が制限されている。正規ディーラーに依頼すること。

 このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。

考えられる原因:

タイヤ充填圧センサーのバッテリーがフル充電されていません。タイヤ充填圧コントロール機能が保証されるのは、ごく限られた時間内のみです。

46 表示

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

転倒検知センサーが故障している

 転倒検知センサーが故障 正規ディーラーに点検を依頼すること。

考えられる原因:

転倒検知センサーが機能していません。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

サイドスタンドモニター故障

 黄色で点灯する。

 サイドスタンドモニターが故障。走行続行可。停車してエンジン停止！ 専門整備工場にて要点検。

考えられる原因:

 サイドスタンドスイッチまたは配線が損傷している

最低速度を下回ると、エンジンが停止します。走行を続けることはできません。

min 5 km/h

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ABS 自己診断が終了していない

 点滅します。

考えられる原因:

 ABS 自己診断が終了していません

ABS は、自己診断が終了しなかったため、使用できません。(ホイール回転数センサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります : 5 km/h)

- ゆっくりと発進します。自己診断が完了するまで ABS 機能を使用できないことに注意してください。

ABS の故障

 黄色で点灯する。

 点灯します。

 ABS は制限付きで使用可能！ 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因:

ABS コントロールユニットが故障を検知しました。パーシャリーインテグラルブレーキングおよび Dynamic Brake Control 機能が機能停止しています。ABS 機能は制限付きで使用可能です。

- 走行を続行することは可能です。ABS エラーメッセージにつながりかねない特別な状況に関するその他の情報に注意してください (155)。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ABS 機能停止



黄色で点灯する。



点灯します。



ABS が故障！ 引き続き走行可能。最寄りの専門の整備工場まで慎重に運転すること。

考えられる原因：

ABS コントロールユニットが故障を検知しました。ABS 機能は使用できません。

- 走行を続行することは可能です。ABS エラーメッセージにつながりかねない特別な状況に関するその他の情報に注意してください (155)。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ABS Pro 機能停止



黄色で点灯する。



点灯します。



ABS Pro が故障！ 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因：

ABS Pro 機能のモニターが不具合を検知しました。ABS Pro 機能は使用できません。ABS 機能は引き続き使用可能です。ABS は直進走行でのブレーキでのみサポートを行います。

- 走行を続行することは可能です。ABS Pro のエラーメッセージにつながる可能性のある特別な状況についての詳細情報をご確認ください (155)。
- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

ABS 制御はフロントホイールのみ — 走行モード Pro^{OE} 装備



が不規則に点滅します。

考えられる原因：

リヤホイール用 ABS 制御が、現在選択されている走行モードで OFF になっています。リヤブレーキにより、リヤホイールがロックするおそれがあります。

48 表示

- 走行モードの設定を確認します。
- 走行モードに関する詳細情報については、「技術情報」の章をご覧ください (160)。

DTC の介入



素早く点滅します。

考えられる原因:

DTC がリヤホイールの不安定な状態を検知し、トルクを制限します。

インジケーター／警告灯は、DTC の介入よりも長く点滅し続けます。これにより、厳しい走行状態の後でも、ライダーは制御が正常に行われた旨のフィードバック表示を目にすることができます。

- 走行を続行することは可能です。よく注意して走行してください。

DTC 自己診断が終了していない



ゆっくりと点滅します。

考えられる原因:



DTC 自己診断が終了していません

自己診断が終了していないため、DTC 機能を使用できません。(ホイール回転数センサーの点検を行うには、モーターサイクルがエンジン作動状態で最低速度に達していなければなりません: min 5 km/h)

- ゆっくりと発進します。自己診断が終了するまで DTC 機能が使用できないことに注意してください。

DTC が OFF になっている



点灯します。



Off!



駆動制御は OFF の状態。

考えられる原因:

DTC システムは、ライダーによって OFF にされました。

- DTC を ON にします。(68)

DTC の使用に制限



黄色で点灯する。



点灯します。



駆動制御の機能を制限している！ 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因：

DTC コントロールユニットが故障を検知しました。



重要事項

コンポーネントの損傷

センサーなどの故障、それに起因する機能不良

- ライダーまたはリアシートの下に物を搬送しないようにします。
- ツールキットをロックします。

- 角速度センサーを損傷しないようにします。
- DTC 機能の使用に制限があることに注意してください。
- 走行を続行することは可能です。DTC の故障につながりかねない状況についての詳細情報をご確認ください (▶ 158)。
- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

DTC エラー



黄色で点灯する。



点灯します。



駆動制御が故障！ 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因：

DTC コントロールユニットが故障を検知しました。



重要事項

コンポーネントの損傷

センサーなどの故障、それに起因する機能不良

- ライダーまたはリアシートの下に物を搬送しないようにします。
- ツールキットをロックします。

- 角速度センサーを損傷しないようにします。
- DTC 機能が使用できない、または機能の使用に制限があることに注意してください。
- 走行を続行することは可能です。DTC の故障につながりかねない状況についての詳細情報をご確認ください (▶ 158)。
- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に、でき

50 表示

るかぎり早く故障の修理を依頼してください。

D-ESA エラー

-Dynamic ESA^{OE} 装備



黄色で点灯する。



サスペンション調整が故障！引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因:

D-ESA コントロールユニットが故障を検知しました。原因はショックアブソーバーまたはスプリング調整、あるいはその両方である可能性があります。積載荷重モードAutoでは、原因は走行位置アライメント機能の障害である可能性もあります。この状態にあるモーターサイクルでは、ショックアブソーバーが極めて硬くなっている可能性があり、特に悪路では乗り心地が不快になります。それとは別に、スプリングプリロードの調整が誤っている可能性もあります。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

フューエルリザーブ容量に達している



タンクリザーブ容量に達した。最寄りのガソリンスタンドへ。



警告

燃料不足による不規則なエンジン回転またはエンジン停止
触媒コンバーターの損傷、事故を起こす危険

- フューエルタンクを空にしないでください。

考えられる原因:

フューエルタンクには、リザーブ用フューエルがまだ最大容量入っています。



フューエルリザーブ容量

約 4 l

- 給油手順。(146)

Hill Start Control オン



が緑で表示されます。

考えられる原因:

ライダーがHill Start Control (168) を ON にしました。

- Hill Start Control を OFF にします。
- Hill Start Control を操作します。(79)

Hill Start Control は自動でオフ



点滅します(黄)。

考えられる原因:

Hill Start Control は自動的にオフになりました。

- サイドスタンドが出されました。
- » サイドスタンドが出されると、Hill Start Control はオフになります。
- エンジンが停止されました。
- » エンジンを停止すると、Hill Start Control はオフになります。
- Hill Start Control を操作します。(111111 79)

Hill Start Control 作動不可



が表示されます。

HSC 使用不可。エンジンが始動できない。

考えられる原因:

Hill Start Control を作動することができません。

- サイドスタンドを格納します。
- » Hill Start Control はサイドスタンドが折りたたまれた状態でのみ機能します。
- エンジンを始動させます。
- » Hill Start Control はエンジンが作動した状態でのみ機能します。

ギア未学習

ーシフトアシストPro^{OE} 装備



シフト表示が点滅します。

考えられる原因:

ーシフトアシストPro^{OE} 装備

トランスミッションセンサーの学習が不完全です。

- アイドリングの学習を行うには、ニュートラル N に入れ、停止状態でエンジンを 10 秒以上作動させます。
- クラッチ操作によりすべてのギヤに切り替えて、それぞれのギヤで 10 秒以上走行します。
- » トランスミッションセンサーの学習が正常に行われると、ギヤインジケータの点滅が止まります。
- ートランスミッションセンサーの学習が完全に行われると、ギヤシフトアシスト Pro が記載通りに機能します (111111 167)。
- 学習に失敗した場合は、BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に不具合の修理を依頼してください。

ハザードランプは ON の状態で



緑色で点滅します。



緑色で点滅します。

52 表示

考えられる原因:

ハザードフラッシャーはライダーによって ON にされました。

- ハザードランプを操作します。(▶▶▶ 67)

サービス表示

 サービス時期を過ぎた場合には、日付もしくは距離表示に加えてジェネラル警告灯が黄色に点灯します。

サービス時期を過ぎた場合、チェックコントロールメッセージが黄色で表示されます。さらに、サービス、サービス時期、残余走行距離が、メニュー画面MY MOTORCYCLE およびサービス実施時期 にエクスクラメーションマーク (!) 付きで強調表示されます。

 サービス期日まで1カ月以上あるのにサービス表示が表示されている場合、実際に即した日付に再度調整する必要があります。この症状は、バッテリーの接続が切られた場合に発生することがあります。

サービス期限

 が白で表示されます。

サービス実施時期！ 専門の整備工場にサービスの実施を依頼すること。

考えられる原因:

走行能力または日付のため、サービスの期限が来ています。

- BMW Motorrad ディーラーにサービスの実施を依頼してください。

» 車両の運転および交通の安全性が保たれます。

» 車両を最善の状態で保持することが確保されます。

サービス時期を過ぎている

 黄色で点灯する。

 が黄色で表示されます。

サービス時期超過！ 専門の整備工場にサービスの実施を依頼すること。

考えられる原因:

走行距離または日付が原因で、サービスの期限が切れています。

- BMW Motorrad ディーラーにサービスの実施を依頼してください。

» 車両の運転および交通の安全性が保たれます。

» 車両を最善の状態で保持することが確保されます。

取扱方法

04

イグニッションスイッチ／ステアリングロック	56
KEYLESS RIDE によるイグニッション	58
イグニッションキルスイッチ	63
照明	63
ダイナミックトラクションコントロール(DTC)	67
電子調整式サスペンション(D-ESA)	69
走行モード	72
走行モードPRO	75
クルーズコントロール	76
発進アシスト	79
盗難警報装置(DWA)	81
タイヤ空気圧コントロール(RDC)	84
ヒーター	85
ストレージコンパートメント	87

56 取扱方法

イグニッションスイッチ／ステアリングロック

キー

車両キーは2本あります。

キーを紛失した場合には、電子式エンジン始動ロックシステム(イモビライザー) (EWS) に関する注意事項に従ってください (▶ 57)。

イグニッションスイッチ／ステアリングロック、タンクキャップ、シートロックは、1本の同じ車両キーで操作できます。

ご要望により、ケースおよびトップケースも車両キーで操作するようにできます。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場にお問い合わせください。

ステアリングロックをロックする

- ハンドルを左に回します。



- ハンドルバーを少し動かしながら、車両キーをポジション 1 に回します。
- » イグニッション、ライトとすべての電気回路が OFF になります。
- » ステアリングロックがロックされています。
- » 車両キーを抜き取ることができます。

イグニッションを ON にする



- イグニッションキーをイグニッションハンドルロックに差し込み、ポジション 1 に回します。
- » スモールライトおよびすべての電気回路が ON になります。

- » Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶▶ 137)
- » ABS 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 137)
- » DTC 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 138)

イグニッションを OFF にする



- 車両キーをポジション **1** に回します。
- » イグニッションのスイッチをオフにすると、メーターパネルはもう少しの間 ON のままで、場合により故障メッセージを表示します。
- » ステアリングロックが解除されます。
- » 追加装備機器は限られた時間内で使用可能です。
- » 電源ソケットからバッテリーの充電ができます。
- » 車両キーを抜き取ることができます。

ーデイトタイムランニングライト^{OE} 装備

- イグニッションを OFF にした後、短時間でデイトライトが消灯します。◁

ー補助ヘッドライト^{OE} 装備

- イグニッションを OFF にした後、短時間で補助ヘッドライトが消灯します。◁

電子式エンジン始動ロックシステム(イモビライザー) (EWS)

モーターサイクルの電子制御システムは、イグニッションスイッチ/ステアリングロックのリングアンテナを介して、車両キーに内蔵されているデータを認識します。この車両キーが「権限あり」と認識されて初めて、エンジンマネジメントシステムがエンジンの始動を許可します。

 その他の車両キー(スペアキーなど) が始動に使用されている車両キーと一緒に取り付けられていると、電子システムが「認識されない」ことがあり、エンジンの始動が許可されない場合があります。

車両キーは必ず別々に保管してください。

58 取扱方法

車両キーを紛失した場合は、BMW Motorrad ディーラーでこのキーを停止させることができます。

そのためには必ず、モーターサイクルに付属している他のすべてのキーもお持ちください。使用停止となった車両キーでエンジンを始動させることはできなくなります。しかし、使用停止となった車両キーを再度登録し直すことは可能です。

追加のスペアキーは、BMW Motorrad ディーラーからのみ入手できます。車両キーはセーフティシステムの一部ですので、ディーラーではお渡しする方の身元を確認させていただきます。

KEYLESS RIDE によるイグニッション

—Keyless Ride^{OE} 装備

キー

 無線キーを検索している間は、無線キー用表示灯が点滅します。

無線キーまたは予備キーが検出された場合は消えます。

無線キーまたは予備キーが認識されない場合は、一時的に点灯します。

お客様にお渡しするのは、無線キー 1 本ならびにスペアキー 1 本です。キーを紛失した場合に

は、電子式エンジン始動ロックシステム(イモビライザー) (EWS) に関する注意事項に従ってください (■ 57)。

イグニッション、タンクキャップ、盗難警報装置は、無線キーを使用して制御します。シートロック、トップケース、ケースは手動で操作することができます。

 無線キーが手に届く範囲にないと(ケース内またはトップケース内など)、車両を始動することはできません。無線キーがない状態が続くと、バッテリーを保護するため、イグニッションが約 90 秒後に OFF になります。

無線キーを身に付けておく(ジャケットのポケットなど) か、または予備キーを携行することをお勧めします。



Keyless Ride の走行可能
距離無線キー

—Keyless Ride^{OE} 装備

約 1 m<

ステアリングロックをロックする

前提条件

ハンドルバーを左方向へ回します。無線キーは受信範囲内です。



- ボタン **1** を押し続けます。
- » ステアリングロックが音をたててロックします。
- » イグニッション、ライトとすべての電気回路が OFF になります。
- ステアリングロックをロック解除するには、ボタン **1** を短く押します。

イグニッションを ON にする

前提条件

無線キーは受信範囲内です。



- イグニッションは、以下の2通りの方法で ON にすることができます。

バリエーション 1:

- ボタン **1** を短押しします。
- » スモールライトおよびすべての電気回路が ON になります。
- ーデイトタイムランニングライト^{OE} 装備
- » デイライトは ON の状態です。◁
- ー補助ヘッドライト^{OE} 装備
- » 補助ヘッドライトは ON の状態です。◁
- » Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶▶ 137)
- » ABS 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 137)

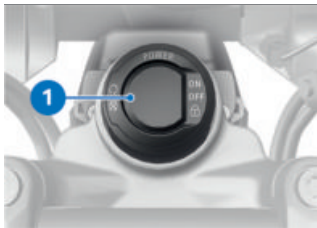
バリエーション 2:

- ステアリングロックがロックされている状態で、ボタン **1** を押したまま保ちます。
- » ステアリングロックがロック解除されます。
- » ポジション／パーキングライトとすべての機能回路が ON になります。
- ーデイトタイムランニングライト^{OE} 装備
- » デイライトは ON の状態です。◁
- ー補助ヘッドライト^{OE} 装備
- » 補助ヘッドライトは ON の状態です。◁
- » Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶▶ 137)
- » ABS 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 137)

60 取扱方法

イグニッションを OFF にする 前提条件

無線キーは受信範囲内です。



- イグニッションは、以下の2通りの方法で OFF にすることができます。

バリエーション 1:

- ボタン 1 を短押しします。
 - » ライトが OFF になります。
 - » ステアリングロックが解除されます。

バリエーション 2:

- ハンドルを左に回します。
- ボタン 1 を押し続けます。
 - » ライトが OFF になります。
 - » ステアリングロックがロックされます。

電子式エンジン始動ロックシステム(イモビライザー) (EWS)

モーターサイクルの電子制御システムは、無線ロックのリングアンテナを介して、無線キーに蓄積されているデータを確認します。無線キーが「権限あり」と認識されてはじめて、エンジンコン

トロールユニットが、エンジン始動を許可します。

 その他の無線キー(スペアキーなど) が始動に使用されている無線キーと一緒に取り付けられていると、電子システムが「認識されない」ことがあり、エンジンの始動が許可されない場合があります。無線キーは必ず別々に保管してください。

無線キーを紛失したときなどには、BMW Motorrad ディーラーでそのキーの使用を停止することができます。そのためには必ず、モーターサイクルに付属している他のすべてのキーもお持ちください。

使用停止となった無線キーでエンジンを始動させることはできなくなります。しかし、使用停止となった無線キーを再度登録し直すことは可能です。

追加のスペアキーは、BMW Motorrad ディーラーからのみ入手できます。無線キーはセーフティシステムの一部ですので、ディーラーではお渡しする方の身元を確認させていただきます。

無線キーのバッテリーが空になっているか、または無線キーの紛失



- キーを紛失した場合には、電子式イモビライザー(EWS)に関する注意事項に従ってください。
- 走行中に無線キーを紛失した場合には、スペアキーを使用して車両を始動させることができます。
- 無線キーのバッテリーが空になっている場合、無線キーでリアフェンダーにタッチすることにより、車両をスタートすることができます。
- スペアキー **1** または空の無線キー **2** をリアフェンダーのところでアンテナ **3** の高さにして保持します。

 スペアキーまたは空の無線キーが、リアフェンダーにしっかりと接していなければなりません。

 エンジン始動をその間に行わなければならない時間。その後、再度ロック解除を行う必要があります。

30 s

- » Pre-Ride-Check が実行されます。
- 無線キーが検知されました。
- エンジンを始動することができません。
- エンジンを始動させます。
(▶▶▶ 136)

無線キーのバッテリーを交換する

ボタンを短押ししても長押ししても、無線キーが反応しない：

- 無線キーのバッテリー容量が充分ではありません。



無線キーバッテリーが弱い。機能が制限されています。バッテリーを交換してください。

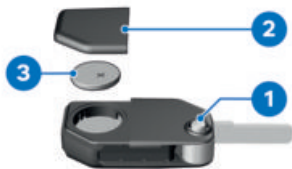
62 取扱方法

危険

バッテリーを飲み込んだ場合
負傷のおそれや生命にかかわる危険

- 車両キーにはバッテリーとしてボタン電池が含まれています。バッテリーまたはボタン電池が飲み込まれると、体内の炎症や化学熱傷などにより、2時間以内に重態に陥ったり、致命傷を負うことになるおそれがあります。
- 車両キーおよびバッテリーは、お子様の手の届かないところに保管してください。
- バッテリーやボタン電池を飲み込んだ疑いや、それらが体内にある疑いがある場合には、直ちに医師に連絡してください。

- バッテリーを交換します。



- ボタン **1** を押します。
» キーが開きます。

- バッテリーカバー **2** を押し上げます。
- バッテリー **3** を取り外します。
- 使用済みバッテリーは法規に従って廃棄処分してください。バッテリーを家庭ごみとして捨てないでください。

重要事項

不適切なバッテリー、または入れ方が正しくないバッテリー
コンポーネントの損傷

- 規定のバッテリーを使用してください。
 - バッテリーを組み込む際に、極性が正しいか確認してください。
- 新しいバッテリーをプラスターミナルを上にして組み込みます。

 バッテリータイプ

Keyless Ride 無線キー

CR 2032

- バッテリーカバー **2** を取り付けます。
» メーターパネルのインジケーター／警告灯が点滅します。
» 無線キーは再び機能することができます。

イグニッションキルスイッチ



1 イグニッションキルスイッチ



警告

走行中のイグニッションキルスイッチの操作

リヤホイールのロックによる
転倒の危険

- 走行中はイグニッションキルスイッチを操作しないでください。

イグニッションキルスイッチにより、エンジンを素早く簡単に停止させることができます。



A エンジン停止

B 通常の操作ポジション

照明

ロービームおよびポジションライト／パークングライト

イグニッションを ON にすると、パークングライトは自動的に ON になります。



ポジション／パークングライトはバッテリーに負荷をかけます。イグニッションを ON にするのは限られた時間の間だけにしてください。

エンジンの始動後、ロービームは自動的に ON になります。

ーデイトタイムランニングライト^{0E}
装備

またはロービームの代わりに、昼間の間はデイトライトを ON にすることもできます。

64 取扱方法

ハイビームとパッシングライト

- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 56)



- スイッチ 1 を前方へ押し、ハイビームヘッドライトを ON にします。
- スイッチ 1 を後方へ引き、パッシングライトを操作します。

フォローミーホームライト

- イグニッションを OFF にします。(▶▶▶ 57)



- イグニッションをオフにした直後、スイッチ 1 を後方へ引き、ホームライトが点灯するまで引いたまま維持します。

» 車両照明が 1 分間点灯し、自動的に再び消灯します。

– これは、駐車後に家のドアまでの通路を照らすためなどに使用することができます。

パーキングライト

- イグニッションを OFF にします。(▶▶▶ 57)



- イグニッションを OFF にした直後、パーキングライトが ON になるまで、ボタン 1 を左方向へ押した状態で保ちます。
- パーキングライトを OFF にするため、イグニッションを ON にしてから再び OFF にします。

補助ヘッドライト

– 補助ヘッドライト ^{OE} 装備

前提条件

補助ヘッドライトは、ロービームが ON のときにのみ、ON になりません。

 補助ヘッドライトはフォグライトとして使用することができ、悪天候の場合にのみ、

設定することが認められています。それぞれの国における道路交通規則を必ず遵守してください。

- エンジンを始動させます。
(▶▶▶ 136)



- ボタン **1** を操作し、補助ヘッドライトを ON にします。



点灯します。

- ボタン **1** を再度操作し、補助ヘッドライトを OFF にします。

手動デイルイト

ーデイトタイムランニングライト 0E 装備

前提条件

オートマチックデイルイトは OFF の状態です。



警告

暗闇でデイルイトをオンにする。

事故の危険

- 暗闇ではデイルイトを使用しないでください。



デイルイトは、ロービームに比べて対向車からの視認性に優れています。それにより、昼間の視認性が向上します。

- エンジンを始動させます。
(▶▶▶ 136)
- メニュー設定、車両設定、ライトで機能オートマチックデイルイトを OFF にします。



- ボタン **1** を操作し、デイルイトを ON にします。



点灯します。

» ロービーム、フロントポジションライト／パーキングライトが OFF になります。

66 取扱方法

- 周囲が暗い場合やトンネル内：ボタン **1** を再度操作すると、デイルイトが OFF に、ロービームおよびフロントポジション／パーキングライトが ON になります。

 デイルイトが ON のときにハイビームを ON にすると、デイルイトが約 2 秒後に OFF になり、ハイビーム、ロービーム、フロントポジション／パーキングライトが ON になります。ハイビームヘッドライトが再度 OFF になると、デイルイトは自動的に再度 ON になりません。必要に応じて、手動で再度 ON にします。

オートマチックデイルイト

—デイトタイムランニングライト ^{OE} 装備

 デイルイトとロービームの切り替え(フロントポジションライト／パーキングライトを含む)は自動で行われます。



警告

オートマチックデイルイトは照明状況について自身で下す判断に代わるものではない事故が起こる危険

- 照明状況がよくない場合には、オートマチックデイルイトを OFF にします。

- メニュー設定、車両設定、ライトで、機能オートマチックデイルイトを ON にします。



が表示されます。

» 周囲輝度が特定の値を下回ると、自動的にロービームが ON になります (例えば、トンネルの中)。十分な周囲輝度が検知されると、デイルイトは再度 ON になります。



点灯します。

ライトが自動で ON になった場合の手動操作

—デイトタイムランニングライト ^{OE} 装備

—デイルイトスイッチが操作されると、デイルイトが OFF になり、ロービームおよびフロントポジションライト／パーキングライトが ON になります(トンネルに入るときに、周囲の明るさが原因でオートマチックデイルイトの反応が遅れる場合など)。

—デイルイトスイッチを再度操作すると、オートマチックデイルイトは再び ON になります。つまり、周囲の明るさが必要なレベルに到達すると、デイルイトは再び ON になります。

ハザードランプ

- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 56)

 ハザードランプはバッテリーを消耗させます。ハザードランプは必要な場合にだけ使用するようにしてください。



- ハザードフラッシャーを ON にするには、ボタン **1** を操作します。
- »イグニッションを OFF にすることができます。
- ハザードフラッシャーをオフにするには、必要に応じてイグニッションをオンにし、ボタン **1** を再度操作します。

ウインカー

- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 56)
- メニュー設定、車両設定 を呼び出し、メニュー項目ライト を選択します。
- コンフォートウインカー を ON または OFF にします。



- ボタン **1** を左または右に押すと、ウインカーが ON になります。
- »コンフォートウインカーが ON の場合には、車速に応じた走行距離に達すると、ウインカーは自動的に OFF になります。
- またはその代わりに、ボタン **1** を押すと、ウインカーが OFF になります。

ダイナミックトラクションコントロール(DTC)

DTC を OFF にする

- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 56)

 ダイナミックトラクションコントロール(DTC) は走行中も OFF にすることができます。

68 取扱方法



- DTC インジケータの表示が変化するまで、ボタン **1** を押したまま保ちます。

ボタン **1** を操作した直後に DTC システムステータス ON が表示されます。



点灯します。

可能性のある DTC システムステータス OFF! が表示されます。

- ステータスが切り替わったら、ボタン **1** から指を離します。新しい DTC システムステータス OFF! が短時間表示されます。



引き続き点灯します。

» DTC 機能は OFF の状態です。

DTC を ON にする



- DTC インジケータの表示が変化するまで、ボタン **1** を押したまま保ちます。

ボタン **1** を操作した直後に DTC システムステータス OFF! が表示されます。



消灯します。自己診断が完了していない場合には、点滅し始めます。

可能性のある DTC システムステータス ON が表示されます。

- ステータスが切り替わったら、ボタン **1** から指を離します。



消灯したままか、点滅を続けます。

新しい DTC システムステータス ON が短時間表示されます。

» DTC 機能は ON の状態です。

- ダイナミックトラクションコントロール(DTC)に関する詳細情報については、「技術情報」の章を参照してください (157)。

電子調整式サスペンション(D-ESA)

Dynamic ESA の設定方法

—Dynamic ESA^{OE} 装備

電子調整式サスペンションDynamic ESA はモーターサイクルを積載条件に自動的に適合させることができます。スプリングプリロードをAuto に設定しておけば、ライダーが積載調整を気にかける必要はなくなります。

Dynamic ESA に関する詳細情報については、「技術情報」の章を参照してください (▶▶▶ 160)。

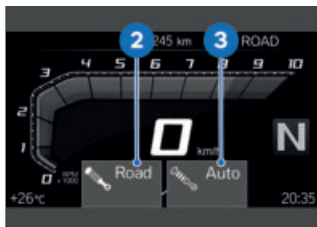
サスペンション設定を表示する

—Dynamic ESA^{OE} 装備

- イグニッションを ON にします。 (▶▶▶ 56)



- 現在の設定を表示させるには、ボタン 1 を短押しします。



ボタン 1 を操作した直後に、ダンピング 2 とスプリングプリロード 3 用のサスペンション設定が表示されます。

» 少し経つと、表示は再び自動的に消えます。

ショックアブソーバーを調整する

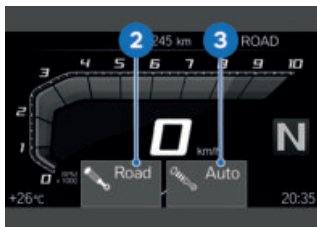
—Dynamic ESA^{OE} 装備

- イグニッションを ON にします。 (▶▶▶ 56)



- 現在の設定を表示させるには、ボタン 1 を短押しします。

70 取扱方法



ボタン 1 を操作した直後に、ダンピング 2 とスプリングプリロード 3 用のサスペンション設定が表示されます。

ショックアブソーバーを調整するには：

- ご希望の設定が表示されるまで、ボタン 1 を繰り返し短く押します。

 ダンピングの調整は、走行中でもできます。



選択矢印 4 が表示されます。

» 選択矢印 4 はステータスが切り替わった後に非表示になります。

以下の設定が可能です：

- Road：快適なオンロード走行用のダンピング
- Dynamic：ダイナミックなオンロード走行用のダンピング
- Enduro：オフロード走行用ダンピング。走行モードENDURO またはENDURO PRO でのみ使用可能で、これらの走行モードでもそれ以上調整することはできません。

選択した走行モードで調整ができない場合は、以下のメッセージが出ます：走行モード ENDURO でダンパーが調整不可。

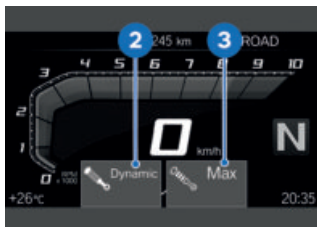
スプリングプリロードを調整する

- イグニッションを ON にします。(▶ 56)



- 現在の設定を表示させるには、ボタン 1 を短押しします。

72 取扱方法



ダンピング 2 とスプリングプリロード 3 用の新しいサスペンション設定が短時間表示されます。

- 温度が非常に低い場合には、スプリングプリロードを高くする前に、モーターサイクルの負荷を軽減してください。必要に応じて、パッセンジャーに降りてもらってください。
- » 設定の終了後、サスペンション設定は非表示になります。
- » 積載荷重モードAuto では、発進してはじめてスプリングプリロードが調整されます。

走行モード

走行モードの使用

BMW Motorrad は、お客様がご自身の状況に合わせて選択できるように、モーターサイクルの使用についてのシナリオを作成しました：

標準装備

- ECO：航続可能距離が最適化された走行。
- RAIN：雨でぬれた路面でのライディング。
- ROAD：乾いた路面でのライディング。

走行モードPro^{OE} 装備

走行モード Pro を使用

- ENDURO：ストリートタイヤ装着時のオフロード走行。
- DYNAMIC：乾いた路面でのダイナミックな走行。
- ENDURO PRO：ライダーによる設定を考慮した上での、粗い路面用のオフロードタイヤを装着したオフロード走行。
- DYNAMIC PRO：ライダーによる設定を考慮した上での、乾いた路面でのダイナミックな走行。

これらのシナリオでは、エンジン特性曲線、DTC、ABS、MSR による最適な相互作用がそれぞれ用意されています。

-Dynamic ESA^{OE} 装備

サスペンション調整もまた選択されたシナリオに適合されません。

走行モードに関する詳細情報については、「技術情報」の章をご覧ください (▶▶ 160)。

走行モード事前選択

走行中にも使用可能な走行モードを、事前選択することができます。2～4種類の走行モードから同時に選択可能です。

工場設定：

ECO、RAIN およびROAD

－走行モード Pro を使用

さらに：ENDURO、DYNAMIC、ENDURO PRO およびDYNAMIC PRO

走行モードを事前選択する

- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 56)
- メニュー設定、車両設定、走行モードの事前選択 を呼び出します。
- 走行モードを選択します。

以下の走行モードから選択することができます：

- －ECO: 航続可能距離が最適化された走行用。
 - －RAIN: 雨で濡れた(ウェット) 路面での走行用。
 - －ROAD: 乾いた(ドライ) 路面での走行用。
 - －走行モードPro^{OE} 装備
- さらに、以下の走行モードを選択することができます：
- －DYNAMIC: 乾いた(ドライ) 路面でのダイナミックな走行用。
 - －ENDURO: オンロードタイヤ装着時のオフロード走行用。

－DYN PRO: ライダーによる設定を考慮に入れた、乾いた(ドライ) 路面でのダイナミックな走行用。

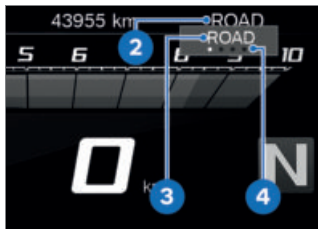
－ENDURO PRO: ライダーによる設定を考慮に入れた、オフロードブロックタイヤ装着時のオフロード走行用。◀

走行モードを選択する

- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 56)
- 走行モードを事前選択します。(▶▶▶ 73)



- ボタン 1 を押します。



現在有効な走行モード 2 はバックグラウンドに移動し、選択可

74 取扱方法

能な最初の走行モード **3** が表示されます。ガイドサポート **4** に、利用可能な走行モード数が表示されます。



重要事項

オンロード運転中にオフロードモード(ENDURO および ENDURO PRO) を ON にする

ABS またはDTC の制御範囲において、ブレーキ動作時または加速時に運転／走行状態が不安定になることによる転倒の危険

- ・オフロードモード(ENDURO および ENDURO PRO) は、オフロード走行時にのみ、ON にしてください。

- ・ご希望の走行モードが表示されるまで、ボタン **1** を繰り返し押しします。

—走行モードPro^{OE} 装備



工場設定では、走行モードENDURO PRO がONの場合は、リヤホイールのABS制御は作動解除されています。◁

—走行モードPro^{OE} 装備



走行モードまたはその設定に応じて、走行ダイナミクス制御システムの介入が制限されていることがあります。

起こりうる制限については、注意！ABSの設定。などのポップアップメッセージで表示されます。

ABS インジケーターが不規則に点滅。

ABS のような走行ダイナミクス制御システムに関する詳細情報については、「技術情報」の章をご覧ください。◁

- » 車両停止状態の場合には、選択されている走行モードが約2秒後に作動します。

- » 走行中に新しい走行モードをONにするには、以下の前提条件が必要です：

- スロットルグリップがアイドル位置にある。

- ブレーキが操作されていない。

- クルーズコントロールは非作動状態。

- » 設定された走行モードは、エンジン特性曲線、DTC、ABS、MSRの適切な調整も含めて、イグニッションをOFFにした後も維持されます。

走行モードPRO

ー走行モードPro^{OE} 装備

設定方法

走行モードProは、走行モード事前選択で選択されている場合のみ、個別に設定することができません。

走行モードProを選択する

- イグニッションを ON にします。(➡ 56)
- メニュー設定、車両設定、走行モードの事前選択 を呼び出します。
- 走行モード ENDURO PRO または走行モード DYNAMIC PRO を選択します。
- 設定を呼び出します。

Enduro Pro を設定する

ー走行モードPro^{OE} 装備

- 走行モードPro を選択します。(➡ 75)



システムエンジン が選択されています。現在の設定がダイアグ

ラム 1 として、システムに関する説明 2 付きで表示されます。

- システムを選択し、確定します。



可能な設定 3 およびそれに関する説明 4 に目を通すことができます。

- システムを設定します。
- » システムエンジン、DTC、ABS は同じ方法で設定することができます。
- 設定は工場設定に戻すことができます：
- 走行モードの設定をリセットします。(➡ 76)

Dynamic Pro を設定する

- 走行モードPro を選択します。(➡ 75)
- 走行モード ENDURO PRO の場合のようにシステムを設定します。

76 取扱方法

走行モードの設定をリセットする

- 走行モード Pro を選択します。(▶▶ 75)
- リセット を選択し、確定します。
 - » 走行モード ENDURO PRO には以下の工場設定が適用されます：
 - エンジン: Road
 - DTC: Enduro Pro
 - ABS: Enduro Pro
 - » 走行モード DYNAMIC PRO には以下の工場設定が適用されます：
 - エンジン: Dynamic
 - DTC: Dyna Pro
 - ABS: Dynamic

クルーズコントロール

- クルーズコントロール^{OE} 装備

設定時の表示(制限速度情報が無効)



クルーズコントロールのアイコン 1 は、Pure Ride 画面と上側ステータスバーに表示されます。

設定時の表示(制限速度情報が有効)



クルーズコントロールのアイコン 1 は、Pure Ride 画面と上側ステータスバーに表示されます。

クルーズコントロールを ON にする

前提条件

走行モード ECO、RAIN、ROAD または DYNAMIC が選択されています。

 走行モード ENDURO および ENDURO PRO では、クルーズコントロールは使用できません。



- スイッチ 1 を右方向へスライドさせます。

» ボタン 2 を操作することができます。

車速を設定する



- ボタン 1 を前方向へ短押しします。

 クルーズコントロールの調整範囲(ギヤに応じて異なる)

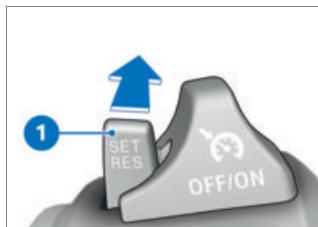
20...210 km/h



が表示されます。

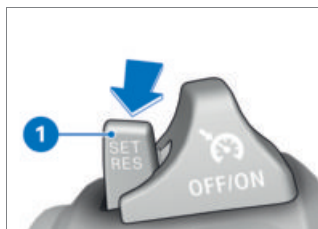
» その時の車速を維持し、記憶します。

加速する



- ボタン 1 を前方向へ短押しします。
- » 押すたびに速度が約 1 km/h ずつ上昇します。
- ボタン 1 を前方へ押し続けます。
- » 車速が無段階に加速します。
- » ボタン 1 がそれ以上操作されないと、到達した車速が維持され、保存されます。

減速する



- ボタン 1 を後方へ短押しします。
- » 押すたびに速度が約 1 km/h ずつ低下します。

78 取扱方法

- ボタン 1 を後方へ押し続けます。
- » 車速が無段階に減速します。
- » ボタン 1 がそれ以上操作されないと、到達した車速が維持され、保存されます。

クルーズコントロールを作動解除する

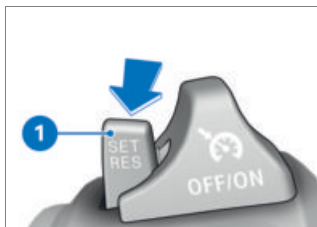
- ブレーキ、クラッチまたはスロットルグリップ(スロットルを基本位置よりさらに戻し、完全に閉じる)を操作し、クルーズコントロールを作動解除します。

 ギヤシフトアシストPro を使用してシフトダウンを行う場合には、安全上の理由から、クルーズコントロールは自動的に OFF になります。

 ABS または DTC の介入時には、安全上の理由から、クルーズコントロールは自動的に作動解除されます。DTC がライダーによって作動解除されると、クルーズコントロールも作動解除されます。

 が非表示になります。

前回の速度を再設定する

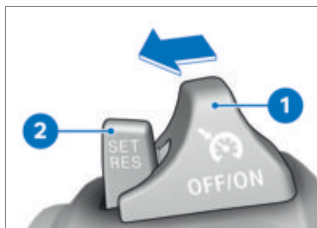


- ボタン 1 を後方へ短押しして、保存されている車速に再び設定します。

 スロットルを操作することでは、クルーズコントロールは作動解除されません。たとえ登録速度以下に減速するつもりでも、スロットルグリップから手を放した後、速度は登録速度までしか上がりません。

 が表示されます。

クルーズコントロールを OFF にする



- スイッチ 1 を左方向へずらしします。

» システムが OFF になります。



が非表示になります。

» ボタン 2 がブロックされています。

発進アシスト

表示



発進アシスト用アイコン 1 は、Pure Ride 画面および上側のステータスバーに表示されます。

Hill Start Control を操作する 前提条件

停車状態で、エンジンが作動していること。



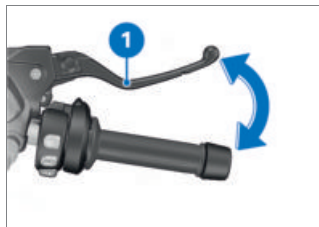
重要事項

発進アシストの故障 事故が起こる危険

- 手動ブレーキにより、モーターサイクルをしっかりと停車します。



発進アシストHill Start Control は登り坂での発進をより容易にするための単なるコンフォートシステムであり、パーキングブレーキと混同してはなりません。



- ハンドブレーキレバー 1 またはブレーキペダルを強く操作し、すばやく再び放します。



が緑で表示されます。

» Hill Start Control は ON の状態です。

- Hill Start Control を OFF にするには、ブレーキレバー 1 またはブレーキペダルを再度操作します。



が非表示になります。

- またはその代わりに、1 速または 2 速で発進します。



Hill Start Control を使用して発進するには、発進時にスロットルグリップを操作する必要があります。

80 取扱方法

 が非表示になります。

» Hill Start Control は OFF の状態です。

- Hill Start Control に関する詳細情報については、「技術情報」の章を参照してください (▶▶ 168)。

Hill Start Control を ON にする / OFF にする

- イグニッションを ON にします。(▶▶ 56)
- メニュー設定、車両設定 を呼び出します。
- ヒルスタートコントロール を ON または OFF にします。

Hill Start Control Pro を操作する

一走行モードPro^{OE} 装備

前提条件

停車状態で、エンジンが作動していること。

重要事項

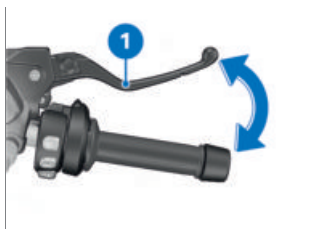
発進アシストの故障

事故が起こる危険

- 手動ブレーキにより、モーターサイクルをしっかりと停車します。

 発進アシストHill Start Control Pro は傾斜での発進を容易にするための一種のコンフォートシステムであり、パーキングブレーキに代わるものではありません。

 傾斜が 40 %以上の場合には、発進アシストHill Start Control Pro を使用してはいけません。



- ハンドブレーキレバー **1** またはブレーキペダルを強く操作し、すばやく再び放します。
- またはその代わりに、傾斜 3 %以上の場所で車両停止状態から発進する場合に、約 1 秒ブレーキを操作します。

 が緑で表示されます。

» Hill Start Control Pro は ON の状態です。

- Hill Start Control Pro を OFF にするには、ブレーキレバー **1** またはブレーキペダルを再度操作します。

 Hill Start Control Pro をブレーキレバーで OFF にした場合、自動Hill Start Control がその後の 4 m は OFF の状態になります。

 が非表示になります。

- またはその代わりに、1 速または 2 速で発進します。

 Hill Start Control Pro を使用して発進するには、発進時にスロットルグリップを操作する必要があります。

 が非表示になります。

- » Hill Start Control Pro は OFF の状態です。
- Hill Start Control Pro に関する詳細情報については、「技術情報」の章を参照してください (▶▶▶ 168)。

Hill Start Control Pro を設定する

一走行モードPro^{OE} 装備

- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 56)
- メニュー設定、車両設定 を呼び出します。
- HSC Pro を選択します。
- Hill Start Control Pro を OFF にするには、OFF を選択します。

» Hill Start Control Pro は OFF の状態です。

- 手動Hill Start Control Pro を ON にするには、手動 を選択します。
- » Hill Start Control Pro はハンドブレーキレバーまたはブレーキペダルを強く押すことにより作動させることができます。
- 自動Hill Start Control Pro を ON にするには、自動 を選択します。
- » Hill Start Control Pro はハンドブレーキレバーまたはブレーキペダルを強く押すことにより作動させることができます。
- » 傾斜 3 %以上の場所で車両停止状態から発進する場合に約 1 秒ブレーキ操作をすると、Hill Start Control Pro が自動的に ON になります。
- » 選択した設定は、イグニッションオフ後も維持されます。

盗難警報装置(DWA)

一盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備

作動

- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 56)
- DWA を調整します。(▶▶▶ 84)
- イグニッションを OFF にします。(▶▶▶ 57)

82 取扱方法

- » DWA をオンにすると、イグニッションオフ後に DWA が自動的に作動します。
 - » 作動状態にするには約 30 秒かかります。
 - » ウィンカーが 2 回点灯します。
 - » 操作音が 2 回鳴ります(プログラミングされている場合)。
 - » DWA は ON の状態です。
- Keyless Ride^{OE} 装備



- イグニッションを OFF にします。(▶ 57)
- 無線キーのボタン 1 を 2 回押します。
- » 作動状態にするには約 30 秒かかります。
- » ウィンカーが 2 回点灯します。
- » 操作音が 2 回鳴ります(プログラミングされている場合)。
- » DWA は ON の状態です。



- モーションセンサーをオフにするには(モーターサイクルを列車で輸送し、激しい動きでアラームが作動するおそれがある場合など)、無線キーのボタン 1 をオンになる間に再度押します。
- » ウィンカーが 3 回点灯します。
- » 確認音が 3 回鳴ります (プログラミングされている場合)。
- » モーションセンサーはオフの状態です。◁

アラーム信号

DWA アラームの発報は、以下によっても引き起こされることがあります：

- モーションセンサー
- 不正な車両キーによる始動の試み。
- DWA を車両バッテリーから切り離す(DWA バッテリーが電源供給を行う。アラーム音のみ、ウィンカーの点灯なし)

 無線キーが受信範囲内にあるときには、傾斜センサーによるアラームが抑えられます。

DWA バッテリーが放電している場合には、車両バッテリーから接続が切り離されている場合に行われるアラームの発報ができなくなる以外は、全機能が保持されています。

アラームの発報時間は約 26 秒です。発報中は、アラーム音が鳴り、ウインカーが点滅します。アラーム音の種類はBMW Motorrad ディーラーで調整することができます。

-Keyless Ride^{OE} 装備



発報しているアラームは、無線キーのボタン 1 を押すことで中断できます(DWA の作動解除不要)。

ライダー不在時にアラームが発報していた場合には、イグニッションを ON にした時にアラーム音が 1 回鳴ってそれを知らせます。引き続き、DWA LED がアラームの原因について 1 分間、信号を発信します。

DWA LED のライト信号：

- 1 回点滅：モーションセンサー 1
- 2 回点滅：モーションセンサー 2
- 3 回点滅：権限のない車両キーによってイグニッションが ON にされた
- 4 回点滅：DWA の車両バッテリーからの切り離し
- 5 回点滅：モーションセンサー 3

作動解除

- イグニッションキルスイッチを通常のコピーポジションにします。
- イグニッションを ON にします。(▶▶▶ 56)
- » ウインカーが 1 回点灯します。
- » 操作音が 1 回鳴ります(プログラミングされている場合)。
- » DWA は OFF の状態です。

84 取扱方法

-Keyless Ride^{OE} 装備



- 無線キーのボタン 1 を 1 回押します。

i アラーム機能が無線キーで作動解除され、続いてイグニッションが ON にならない場合には、自動設定 が ON になっている限り、アラーム機能は約 30 秒後に自動的に再び作動します。

- » ウィンカーが 1 回点灯します。
- » 操作音が 1 回鳴ります(プログラミングされている場合)。
- » DWA は OFF の状態です。◁

DWA を調整する

- イグニッションを ON にします。(▶▶ 56)
- メニュー設定、車両設定、盗難警報装置 を呼び出します。
- » 以下の設定が可能です：
 - 警告音 を調整する
 - 傾斜センサー を ON にする／OFF にする
 - 確認音 を ON にする／OFF にする

-自動設定 を ON にする／OFF にする

» 調整 (▶▶▶ 84)

調整

警告音：立ち上がりおよび立ち下がりまたは間欠的なアラーム音を設定します。

傾斜センサー：傾斜センサーを作動させ、車両の傾きをモニターします。DWA はホイールの盗難やけん引きの場合などに反応します。

i 車両の輸送時には、DWA が作動するのを防ぐため、傾斜センサーを作動解除してください。

確認音：DWA ON / OFF 後のウィンカーの点灯に確認アラーム音を加えます。

自動設定：イグニッション OFF 時にアラーム機能を自動的に ON にします。

タイヤ空気圧コントロール(RDC)

-走行モードPro^{OE} 装備

-タイヤ空気圧モニター (RDC)^{OE} 装備

規定圧警告を ON または OFF にする

- 最低タイヤ空気圧に達すると、規定圧警告が表示されることがあります。

- メニュー設定、車両設定、RDC を呼び出します。
- 規定圧警告 を ON または OFF にします。

ヒーター

グリップヒーターの操作

- グリップヒーター^{OE} 装備
- シートヒーター^{OE} 非装備

 グリップヒーターは、エンジン作動時にのみ作動させることができます。

 低回転域では、グリップヒーターによって電力消費が増すことによりバッテリーの放電に至ることがあります。バッテリーの充電が十分でない場合、始動性能を保持するために、グリップヒーターが OFF になります。

- エンジンを始動させます。
( 136)



- ボタン 1 を繰り返し押して、希望の暖房レベル 2 をグリッ

プヒーターアイコン 3 の前に表示させます。

ハンドルグリップは 2 段階で暖めることができます。

 ヒーター出力(低)

 ヒーター出力(高)

» 高い方のヒーターレベルではグリップを急速に温めることができます。その後、1 段階目に切り替えてください。

» それ以上変更が行われないと、選択した暖房レベルが設定されます。

- グリップヒーターを OFF にするには、ボタン 1 を繰り返し押して、グリップヒーターアイコン 3 を非表示にします。

ヒーターを操作する

- グリップヒーター^{OE} 装備
- シートヒーター^{OE} 装備

 グリップヒーターおよびシートヒーターは、エンジン作動時にのみ作動させることができます。

- エンジンを始動させます。
( 136)

86 取扱方法



- ボタン **1** を押します。
» メニューヒーター が開きます。
- グリップヒーター またはシートヒーター を選択します。
- ご希望のヒーターレベルを選択し、確定します。
» 選択されたヒーターレベルが、ディスプレイのヒーターアイコン **2** の左隣に表示されます。
- ボタン **1** を押し、メニューヒーター を閉じます。
- ヒーターを OFF にするか、前に選択したヒーターレベルで再び ON にする場合には、ボタン **1** を長押しします。

 設定されたヒーターレベルは、イグニッションを OFF にした後も維持されます。

リヤシートヒーターを操作する

- グリップヒーター OE 装備
- シートヒーター OE 装備

- エンジンを開始させます。
(▶▶▶ 136)

 シートヒーターは、エンジン作動時のみ作動させることができます。



- スイッチ **1** で、ご希望のヒーターレベルを選択します。



リヤシートを 2 段階で暖めることができます。2 段階目ではシートを急速に暖めることができます。その後、1 段階目に切り替えてください。

- **2** スイッチは中央位置：ヒーター OFF
- **3** スイッチの点 1 個側を押す：低いヒーター出力
- **4** スイッチの点 2 個側を押す：高いヒーター出力



選択したヒーターレベル **1** およ
びシートヒーターアイコン **2** が
ディスプレイに表示されます。

ストレージコンパートメント

ストレージコンパートメントを
開く／ロックする



- ストレージコンパートメントを開くには、グリップ **1** を反時計回りに 90° 回し、上方へ引きます。
- ストレージコンパートメントをロックするには、グリップ **1** を時計回りに 90° 回し、進行方向でストレージコンパートメントの方へたたみます。

TFTディスプレイ

05

一般的な情報	90
原理	91
PURE RIDE 画面	97
一般的な設定	98
BLUETOOTH	100
MY MOTORCYCLE	103
ナビゲーション	106
メディア	108
電話	109
ソフトウェアバージョンを表示する	110
ライセンス情報を表示する	110

一般的な情報

警告



警告

**走行中のスマートフォンの操作
事故の危険性があります**

- それぞれ適用される道路交通規則を確認し、遵守してください。
- 走行中にスマートフォンは使用しないでください。ハンズフリーユニットによる電話など、操作なしの使用は例外となります。



警告

**交通状態から注意が逸れ、制御
不能になる危険**

統合型情報システムおよび通信機器を走行中に操作することで事故を起こす危険

- これらのシステムおよび装置の操作は、それが可能な交通状況のもとでのみ行ってください。
- 必要に応じて停車し、システムまたは装置を停止状態で操作してください。

Connectivity 機能

Connectivity 機能にはメディア、電話とナビゲーション領域が含まれます。Connectivity 機能は、TFT ディスプレイが携帯端末機器およびヘルメットと接続されている場合に利用することができます (100)。Connectivity 機能に関する詳細情報についてはこちらをご覧ください：

bmw-motorrad.com/connectivity



燃料タンクが携帯端末機器と TFT ディスプレイの間にあると、Bluetooth 接続が制限される可能性があります。BMW Motorrad は、携帯端末機器を燃料タンクの上(ジャケットポケットの中など) に収納することをお勧めします。



携帯端末機器によっては、Connectivity 機能の範囲が制限される可能性があります。

BMW Motorrad Connected App

BMW Motorrad Connected App で、利用情報および車両情報呼び出すことができます。ナビゲーションなどの一部の機能を利用するには、App を携帯端末機器にインストールして、TFT ディスプレイと接続しておく必要があります。App を使用して目的地ガイドをスタートさせて、ナビゲーションを調整します。

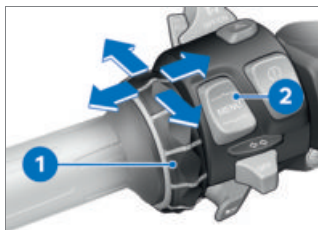
 iOS オペレーティングシステム搭載機器などの一部の携帯端末機器では、使用前にBMW Motorrad Connected App を呼び出す必要があります。

本書の記述について

編集終了後に、TFT ディスプレイの更新が行われる可能性があります。そのため、本書の記述が実際の車両とは異なる場合があります。更新情報については、bmw-motorrad.com/service でご確認ください。

原理

操作エレメント



ディスプレイの全内容の操作は、マルチコントローラー 1 および MENU 2 ロッカーボタンで行います。状況に応じて以下の機能が可能です。

マルチコントローラーの機能

マルチコントローラーを上に戻す：

- リストのカーソルを上に移動させます。
- 設定を行います。
- 音量を上げます。

マルチコントローラーを下に戻す：

- リストのカーソルを下に移動させます。
- 設定を行います。
- 音量を下げます。

マルチコントローラーを左に傾ける：

- 機能を操作フィードバックに従って作動させます。
- 機能を左に、または前に戻るように作動させます。
- 設定後、メニュー画面に戻ります。
- メニュー画面で：一階層上に切り替えます。
- メニュー My Motorcycle で：メニュー画面をさらにスクロールします。

マルチコントローラーを右に傾ける：

- 機能を操作フィードバックに従って作動させます。
- 選択を確定します。
- 設定を確定します。

92 TFT ディスプレイ

- メニューステップを先にめくり
ます。
- リストで右にスクロールし
ます。
- メニュー My Motorcycle：メ
ニュー画面をさらにスクロール
します。

MENU ロッカーボタンの機能

 メニューナビゲーションが
呼び出されていない場合、
ナビゲーション指示はダイア
ログ形式で表示されます。モメン
タリボタン MENU の操作は一時的
に制限されます。

MENU の上を短押しする：

- メニュー画面で：一階層上に切
り替えます。
- Pure Ride 画面で：ライダー情
報ステータスバー用表示を切り
替えます。

MENU の上を長押しする：

- メニュー画面で：Pure Ride 画
面を開きます。
- Pure Ride 画面で：操作対象を
ナビゲーターに切り替えます。

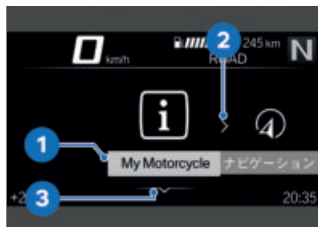
MENU の下を短押しする：

- 一階層下に切り替えます。
- 最下層に達した場合は機能しま
せん。

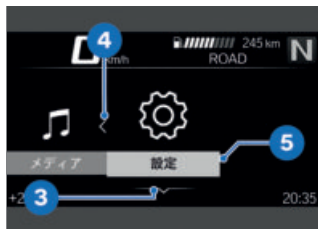
MENU の下を長押しする：

- MENU ロッカーボタンの上を長
押ししてメニューを切り替えた
後に、前回呼び出したメニュー
に戻ります。

スタートメニューでの操作情報



操作情報は、どのような操作が
可能／不可能であることを示し
ます。



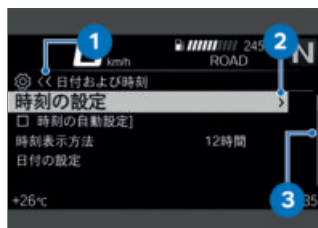
操作情報の意味：

- 操作情報 1：左端に達していま
す。
- 操作情報 2：右にめくることが
できます。
- 操作情報 3：下にめくることが
できます。

- 操作情報 4：左にめくることができます。
- 操作情報 5：右端に達しています。

サブメニューの操作情報

スタートメニューの操作情報に加えて、サブメニューにもそれ以外の操作情報があります。



操作情報の意味：

- 操作情報 1：現在の表示は階層メニューの中にあります。アイコンはサブメニュー階層を示します。2つのアイコンはサブメニュー階層が2つ以上あることを示します。上の階層に戻るかどうかに応じて、アイコンの色は変化します。
- 操作情報 2：さらにサブメニュー階層を呼び出すことができます。
- 操作情報 3：項目の数が表示できる数を超えています。

Pure Ride 画面を表示する

- MENU ロッカースイッチ上側を長押しします。

機能を ON または OFF にする



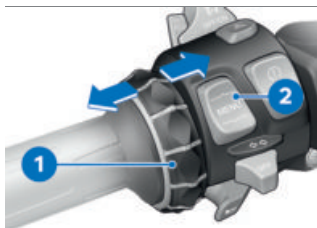
メニュー項目の一部の前にはボックスが表示されています。このボックスは、機能が ON または OFF であるかを示しています。メニュー項目の後ろにあるアクションアイコンは、マルチコントローラーを右に短く傾けると何がどのように切り替わるのかを具体的に示しています。

ON と OFF の例：

- アイコン 1 は、機能が ON であることを示しています。
- アイコン 2 は、機能が OFF であることを示しています。
- アイコン 3 は、機能を OFF にできることを示しています。
- アイコン 4 は、機能を ON にできることを示しています。

94 TFT ディスプレイ

メニューの呼出し



- Pure Ride 画面を表示します。(▶▶▶ 93)
- ボタン 2 を下方向へ短く押します。

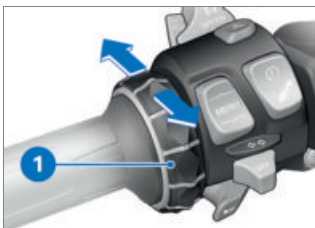
以下のメニューを呼び出すことができます：

- My Motorcycle
- ナビゲーション
- メディア
- 電話
- 設定

- マルチコントローラー 1 を右に繰り返し短押しして、希望のメニュー項目をマークします。
- ボタン 2 を下方向へ短く押します。

 メニュー設定は停車時のみ呼び出すことができます。

リストのカーソルを移動させる



- メニューを呼び出します。(▶▶▶ 94)
- リストのカーソルを下に移動させるには、希望の項目がマークされるまで、マルチコントローラー 1 を下に回します。
- リストのカーソルを上に移動させるには、希望の項目がマークされるまで、マルチコントローラー 1 を上に回します。

選択を確定する



- 希望の項目を選択します。
- マルチコントローラー 1 を右に短押しします。

前回使用したメニューを呼び出す

- Pure Ride 画面で：MENU ロックスイッチ下側を長押しします。
- » 前回使用したメニューが呼び出されます。前回マークした項目が選択されています。

操作焦点の切替

—NAV 取付けキット^{OE} 装備

Navigator が接続されている場合、Navigator と TFT ディスプレイの操作を切り替えることができます。

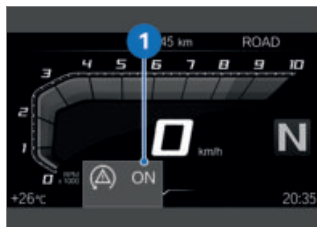
操作対象を切り替える

—NAV 取付けキット^{OE} 装備

- ナビゲーションユニットをしっかりと取り付けます。(▶ 215)
- Pure Ride 画面を表示します。(▶ 93)
- MENU ロックスイッチ上側を長押しします。
- » 操作焦点が Navigator または TFT ディスプレイに切り替わります。上部ステータスバー左側に、その都度、有効になっている機器がマークされています。操作対象を改めて切り替えるまで、操作の対象はその都度有効になっている機器となります。
- » ナビゲーションシステムを操作する (▶ 217)

システムステータスの表示

機能が ON または OFF になると、システムステータスは下側のメニュー領域に表示されます。



システムステータスの意味の例：

—システムステータス 1：DTC 機能は ON の状態です。

ライダー情報ステータス欄の表示を切り替える

前提条件

モーターサイクルが停車していること。Pure Ride 画面が表示されていること。

- イグニッションを ON にします。(▶ 56)
- » TFT ディスプレイでは、オンボードコンピューター(例：TRIP 1) およびトリップコンピューター(例：TRIP 2) からの公道での走行用に必要なすべての情報が利用可能です。この情報は上側のステータス欄に表示することができます。

96 TFTディスプレイ

ータイヤ空気圧モニター (RDC)^{0E}
装備

» さらに、タイヤ空気圧モニター
の情報も表示することができます。
す。◁

• ライダー情報ステータスバーの
内容を選択します。(▶▶ 96)



• ボタン 1 を長押しして、
Pure Ride 画面を表示させま
す。

• ボタン 1 を繰り返し短押しし
て、上側のステータス欄 2 の値
を選択します。

次の値を表示可能です：



オドメーター



トリップメーター 1



トリップメーター 2



燃費 1(平均)



燃費 2(平均)



走行時間 1



走行時間 2



停止 1



停止 2



速度 1(平均)



速度 2(平均)

ータイヤ空気圧モニター (RDC)^{0E}
装備



タイヤ空気圧◁



走行可能距離



フューエルレベル

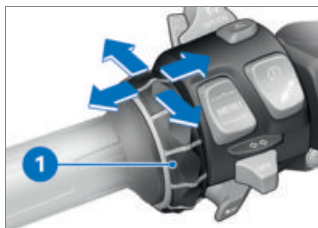
**ライダー情報ステータスバーの
内容を選択する**

• メニュー設定、表示、コンテン
ツステータスライン を呼び出
します。

• ご希望の表示を ON にします。

» ライダー情報ステータスバーで
は、選択した表示の中で切り替
えることができます。表示が選
択されていない場合は、航続可
能距離のみが表示されます。

設定を行う



- 希望の設定メニューを選択して確定します。
 - マルチコントローラー **1** を下に回して、希望の設定をマークします。
 - 操作情報がある場合は、マルチコントローラー **1** を右に傾けます。
 - 操作情報がない場合は、マルチコントローラー **1** を左に傾けます。
- » 設定が保存されました。

制限速度情報を ON または OFF にする

前提条件

車両は互換性のある携帯端末機器と接続されています。モバイル端末機器にBMW Motorrad Connected アプリがインストールされています。

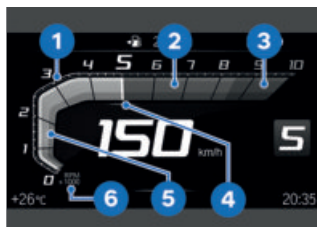
- 速度制限の情報は、(ナビゲーションのマップデータの編集者により提供されている範囲内

で) 現在許容されている最高速度を示します。

- メニュー設定、表示 を呼び出します。
- 速度制限の情報を ON または OFF にします。

PURE RIDE 画面

エンジン回転数表示



- 1 目盛り
- 2 低回転域
- 3 高回転域／レッドゾーン
- 4 指針
- 5 第2指針
- 6 回転数表示の単位：
1000 rpm

 クーラント温度に応じて赤色の回転数範囲は変化します：

エンジンの温度が低ければ低いほど、レッドゾーンが始まる回転数はより低くなります。

エンジンの温度が高ければ高いほど、レッドゾーンが始まる回転数はより高くなります。

98 TFT ディスプレイ

作動温度に到達すると、レッドゾーンの表示は変化しなくなります。

航続可能距離



航続可能距離 1 は、残りの燃料であとどのくらいの距離を走行可能かを示します。算出は、平均燃費およびフューエルレベルに基づいて行われます。

－モーターサイクルがサイドスタンドで立てられている場合、傾いているために、フューエルレベルが正確に測れないおそれがあります。そのため、航続可能距離の再算出はサイドスタンドが格納されている状態でのみ行います。

－航続可能距離はフューエルリザーブ容量に達した後に、警告と共に表示されます。

－燃料補給後にフューエルレベルがフューエルリザーブ容量を超えている場合、航続可能距離は新たに算出されます。

－算出された航続可能距離は、概算数値です。

シフトアップ推奨



シフトアップ推奨は、ステータスバー 1 または Pure Ride 画面 2 において、経済的に最適な時点でシフトアップを勧める信号を発します。

一般的な設定

音量を調整する

- ライダー用ヘルメットとパッセンジャー用ヘルメットを接続します。(▶ 102)
- 音量を上げる：マルチコントローラーを上方向に回します。
- 音量を下げる：マルチコントローラーを下方向に回します。
- ミュート切替：マルチコントローラーを完全に下方向に回します。

日付を設定する

- イグニッションを ON にします。(▶ 56)
- メニュー設定、システム設定、日付および時刻、日付の設定を呼び出します。

- 日、月 および年 を調整します。
- 設定を確定します。

日付の表示形式を設定する

- メニュー設定、システム設定、日付および時刻、日付表示方法 を呼び出します。
- 希望の設定を選択します。
- 設定を確定します。

時計を調整する

- イグニッションを ON にします。(▶ 56)
- メニュー設定、システム設定、日付および時刻、時刻の設定 を呼び出します。
- 時間 および分 を調整します。

表示時刻形式を設定する

- メニュー設定、システム設定、日付および時刻、時刻表示方法 を呼び出します。
- 希望の設定を選択します。
- 設定を確定します。

測定単位を設定する

- メニュー設定、システム設定、単位 を呼び出します。
- 設定可能な単位は以下の通りです：
- タイヤ空気圧モニター (RDC) ^{OE} 装備
 - 圧力 $\triangleleft$
 - 温度
 - 車速
 - 燃費

言語を設定する

- メニュー設定、システム設定、言語 を呼び出します。
- 設定可能な言語は以下の通りです：
- ドイツ語
 - 英語(UK)
 - 英語(US)
 - スペイン語
 - フランス語
 - イタリア語
 - オランダ語
 - ポーランド語
 - ポルトガル語(ブラジル)
 - ポルトガル語(ポルトガル)
 - トルコ語
 - ルーマニア語
 - ロシア語
 - ウクライナ語
 - タイ語
 - 中国語
 - 日本語
 - 韓国語

明るさを調整する

- メニュー設定、表示、明るさ を呼び出します。
 - 明るさを調整します。
- » ディスプレイの明るさは、周囲の明るさが所定のレベルを下回ると、設定されている値に減光されます。

100 TFT ディスプレイ

すべての設定をリセットする

- メニュー設定 のすべての設定を工場設定にリセットすることができます。
- メニュー設定 を呼び出します。
- すべてリセットする を選択し、確定します。

以下のメニューの設定がリセットされます：

- 車両設定
- システム設定
- 接続
- 表示
- 情報

» 現在ある Bluetooth 接続は削除されません。

BLUETOOTH

近距離無線技術

Bluetooth 機能は、国別の仕様や状況により、提供されない場合があります。

Bluetooth では、周辺の無線技術が問題となります。Bluetooth 機器はショートレンジデバイス(限定された受信可能距離で伝送)として、2.402...2.480 GHz 間のライセンスフリーの ISM 帯域(産業、科学、医療帯域)で通信します。この機能は世界中で免許不要で利用することができます。Bluetooth は、接続を短距離でできるかぎり確実に確立するよう

に設計されてはいるものの、各種の無線技術により障害が発生するおそれがあります。接続が阻害されたり、短時間中断されたり、まったく機能しなくなることもありえます。特に、複数の機器を 1 つの Bluetooth ネットワークで利用している場合、あらゆる状況で操作がスムーズに行われるという保証はありません。

考えられるノイズ源：

- 電波塔などによる妨害磁界。
- 実装されている Bluetooth 標準規格が不十分な機器。
- 周辺に他の Bluetooth 対応機器がある。
- メタル製シールドまたは身体。

Pairing

2 つの Bluetooth 機器を相互接続する前に、相互認識を行う必要があります。この相互認識の手順を「ペアリング」と言います。一度認識したデバイスはメモリーされるので、ペアリングの作業は最初に行うだけですみます。

 iOS オペレーティングシステム搭載機器など一部の携帯端末機器では、使用前に BMW Motorrad Connected App を呼び出す必要があります。

ペアリングの際、TFT ディスプレイは自分の受信範囲内にある他の Bluetooth 対応機器をサーチします。ユニットが認識されるためには、以下の条件が満たされなくてはなりません。

- 機器の Bluetooth 機能がオンになっていること
- 機器が他の機器から「検知可能」になっていること
- ユニットはレシーバーとして A2DP プロファイルをサポートしていなければなりません。
- その他の Bluetooth 対応機器が OFF になっていなければなりません(携帯電話やナビゲーションシステムなど)。

そのために必要な手順については、お客様コミュニケーションシステムの取扱説明書を確認してください。

ペアリングを行う

- メニュー設定、接続 を呼び出します。
 - » メニュー 接続 では、Bluetooth 接続を設定、管理、削除することができます。以下の Bluetooth 接続が表示されます：
 - 携帯機器
 - ライダー
 - パッセンジャー
- 携帯端末機器の接続ステータスが表示されます。

モバイル端末機器を接続する

- ペアリングを行います。(▶▶ 101)
 - モバイル 端末 機器の Bluetooth 機能を ON にします(モバイル端末機器の取扱説明書を参照)。
 - 携帯機器 を選択し、確定します。
 - 新しい携帯機器のペアリング を選択し、確定します。
- 携帯端末機器をサーチします。

 ペアリング中、Bluetooth アイコンが下側のステータス欄で点滅します。

認識可能な携帯端末機器が表示されます。

- モバイル 端末 機器を選択し、確定します。
- モバイル 端末 機器に関する指示を確認し、遵守してください。
- コードが一致していることを確認します。
- » 接続が確立され、接続ステータスが更新されます。
- » 接続が確立されない場合には、「仕様(諸元)」の章のトラブルシューティングを参照してください。(▶▶ 233)
- » モバイル 端末 機器によっては、電話データが自動的に車両に伝送されます。
- » 電話データ (▶▶ 110)

102 TFT ディスプレイ

- » 電話帳が表示されない場合には、「仕様(諸元)」の章のトラブルシューティングを参照してください。(▶▶▶ 234)
- » Bluetooth 接続が期待通りに機能しない場合には、「仕様(諸元)」の章のトラブルシューティングを参照してください。(▶▶▶ 233)

ライダー用ヘルメットとパッセンジャー用ヘルメットを接続する

- ペアリングを行います。(▶▶▶ 101)
 - ライダー またはパッセンジャー を選択し、確定します。
 - ヘルメットのコミュニケーションシステムを認識可能にします。
 - 新しいペアリング(ライダー) または新しいペアリング(タンデム) を選択し、確定します。
- ヘルメットをサーチします。

 ペアリング中、Bluetooth アイコンが下側のステータス欄で点滅します。

認識可能なヘルメットが表示されます。

- ヘルメットを選択し、確定します。
- » 接続が確立され、接続ステータスが更新されます。
- » 接続が確立されない場合には、「仕様(諸元)」の章のトラブル

シューティングを参照してください。(▶▶▶ 233)

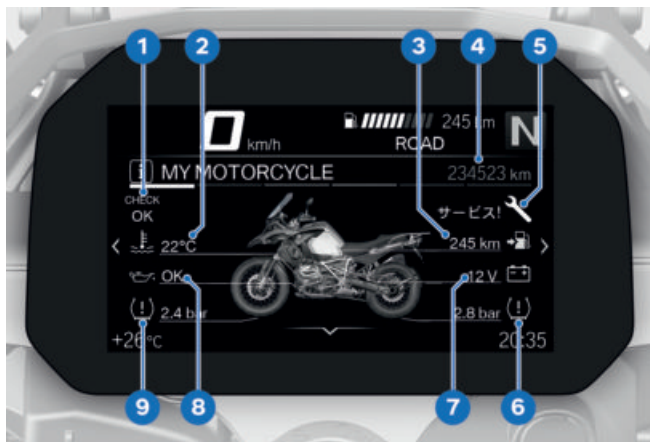
- » Bluetooth 接続が期待通りに機能しない場合には、「仕様(諸元)」の章のトラブルシューティングを参照してください。(▶▶▶ 233)

接続を削除する

- メニュー設定、接続 を呼び出します。
- 接続の削除 を選択します。
- 接続を個別に削除するには、接続を選択してから確定します。
- すべての接続を削除するには、すべての接続の削除 を選択し、確定します。

MY MOTORCYCLE

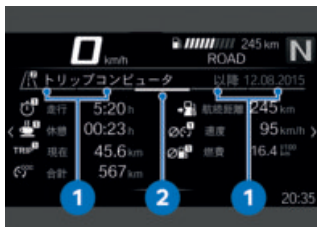
スタート画面



- 1 チェックコントロール表示
表示 (➡ 25)
- 2 冷却水温 (➡ 39)
- 3 航続可能距離 (➡ 98)
- 4 オドメーター
- 5 サービス表示 (➡ 52)
- 6 タイヤ空気圧(リヤ)
(➡ 42)
- 7 車両電装システム電
圧 (➡ 200)
- 8 エンジンオイルレベ
ル (➡ 38)
- 9 タイヤ空気圧(フロン
ト) (➡ 42)

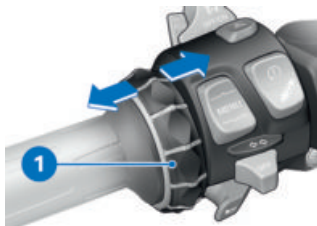
104 TFT ディスプレイ

操作情報



- 操作情報 1：左または右にどの程度めくることができるかを示すタブ。
- 操作情報 2：現在のメニュー画面の位置を示すタブ。

メニュー画面でスクロールする



- メニューMy Motorcycle を呼び出します。
- 右にスクロールするには、マルチコントローラー 1 を右に短押しします。
- 左にスクロールするには、マルチコントローラー 1 を左に短押しします。

メニュー「My Motorcycle」には以下の画面が含まれています：

- MY MOTORCYCLE
- オンボードコンピュータ
- トリップコンピュータ
- タイヤ空気圧モニター (RDC) ^{OE} 装備
- タイヤ空気圧<
- サービス実施時期

- タイヤ空気圧およびチェックコントロールメッセージに関する詳細情報は、「表示」の章に記載されています (▶▶ 25)。

 チェックコントロールメッセージが、状況に合わせて、メニューMy Motorcycle のメニュー画面に追加タブとして付加されます。

オンボードコンピュータおよびトラベルボードコンピュータ

メニュー画面オンボードコンピュータ およびトリップコンピュータ は、平均値などの車両データおよび走行データを表示します。

オンボードコンピュータを呼び出す

- メニューMy Motorcycle を呼び出します。
- メニュー画面オンボードコンピュータ が表示されるまで、右へスクロールします。

オンボードコンピューターをリセットする

- オンボードコンピューターを呼び出します。(▶▶▶ 104)
- MENU ロッカースイッチ下側を押します。
- すべての値をリセットする または個々の値をリセットする を選択し、確定します。

以下の値を個別にリセットすることができます：



休憩



走行



現在



速度



燃費

トリップコンピューターを呼び出す

- オンボードコンピューターを呼び出します。(▶▶▶ 104)
- メニュー画面トリップコンピューターが表示されるまで、右へスクロールします。

トリップコンピューターをリセットする

- トリップコンピューターを呼び出します。(▶▶▶ 105)

- MENU ロッカースイッチ下側を押します。

- 自動的にリセットする またはすべての値をリセットする を選択し、確定します。

» 自動的にリセットする が選択されている場合、イグニッション OFF 後に 6 時間以上が経過して日付が変わると、トリップコンピューターは自動的にリセットされます。

サービス時期の表示



次回サービスまでの期間が 1 か月以内になるか、次回サービスまでの距離が 1000 km 以内になると、チェックコントロールメッセージが白色で表示されます。

ナビゲーション

警告



警告

走行中のスマートフォンの操作
事故の危険性があります

- それぞれ適用される道路交通規則を確認し、遵守してください。
- 走行中にスマートフォンは使用しないでください。ハンズフリーユニットによる電話など、操作なしの使用は例外となります。



警告

交通状態から注意が逸れ、制御不能になる危険

統合型情報システムおよび通信機器を走行中に操作することで事故を起こす危険

- これらのシステムおよび装置の操作は、それが可能な交通状況のもとでのみ行ってください。
- 必要に応じて停車し、システムまたは装置を停止状態で操作してください。

前提条件

車両が互換性のある携帯端末機器と Bluetooth 経由で接続されていること。

接続されている携帯端末機器に BMW Motorrad Connected App がインストールされていること。



iOS オペレーティングシステム搭載機器などの一部の携帯端末機器では、使用前に BMW Motorrad Connected App を呼び出す必要があります。

目的地アドレスを入力する

- モバイル端末機器を接続します。(▶▶ 101)
- BMW Motorrad Connected アプリを呼び出し、ルートガイダンスをスタートさせます。
- TFT ディスプレイでメニューナビゲーション を呼び出します。
 - » アクティブなルートガイダンスが表示されます。
 - » アクティブなルートガイダンスが表示されない場合には、「仕様(諸元)」の章のトラブルシューティングを参照してください。(▶▶ 234)

目的地を直近の目的地から選択する

- メニューナビゲーション、前回の目的地 を呼び出します。
- 目的地を選択し、確定します。

- ルート案内を開始 を選択します。

目的地をお気に入りから選択する

- メニューお気に入り は、BMW Motorrad Connected アプリでお気に入り登録されているすべての目的地を表示します。TFT ディスプレイで、新しくお気に入り登録することはできません。
- メニューナビゲーション、お気に入り を呼び出します。
- 目的地を選択し、確定します。
- ルート案内を開始 を選択します。

追加目的地を入力する

- 観光名所などの特別目的地をマップに表示させることができます。
- メニューナビゲーション、POI を呼び出します。

以下の場所を選択することができます：

- 現在地で
- 目的地で
- ルートに沿って

- どの場所で追加目的地を検索するか、選択してください。

例えば、以下の追加目的地を選択することができます：

- ガソリンスタンド
- 追加目的地を選択し、確定します。

- ルート案内を開始 を選択し、確定します。

ルート基準を決定する

- メニューナビゲーション、ルートの基準 を呼び出します。
- 以下の基準を選択することができます：
- ルートタイプ
 - 回避
 - 希望のルートタイプ を選択します。
 - ご希望の回避 を ON または OFF にします。
- 有効にした回避の数がカッコ内に表示されます。

ルート情報を表示します

- メニューナビゲーション、設定 を呼び出し、メニュー項目ルート情報 を選択します。
- 以下の選択肢から選ぶことができます：
- 目的地
 - 経由地点
 - ご希望の項目を選択します。
- » 残りの距離および時間が表示されます。

ルート案内を編集します

- メニューナビゲーション、新しい目的地 を呼び出します。
- 以下の目的地から選択することができます：
- 前回の目的地
 - お気に入り

108 TFT ディスプレイ

-POI

- 目的地を 3 つの目的地カテゴリの 1 つから選択します。
- ルートガイダンスの編集 を目的地入力で選択します。
- 経由地点として追加 を選択すると、選択した目的地をウェイポイントとして追加できます。
- ルート案内を開始 を選択すると、現在の目的地を上書きできます。

ルート案内を終了する

- メニューナビゲーション、作動中のルート案内 を呼び出します。
- ルート案内を終了 を選択し、確定します。

音声指示を ON または OFF にする

- ライダー用ヘルメットとパッセンジャー用ヘルメットを接続します。(102)
- ナビゲーションはコンピューター音声による読み上げが可能です。そのためには音声案内 が ON になっている必要があります。
- メニューナビゲーション、作動中のルート案内 を呼び出します。
- 音声案内 を ON または OFF にします。

直前の音声指示を繰り返す

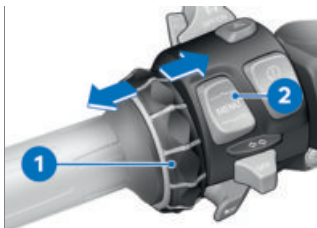
- メニューナビゲーション、作動中のルート案内 を呼び出します。
- 現在の音声案内 を選択し、確定します。

メディア

前提条件

車両が互換性のある携帯端末機器および互換性のあるヘルメットと接続されていること。

音楽再生を制御する



- メニューメディア を呼び出します。

 BMW Motorrad は、走行前にモバイル端末機器のメディアおよび通話の音量を最大に設定することを推奨します。

- 音量を調整します。(98)
- 次のタイトル(トラック)：マルチコントローラー 1 を右に素早く傾けます。
- 前のタイトル(トラック) または現在のタイトル(トラック) の出

だし：マルチコントローラー 1 を左に素早く傾けます。

- 早送り：マルチコントローラー 1 を右にしばらく傾けたままにします。
- 早戻し：マルチコントローラー 1 を左にしばらく傾けたままにします。
- コンテキストメニューを呼び出す：ボタン 2 を下方向へ押します。

 携帯端末機器によっては、Connectivity 機能の範囲が制限される可能性があります。

» コンテキストメニューでは以下の機能を利用できます：

- 再生 または一時停止。
- 検索および再生には、カテゴリー現在の再生、すべてのアーティスト、すべてのアルバム またはすべてのタイトル を選択します。
- プレイリスト を選択します。

サブメニューオーディオ設定 では以下の設定を行うことができます：

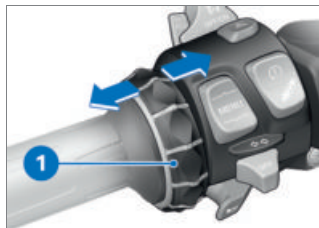
- ランダム再生 をオンまたはオフにします。
- リピート：OFF、ON(現在のタイトル) またはすべて を選択します。

電話

前提条件

車両が互換性のある携帯端末機器および互換性のあるヘルメットと接続されていること。

電話をする



- メニュー電話 を呼び出します。
- 電話を受ける：マルチコントローラー 1 を右に傾けます。
- 電話を拒否する：マルチコントローラー 1 を左に傾けます。
- 通話を終了する：マルチコントローラー 1 を左に傾けます。

ミュートスイッチ

通話が有効な際に、ヘルメットのマイクロフォンをミュートに切り替えることができます。

複数の相手との通話

通話中に、別の相手からの着信を受けることができます。最初の通話は保留になります。継続中の通話の数がメニュー電話 に表

110 TFT ディスプレイ

示されます。2つの通話間で切り替えを行うことができます。

電話データ

携帯端末機器に応じて、ペアリング (100) 後に電話データが車両に自動的に転送されます。

電話帳：モバイル端末機器に保存されているコンタクトリスト

通話履歴：モバイル端末機器での通話リスト

お気に入り：モバイル端末機器に保存されているお気に入りリスト

ソフトウェアバージョンを表示する

- メニュー設定、情報、ソフトウェアバージョン を呼び出します。

ライセンス情報を表示する

- メニュー設定、情報、ライセンス を呼び出します。

調整

06

ミラー	114
ヘッドライト	115
ウインドシールド	116
クラッチ	117
ブレーキ	118
シフト動作	120
フットレスト	121
ハンドルバー	122
シート	123
RALLYE シート	126
スプリングプリロード	127
ショックアブソーバー	128

114 調整

ミラー

ミラーを調整する



- ミラーを回してご希望の位置に調整します。

ミラーアームを調整する



- ミラーアーム接続部にかぶせてある保護キャップ **1** を上へずらします。
- ナット **2** を緩めます。
- ミラーアームをご希望の位置に回します。
- ミラーアームを保持しながら、ナットをトルクで締め付けます。

 ミラー(ロックナット)とアダプター

M10 x 1.25

22 Nm (左ねじ)

- 保護キャップ **1** をねじ止め部の上にはずします。

ミラーを調整する

-Option 719 フライス加工部品
パッケージClassic II^{OE} 装備

または

-Option 719 フライス加工部品
パッケージStorm II^{OE} 装備

または

-Option 719 フライス加工部品
パッケージShadow II^{OE} 装備

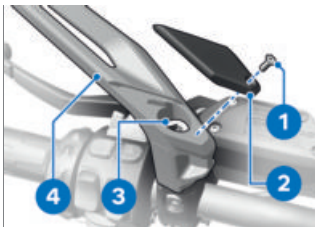


- ミラー **1** を回して希望の位置に調整します。

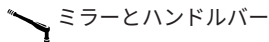
ミラーアームを調整する

- Option 719 フライス加工部品
パッケージClassic II^{OE} 装備
または
- Option 719 フライス加工部品
パッケージStorm II^{OE} 装備
または
- Option 719 フライス加工部品
パッケージShadow II^{OE} 装備

 ミラーアームの調整用に小
さめと大きめのアングルド
ライバーが車両に付属していま
す。



- ボルト **1** を取り外し、カバー **2** を外します。
- 調整ボルト **3** を外し、ミラーアーム **4** をご希望の位置に回します。
- 調整ボルト **3** を締め付け、その際ミラーアームを保持します。
- カバー **2** を取り付け、ボルト **1** を取り付けます。



ミラーとハンドルバー

M10 x 50



ミラーとハンドルバー

25 Nm

ヘッドライト

光軸およびスプリングプリロード

通常、積載条件に応じてスプリングプリロードを調整することにより、光軸は常に一定になります。

ただし、負荷が非常に高い場合には、スプリングプリロードを適切に調整することができません。その場合は、光軸を重量に応じて調整してください。



光軸が正しく調整されているか疑わしい場合には、できればBMW Motorrad、もしくは専門の整備工場に調整状態を確認するよう依頼してください。

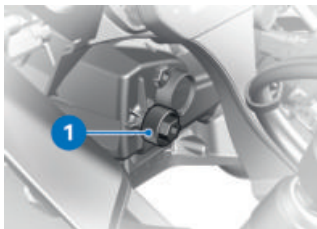
光軸を調整する

前提条件

積載負荷が高く、対向車を眩惑しないようにするための、スプリングプリロードの調整が適切でない。

116 調整

ーヘッドライトコントロールユニット^{OE} 非装備



- 光軸をアジャストスクリュー **1** で調整します。◁

ーヘッドライトコントロールユニット^{OE} 装備



積載負荷が高く、スプリングブリロードの調整が適切でない場合には、対向車を眩惑しないようにするため、以下の手順を実行します：

- アジャストノブ **1** を反時計回りに回して、ヘッドライトを下げます。

モーターサイクルを再度、積載を少なくして走行する場合：

- ヘッドライトの基本調整を専門の整備工場に、できれば、BMW Motorrad パートナーに依頼してください。◁

ウインドシールド

ウインドシールドを調整する



警告

走行中のウインドシールドの調整

転倒の危険

- ウインドシールドの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。
- アジャストノブ **1** を時計回りに回し、ウインドシールドを下げます。
- アジャストノブ **1** を反時計回りに回し、ウインドシールドを上げます。

クラッチ

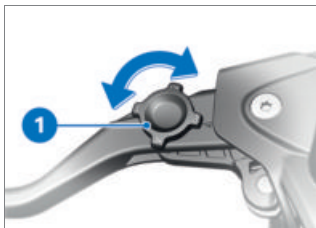
クラッチレバーを調整する



警告

**走行中のクラッチレバーの調整
事故の危険**

- クラッチレバーの調整はモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。



- アジャストホイール **1** をご希望の位置に回します。

 その際、クラッチレバーを前へ押しとアジャストホイールを簡単に回すことができます。

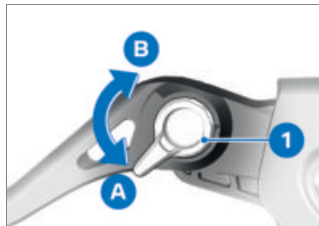
» 選択できる設定：

- ポジション 1：ハンドルグリップとクラッチレバー間の距離は最小
- ポジション 4：ハンドルグリップとクラッチレバー間の距離は最大

- Option 719 フライス加工部品
パッケージ Classic II^{OE} 装備
または

- Option 719 フライス加工部品
パッケージ Storm II^{OE} 装備
または

- Option 719 フライス加工部品
パッケージ Shadow II^{OE} 装備



- 調整レバー **1** をご希望の位置に回します。

» 選択できる設定：

- ポジション **A**：ハンドルグリップとクラッチレバー間の間隔は最小。
- ハンドルグリップとクラッチレバー間の間隔を拡大するには、ポジション **B** の方向へ 5 段階。◁

118 調整

ブレーキ

ブレーキレバーを調整する



警告

走行中にブレーキレバーを調整する

事故が起こる危険

- ブレーキレバーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。



- アジャストホイール 1 をご希望の位置に回します。

 その際、ブレーキレバーを前へ押すとアジャストホイールを簡単に回すことができます。

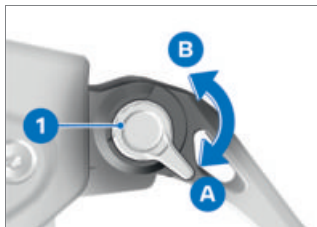
» 選択できる設定：

- ポジション 1：ハンドルグリップとブレーキレバー間の距離は最小
- ポジション 4：ハンドルグリップとブレーキレバー間の距離は最大

- Option 719 フライス加工部品
パッケージ Classic II^{OE} 装備
または

- Option 719 フライス加工部品
パッケージ Storm II^{OE} 装備
または

- Option 719 フライス加工部品
パッケージ Shadow II^{OE} 装備



- 調整レバー 1 をご希望の位置に回します。

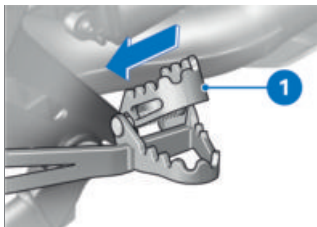
» 選択できる設定：

- ポジション A：ハンドルグリップとブレーキレバー間の間隔は最小。

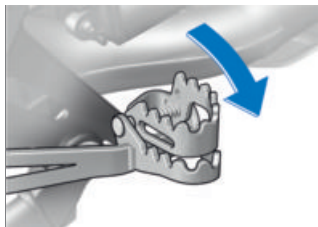
- ハンドルグリップとブレーキレバー間の間隔を拡大するには、B 方向に 5 段階で設定します。◁

ブレーキペダルを調整する

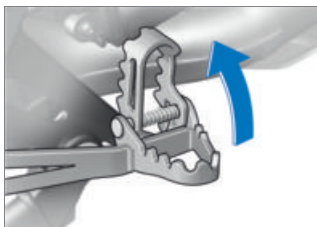
- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりと路面の上に駐車します。



- ロック解除するために、フットレストのサイドステップ **1** を左へ移動させます。



- スタンディング走行をするときには、ステッププレートロックするところまで下方向にたたみます。



- シットイング走行をするときには、ステッププレートをロックするところまで上方向に開きます。

ブレーキペダルのステップパーツを調整する

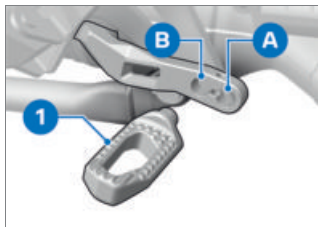
-Option 719 フライス加工部品
パッケージClassic II^{OE} 装備

または

-Option 719 フライス加工部品
パッケージStorm II^{OE} 装備

または

-Option 719 フライス加工部品
パッケージShadow II^{OE} 装備

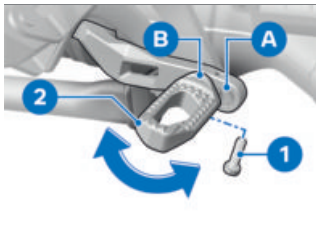


- ステップパーツと足の間隔ならびにステップパーツまでの高さ **1** は、180° の回転および **A** ま

120 調整

たは **B** の位置に取り付けることで調整可能です。

- ボルト **1** を取り外します。



- ねじ山を清掃します。
- ステップパーツ **2** を任意のポジション **A** または **B** に取り付けます。
- ステップパーツ **2** を任意のポジションに回します。
- 新しいボルト **1** を取り付けます。



ステップパーツとブレーキペダル

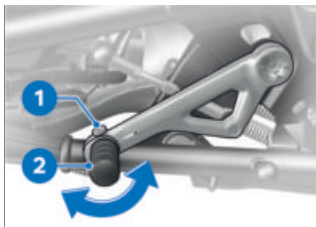
M6 x 20

ボルト固定剤: マイクロカプセル加工済

10 Nm

シフト動作

シフトレバーを調整する



- ボルト **1** を緩めます。
- サイドステップ **2** を任意のポジションに回します。



ステップパーツを高くまたは低く調整しすぎると、シフト動作時に問題が生じる可能性があります。シフト動作に問題が生じた場合は、ステップパーツの調整を点検します。

- ボルト **1** をトルクで締め付けます。



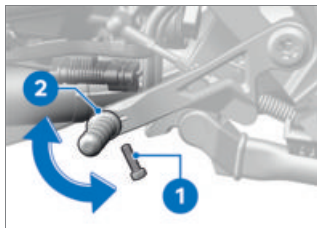
ステップパーツ(クランプ) とシフトレバー

M6 x 16

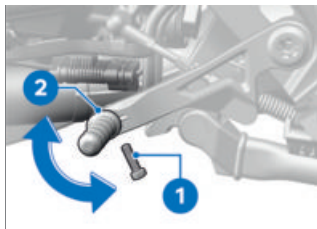
8 Nm

シフトレバーのステップパーツを調整する

- Option 719 フライス加工部品
パッケージClassic II^{OE} 装備
または
- Option 719 フライス加工部品
パッケージStorm II^{OE} 装備
または
- Option 719 フライス加工部品
パッケージShadow II^{OE} 装備



- ステップパーツ 2 までの高さ
と足の間隔は、様々な位置に回
すことで調整可能です。
- ボルト 1 を取り外します。



- ねじ山を清掃します。

- ステップパーツ 2 を任意のポ
ジションに回します。
- 新しいボルト 1 を取り付けま
す。

 ステップパーツとシフト レバー	
M6 x 20	
ボルト固定剤: マイクロカプ セル加工済	
10 Nm	

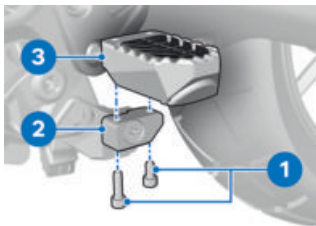
フットレスト

- Option 719 フライス加工部品
パッケージClassic II^{OE} 装備
または
- Option 719 フライス加工部品
パッケージStorm II^{OE} 装備
または
- Option 719 フライス加工部品
パッケージShadow II^{OE} 装備

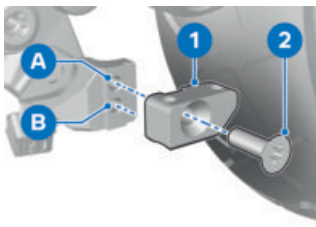
フットレストを調整する

- フットレストの調整は左右とも
に同じ方法で行われます。
- フットレストの位置調整は車体
の左右で同じでなければなりま
せん。

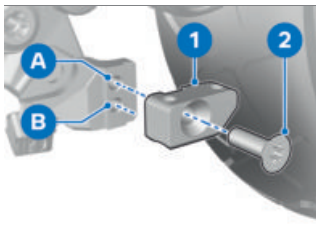
122 調整



- ボルト **1** を取り外します。
- フットレスト **3** をクランプ台 **2** から取り外します。



- ボルト **2** を取り外します。
- クランプ台 **1** を取り外します。

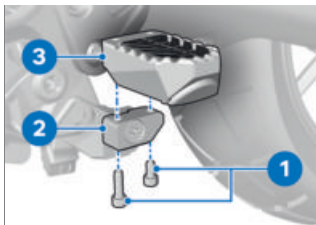


- クランプ台 **1** を希望の位置 **A** または **B** に取り付け、ボルト **2** を締め付けます。

 クランプ台とフットレスト
ジョイント

M8 x 25

20 Nm



- フットレスト **3** をクランプ台 **2** に位置決めします。
- ボルト **1** を取り付けます。

 フットレストとクランプ
台

M6 x 20 / M6 x 12

10 Nm

- フットレストをもう一方の側でも同じ方法で脱着します。

ハンドルバー

調整式ハンドルバー

BMW Motorrad ディーラーにハンドルバーの調整を依頼してください。

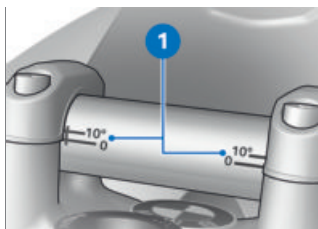
i ハンドルバー調整時には、ミラーおよびウインドシールドが接触しないかどうか点検します。

必要に応じて、ミラーアームを適宜調整します。

ーハンドルバーライザー^{OE} 装備

i ハンドルバーライザーにより、ケーブルおよびライン類の動きの自由度が制限されることがあります。

BMW Motorradは、取り付けられているハンドルバーライザーと共に、ハンドルバーを上側位置(10°マーク)に設定することをお勧めします。◁

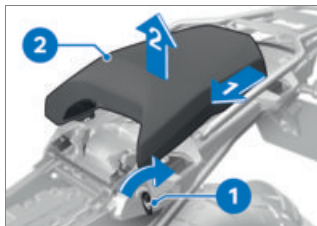


ハンドルバーは、マーク 1 範囲で傾きを調整することができます。

シート

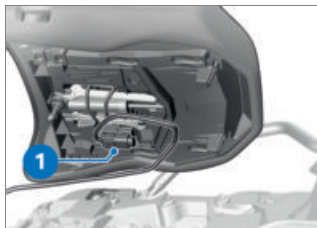
リヤシートを取り外す

- フロントシートを取り外します。(▶ 124)



- 車両キー 1 を時計回りに回します。
- リヤシート 2 を進行方向へ押しずらし、上方向へ取り外します。

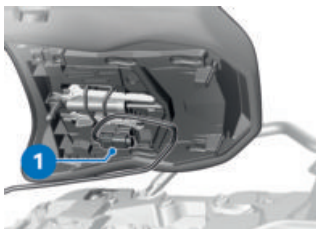
ーシートヒーター^{OE} 装備



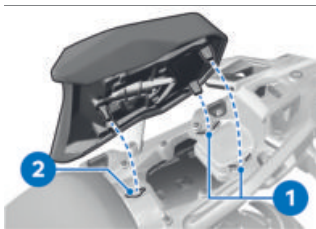
- シートヒーターのコネクター 1 を外します。◁
- リヤシートのカバー側を下にして、清潔で乾いた平面の上に置きます。

124 調整

リヤシートを取り付ける シートヒーター^{OE} 装備



- シートヒーターのコネクター **1** を接続します。◁

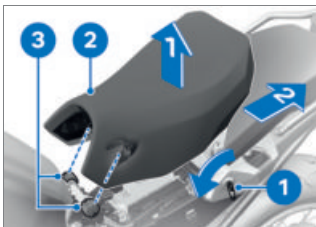


- リヤシート中央部を後ろ側サポート **1** および前側サポート **2** に組み込みます。
- リヤシートを進行方向の反対側へ押しずらします。
- リヤシートが正しく取り付けられているか、点検します。

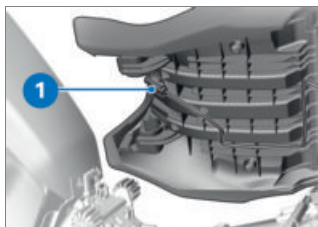


- リヤシート **1** を力強く下方へ押しします。
- »リヤシートが音をたててかみ合います。
- フロントシートを取り付けます。(▶▶▶ 126)

フロントシートを取り外す



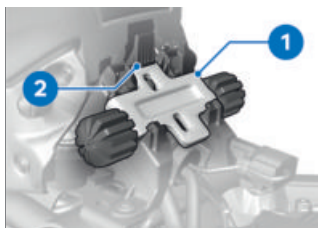
- 車両キー **1** を反時計回りに回して保持し、フロントシート **2** の後部を持ち上げます。
- フロントシート **2** をシートホルダー **3** から後方へ取り外します。

シートヒーター^{OE} 装備

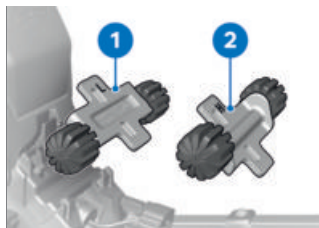
- シートヒーター用コネクター **1** を外します。◁
- フロントシートのカバー側を下にして、清潔で乾いた平面の上に置きます。

シート高さおよびシート傾きを調整する

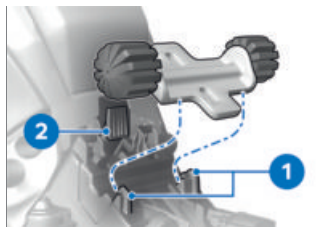
- フロントシートを取り外します。(▶▶ 124)



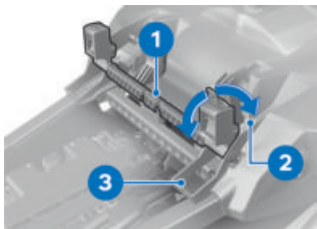
- フロントの高さアジャスター **1** を取り出すには、ロック **2** を前方へ押し、高さアジャスターを上方へ取り出します。



- 低いシート位置に設定するには、フロント側高さアジャスターを **1** の向きで取り付けます(L マーク)。
- 高いシート位置に設定するには、フロント側高さアジャスターを **2** の向きで取り付けます(H マーク)。



- フロントの高さアジャスターをまずホルダー **1** の下にスライドさせ、引き続きロック **2** に噛み合うまで押し込みます。



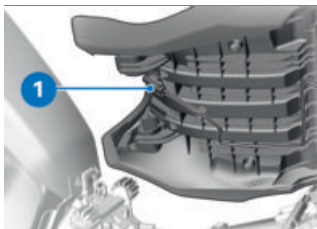
- 低いシート位置に設定するには、リヤ側高さアジャスター **1** を **3** の位置へ動かします(Lマーク)。
- 高いシート位置に設定するには、リヤ側高さアジャスター **1** を **2** の位置へ動かします(Hマーク)。

シート傾きを変更する場合：

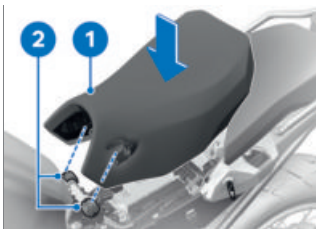
- フロントとリヤの高さ調整を別々に位置決めします。
- フロントシートを取り付けます。(126)

フロントシートを取り付ける

—シートヒーター^{OE} 装備



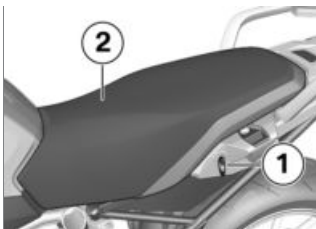
- シートヒーター用コネクター **1** を接続します。◁



- フロントシート **1** をシートサポート **2**(左右) に組み込み、モーターサイクルの上に緩めに取り付けます。
- フロントシートの後部を、軽く前方へ押してから強く押し下げ、ロックをかみ合わせます。

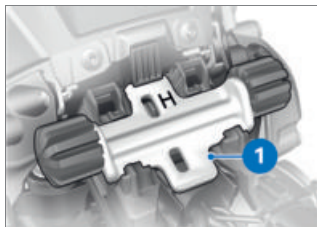
RALLYE シート

Rallye シートを取り外す



- シートロック **1** を車両キーを時計回りに回してロック解除し、車両キーを保持します。
- シート **2** 後部を持ち上げ、車両キーから手を離します。
- シートを取り外し、シートのカバー側を下にして、平坦で清潔な場所に置きます。

高さ調整を確認する

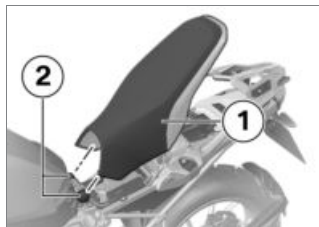


- フロント側高さ調整 **1** は常に高い方のポジション(識別表示 H) に設定されている必要があります。



- リヤ側高さ調整 **1** は常に低い方のポジション(識別表示 L) に設定されている必要があります。

Rallye シートを取り付ける



- Rallye シート **1** を左右サポート **2** に組み込み、ロックが音をたててかみ合うまで、後部を前方下方向に押し込みます。

 オプション装備「コンフォートパッケージ」でのシートの取り外しおよび取り付けについては、モーターサイクルの Rider's Manual を参照。

スプリングプリロード

—Dynamic ESA^{OE} 非装備

調整

リヤホイールのスプリングプリロードを、モーターサイクルの積載荷重に合わせて調整してください。積載荷重が重くなれば、スプリングプリロードを高く調整し、重量が軽くなれば、それに合わせてスプリングプリロードも低く調整する必要があります。

128 調整

リヤホイールのスプリングプリロードを調整する

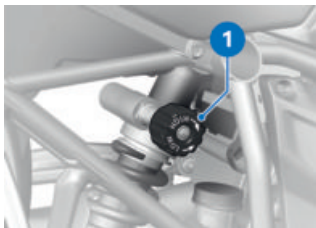


警告

走行中のスプリングプリロードの調整。

事故の危険

- スプリングプリロードの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。
- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



警告

スプリングプリロードとスプリングストラットダンピングの調整が適合していない。

走行特性の低下。

- スプリングストラットダンピングをスプリングプリロードに合わせて調整します。

- スプリングプリロードを高くするには、アジャストノブ **1** を **HIGH** の矢印の方向へ回します。
- スプリングプリロードを低くするには、アジャストノブ **1** を **LOW** の矢印の方向へ回します。



リヤスプリングプリロード基本調整

アジャストノブを **LOW** 方向にストップ位置まで回します (1 名乗車時、荷物積載なし)

アジャストノブを **LOW** 方向にストップ位置まで回してから、**HIGH** 方向に 15 回転戻します。
(1 名乗車時、荷物積載あり)

アジャストノブ **LOW** 方向にストップ位置まで回してから、**HIGH** 方向に 30 回転戻します。
(2 名乗車 + 荷物積載時)

ショックアブソーバー

-Dynamic ESA^{OE} 非装備

調整

ショックアブソーバーは、必ず路面状態およびスプリングプリロードに合わせて、調整してください。

ー凸凹のある路面では、平坦な路面の場合よりも、ショックアブソーバーはソフトに設定されている方が効果的です。

ースプリングプリロードが高い場合は、ショックアブソーバーもハードに調整し、スプリングプリロードが低い場合は、ショックアブソーバーもソフトに調整する必要があります。

リヤホイールのショックアブソーバーを調整する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- ショックアブソーバーの設定を車両の左側面から実行します。



- ダンピングをハードにするには、アジャストスクリュー **1** を時計回りに回します。
- ダンピングをソフトにするには、アジャストスクリュー **1** を反時計回りに回します。



リヤショックアブソーバーの基本調整

アジャストノブを時計回りにストップ位置まで回してから、反時計回りに8クリック回します（1名乗車時、荷物積載なし）

アジャストノブを時計回りにストップ位置まで回してから、反時計回りに4クリック回します（1名乗車時、荷物積載あり）

アジャストノブを時計回りにストップ位置まで回してから、反時計回りに4クリック回します（後席乗車時、荷物積載あり）

走行

07

安全に関する注意事項	132
定期点検	135
始動	136
慣らし走行	139
オフロード走行	140
ギヤチェンジ	141
ブレーキ	142
駐車	144
給油	145
モーターサイクルを搬送用に固定します	150

安全に関する注意事項

ライダーエクイップメント

正しい装備品を装着／着用しないでモーターサイクルに乗ることは、極めて危険です。次のアイテムを、必ず装着／着用してください。

- ヘルメット
- ライディングスーツ
- グローブ
- ブーツ

走行距離の長短や天候にかかわらず、これらのアイテムは必ず装着／着用しなければなりません。BMW Motorrad デイラーは喜んでご相談に応じます。また、それぞれの目的に合わせた、適切なアイテムをご用意しています。

最大許容バンク角の減少

ローダウンシャシー仕様のモーターサイクルの場合、標準シャシー仕様のモーターサイクルと比べて、バンク角度が小さくなり、最低地上高も低くなります。



警告

ローダウン仕様のモーターサイクルでコーナリングを行う場合に、車両部分を通常より早めに起こすことができます。

転倒の危険

- 車両の最大許容バンク角を注意深く確認し、走行スタイルをそれに合わせて調整してください。

危険のない状況で、ご使用のモーターサイクルの許容バンク角を点検してください。縁石の角や障害物などを乗り越えるときには、車両の最低地上高が低く制限されていることを考慮に入れてください。

モーターサイクルをローダウン仕様にするにより、スプリングトラベルは短くなります(「仕様(諸元)」の章を参照)。それまでの走行快適性も制限される可能性があります。タンデム走行においては専用スプリングプリロードを調整する必要があります。

荷物の積載



警告

**積載超過や不均等な積載により、走行安定性が損なわれる
転倒の危険**

- 許容総重量を超えないようにし、積載に関する注意をお守りください。

- スプリングプリロードおよびショックアブソーバーの設定を車両重量に合わせて調整します。

－アルミニウムケース^{0A} 装備

- ケースの容量が左右均等になっているか確認します。

- 重量が左右均等になっているか確認します。

- 重いものはバッグの下部の内側に入れます。

- 最大積載荷重および最高速度を確認し、遵守してください(「アクセサリ」の章も参照 (▶ 214))。◁

－アルミニウムトップケース^{0A} 装備

- 最大積載荷重および最高速度を確認し、遵守してください(「アクセサリ」の章も参照 (▶ 215))。◁

－タンクバッグ^{0A} 装備

- タンクバッグの最大積載荷重を確認し、遵守してください。



タンクバッグの積載容量

max 5 kg<

車速

高速走行時には、さまざまな周辺状況が、モーターサイクルの走行特性に悪影響を及ぼす可能性があります：

- －スプリングプリロードおよびショックアブソーバーの調整
- －荷物積載のアンバランス
- －不適切な服装
- －タイヤ充填圧が低すぎる
- －タイヤトレッドの摩耗
- －その他

ブロックタイヤまたは冬タイヤを装着している場合の最高速度



危険

モーターサイクルの最高速度が、タイヤの許容最高速度を上回っている

高速すぎる場合、タイヤの損傷による事故の危険

- タイヤの許容最高速度を遵守してください。

ブロックタイヤまたは冬タイヤを装着している場合には、これらのタイヤの許容最高速度を確認し、遵守してください。

134 走行

許容最高速度を記したステッカーを、メーターパネルの見える位置に貼ってください。

有毒物質

排気ガスは無色無臭ですが、たいへん有毒な一酸化炭素を含有しています。

警告

健康を害するおそれのある排ガス

窒息の危険

- ・排ガスを吸い込まないようにしてください。
- ・閉め切った場所で、エンジンを作動させないでください。

警告

健康を損なう蒸気などを吸い込むこと

健康を損なう危険

- ・フルード類およびプラスチック類から生じる蒸気を吸い込まないでください。
- ・モーターサイクルは屋外でのみ使用してください。

火傷の危険

注意

走行中のエンジンおよびエキゾーストシステムの過熱

火傷の危険

- ・車両を駐車した後、誰も、何も、エンジンやエキゾーストシステムに触れないように注意してください。

警告

ラジエターキャップを開く

火傷の危険

- ・ラジエターキャップは、熱くなっている状態のときには開かないでください。
- ・クーラントレベルをリザーバータンクでのみ点検し、必要に応じて補給してください。

触媒コンバーター

ミスファイヤによる未燃焼燃料がキャタライザーに流入する場合、異常過熱および損傷が発生する恐れがあります。

以下の基準を守ってください：

- －フューエルタンクが空の状態では走行しない。
- －スパークプラグコネクターを外したままエンジンを作動させない。

- ミスファイアが発生した場合は、ただちにエンジンを停止させる。
- 無鉛ガソリンのみを使用する。
- 指定されているメンテナンススケジュールを遵守する。



重要事項

触媒コンバーター内の未燃焼燃料

触媒コンバーターの損傷

- 触媒コンバーターの保護のため、作動ポイントに注意してください。

オーバーヒート



重要事項

長時間のアイドリング

冷却不足によるオーバーヒート、極端な場合には車両の燃焼

- エンジンを不必要にアイドリングしたままにしないでください。
- エンジンを始動したら、ただちに発進してください。

改造



重要事項

モーターサイクルの改造(例：エンジンマネジメントシステム、スロットルバタフライ、クラッチ)

関連するコンポーネントの損傷、安全に関わる機能の故障、保証の失効

- いかなる改造も行わないでください。

定期点検

チェックリストを確認し、遵守する

モーターサイクルを定期的に点検するため、以下のチェックリストを使用してください。

走行開始のたびに

- ブレーキシステムの機能を点検します (▶▶▶ 177)。
- 照明および信号装置の機能を点検します。
- クラッチの機能を点検します (▶▶▶ 182)。
- タイヤのトレッド溝の深さを点検します (▶▶▶ 185)。
- タイヤ空気圧を点検します (▶▶▶ 184)。
- ケースおよび荷物が確実に固定されているか確認します。

136 走行

3 回目の燃料補給のたびに

- エンジンオイルレベルを点検します (175)。
- フロントブレーキパッド厚を点検します (178)。
- リヤブレーキパッド厚を点検します (179)。
- フロントブレーキフルードレベルを点検します (180)。
- リヤブレーキフルードレベルを点検します (181)。
- クラントレベルを点検します (182)。

始動

エンジンを始動する

- イグニッションを ON にします。 (56)
- » Pre-Ride-Check が実行されます。 (137)
- » ABS 自己診断が実施されます。 (137)
- » DTC 自己診断が実施されます。 (138)
- ニュートラルに設定するか、ギヤを入れた状態でクラッチを切ります。

 サイドスタンドを立てている状態でもギヤを入れることはできますが、モーターサイクルを発進させることはできません。モーターサイクルをニュートラルで始動させ、サイドスタンドを出した状態で 1 速に入れると、エンジンは停止します。

- 冷間始動時および気温の低い場合：クラッチを切ります。
- M Lightweight 車両バッテリー搭載^{OE}
- » 低温度ではスタート状態に影響を与える可能性があります。バッテリーに何度か短時間の通電を行うことによりバッテリー温度が上昇し、それに伴ってエンジン始動用に利用可能な出力も上がります。◁



- スターターボタン 1 を操作します。
 - » エンジンが始動します。
 - » エンジンが始動しない場合は、「仕様(諸元)」の章のトラブルシューティングを参照してください。 (232)
- 始動操作を続ける前に、バッテリーを充電するか、ジャンプスタートを行ってください。
- 接続しているバッテリーを充電します。 (200)
 - ジャンプスタート。 (198)

 バッテリー電圧が十分でない場合、始動動作は自動的に中断されます。

Pre-Ride-Check (走行前点検)

イグニッションを ON にした後、メーターパネルがインジケーター／警告灯のテスト、いわゆる Pre-Ride-Check (走行前点検) を実施します。その終了前にエンジンを始動すると、テストは中断されます。

ステップ 1

すべてのインジケーター／警告灯が点灯します。

車両が比較的長い間停止状態にあった後にシステムをスタートされると、アニメーションが表示されます。

段階 2

ジェネラル警告灯が赤から黄に変わります。

ステップ 3

点灯しているすべてのインジケーター／警告灯が逆の順序で消灯します。

駆動システム故障警告灯は 15 秒後に消灯します。

インジケーター／警告灯が点灯しなかった場合：

● BMW Motorrad ディーラー (最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

ー 走行モード Pro^{OE} 装備

 走行モードまたはその設定に応じて、走行ダイナミクス制御システムの介入が制限されていることがあります。

起こりうる制限については、注意！ ABS の設定。などのポップアップメッセージで表示されます。

ABS インジケーターが不規則に点滅。

ABS のような走行ダイナミクス制御システムに関する詳細情報については、「技術情報」の章をご覧ください。◁

ABS 自己診断

BMW Motorrad インテグラル ABS Pro の作動可能状態が自己診断によって点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まりません。

ステップ 1

» 停止状態で診断可能なシステムコンポーネントの点検。



点滅します。

138 走行

段階 2

» 発進時のホイール回転数センサーの点検。



点滅します。

ABS 自己診断が終了

» ABS 表示灯／警告灯が消灯します。



ABS 自己診断が終了して
いません

ABS は、自己診断が終了しなかったため、使用できません。
(ホイール回転数センサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります : 5 km/h)

ABS 自己診断の完了後に、ABS の不具合が表示される場合：

- 走行を続行することは可能です。ABS 機能もインテグラル機能も使用できないことに注意してください。
- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

DTC 自己診断

BMW Motorrad DTC の作動可能状態は、自己診断により点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。

ステップ 1

» 停止状態で診断可能なシステムコンポーネントの点検。



ゆっくりと点滅します。

段階 2

» 発進時に診断可能なシステムコンポーネントの点検。



ゆっくりと点滅します。

DTC 自己診断が終了しました

» DTC アイコンが表示されなくなります。

- すべてのインジケーター／警告灯の表示に注意します。



DTC 自己診断が終了して
いません

自己診断が終了していないため、DTC 機能を使用できません。
(ホイール回転数センサーの点検を行うには、モーターサイクルがエンジン作動状態で最低速度に達していなければなりません : min 5 km/h)

DTC 自己診断の完了後に、DTC の不具合が表示される場合：

- 走行を続行することは可能です。DTC 機能が使用できない、または機能の使用に制限があることに注意してください。
- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、でき

るかぎり早く故障の修理を依頼してください。

慣らし走行

エンジン

- 最初の慣らし運転までは、負荷範囲とエンジン回転数域を頻繁に変化させてください。一定の回転数での長時間の走行は避けてください。
- カーブが多く、なだらかな坂のある道を選び、十分に慎重な走行をするようにしてください。
- 慣らし走行中のエンジン回転数を遵守してください。



慣らし走行中のエンジン
回転数

<5000 min⁻¹ (走行距離
0...1000 km)

フルロードなし (走行距離
0...1000 km)

- 慣らし運転を行う際に従うべき走行距離を守ってください。



慣らし運転までの走行距
離

500...1200 km

ブレーキパッド

新品のブレーキパッドは、最適な摩擦力に達するまで、慣らし走行が必要です。この段階のブレーキの効きの弱さは、ブレーキレバーを強く握ることで補うことができます。



警告

新しいブレーキパッド

制動距離の延長、事故を起こす危険

- 早めにブレーキングしてください。

タイヤ

新しいタイヤの表面はきわめてなめらかな状態です。したがって、表面が適度に荒れるまで、慎重に慣らし走行を行う必要があります。タイヤの持つ最大のグリップ力を引き出すためには、この慣らし手順を必ず実行してください。



警告

路面が濡れている場合や著しく傾斜している場所で新しいタイヤのグリップが失われる事故の危険

- よく前方に注意して走行し、急な傾斜のある場所は回避してください。

140 走行

オフロード走行

オフロード走行後

タイヤ空気圧



警告

オフロード走行用に低下させたタイヤ空気圧で舗装路を走行
走行特性の悪化により事故を
起こす危険。

- タイヤ充填圧が正しいか確認してください。

スプリングプリロードおよび ショックアブソーバー



警告

オフロード走行用に変更した
スプリングプリロードとスプ
リングストラット減衰力の値
舗装路での走行特性の悪化

- オフロードを離れる前に、
スプリングプリロードとスプ
リングストラット減衰力を正
しく調整してください。

ブレーキ



警告

未舗装路または汚れた道路で
の走行

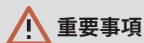
ブレーキディスクとブレーキ
パッドの汚れによるブレーキ
作用の遅延

- ブレーキの汚れが落ちるま
で、早めにブレーキをかけて
ください。

ホイールリム

BMW Motorrad は、オフロード走行
後に、ホイールリムが損傷してい
ないか点検することをお勧めし
ます。

エアフィルター

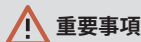


重要事項

エアフィルターエレメントの
汚れ

エンジンの損傷

- 埃の多いオフロードで走行す
る場合には、エアクリーナー
の汚れの点検を頻繁に行い、
必要に応じて清掃または交換
します。



重要事項

未舗装または汚れた道路での
走行

ブレーキパッド摩耗の助長

- ブレーキパッドの厚さを頻繁
に点検し、ブレーキパッドを
早目に交換してください。

非常に埃の多い条件下での走行
(砂漠や乾燥した草原など) にお
いては、専用に開発されたエア
フィルターの使用が必要です。

スタイルバリエーションRallye

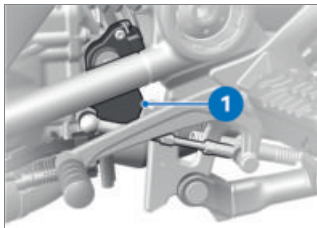
スタイルバリエーションRallyeにより、R 1250 GS Adventure のスポーティなキャラクターはオフロードパフォーマンスの一層の向上を目指しています。装備とその取扱説明書に関する詳細情報については、bmw-motorrad.com/manualsをご覧ください。

ギヤチェンジ

–シフトアシストPro^{OE} 装備

ギヤシフトアシストPro

 ギヤシフトアシストPro を使用してシフトダウンを行う場合には、安全上の理由から、クルーズコントロールは自動的に OFF になります。



- ギヤ入れは、従来と同様に、シフトペダルにかかる踏力で行われます。
- »ギヤシフトアシストはシフトアップ／シフトダウンにおいてライダーをサポートするもので

あり、シフトアップ／シフトダウンの際に、クラッチやスロットルグリップを操作する必要がありません。

- オートマチックは関係がありません。
- ライダーがシステムの重要な構成要素であり、シフトを行う時点を決定します。
- シフトシャフトのセンサー 1 がシフトの希望を検知し、シフトサポートを開始させます。
- »定速走行時にローギヤのまま高回転域に達している場合、クラッチ操作なしでのギヤシフトは過度な荷重移動による反応を招くおそれがあります。
- BMW Motorrad は、このような走行条件においてはクラッチ操作を伴うシフト切替のみをお勧めします。
- 限度回転域におけるギヤシフトアシストProの使用は避けてください。
- »以下の状況では、シフトアシストは作動しません：
 - クラッチが操作されている場合。
 - シフトレバーが初期位置にない場合
 - スロットルバタフライを閉じた状態(惰性走行) または減速時のシフトアップ。

142 走行

ー加速時またはスロットルバタフライが開いている状態でのシフトダウン時。

- ギヤシフトアシストProを使用してさらにギヤ切替を行えるようにするには、シフト動作後に、シフトレバーにかかる負荷を完全に解除します。
- ギヤシフトアシストProに関する詳細情報については、「技術情報」の章を参照してください (167)。

ブレーキ

制動距離を最短にするには？

フロント／リヤホイール間の力学的な負荷配分は、ブレーキングによって変わります。ブレーキングが強くなるほど、フロントホイールにはより大きな負荷がかかります。そしてホイールにかかる負荷が大きくなるほど、より大きな制動力が伝達されます。制動距離を最短にするには、徐々に強くなるようフロントブレーキをかけることが必要です。それにより、フロントホイールにかかる負荷の力学的な増加が、最も効果的に利用されます。同時に、クラッチは切っておく必要があります。しばしばトレーニングされる「緊急ブレーキ」では、ブレーキ圧ができるかぎり早急に最大の力で生成されます。力学的な負荷配分が減速に追い

つけなくなり、制動力が完全には路面に伝達できなくなります。フロントホイールのロックは、BMW Motorrad インテグラルABS Pro によって回避されます。

ハザードブレーキング

車速 >50 km/h 時に急ブレーキがかけられると、さらにブレーキライトが素早く点滅することで、後続の交通利用者に警告を発します。

その際、<15 km/h まで制動されると、ハザードランプが ON になります。車速が 20 km/h 以上になると、ハザードランプは自動的に再び OFF になります。

下り坂



警告

山道や狭い通路などを抜けるときに強烈なリヤブレーキをかける

オーバーヒートによるブレーキの破損、制動作用の損失

- フロントおよびリヤブレーキを作動させて、エンジンブレーキを使用してください。

濡れて汚れたブレーキ

ブレーキディスクやブレーキパッドが濡れていたり汚れていたりすると、ブレーキの効きが悪くなります。

以下の状況では、ブレーキの効きが遅れたり悪くなったりすることを、必ず考慮してください：

- 雨天走行時や、水たまりの中を走行した場合。
- 洗車の後。
- 塩が撒かれた路面を走行したとき。
- ブレーキ関連作業の後で、オイルやグリースの残留物による。
- 汚れている路面や、オフロードの走行時。



警告

濡れや汚れが原因でブレーキの効きが悪くなる

事故の危険

- ブレーキを乾燥させて汚れをとり、必要に応じて清掃します。
- 再び制動力を完全に発揮できるようになるまでは、ブレーキを早めに操作してください。

ABS Pro

走行における物理的限界



警告

コーナーにおけるブレーキング ABS Pro 装備でもある転倒の危険性

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポートを、リスキーな走行により制限しないでください。

ABS Pro およびDynamic Brake Controlのサポートする機能は、ENDURO PRO 以外のすべての走行モードで使用することができます。

転倒をなくすことはできない

たとえABS Pro およびDynamic Brake Control がライダーのために、バンク時のブレーキングの際に万全のサポートを行い、安全性において著しいプラス効果を発揮しても、走行における物理法則の限界を超えられるものではありません。従来と同様に、誤った判断や運転ミスなどにより、この限界を超えることがあります。極端なケースでは、それが転倒につながることもあります。

144 走行

公道での使用

ABS Pro および Dynamic Brake Control は、公道においてモーターサイクルをより安全に使用するためのものです。コーナーにおける思いがけない危険な状況が原因のブレーキング時に、走行における物理的限界の範囲内で、ホイールのロックやスリップを回避します。Dynamic Brake Control は緊急ブレーキ時の制動効果を高めると共に、ブレーキ動作中に誤ってスロットルグリップが操作されると介入します。

 ABS Pro はバンク時の個々のブレーキ性能の向上のために開発されたものではありません。

駐車

サイドスタンド

- イグニッションを OFF にします。(▶▶▶ 57)



重要事項

スタンドを使用している路面の状態が悪い

転倒によるコンポーネントの損傷

- スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。



重要事項

追加重量によるサイドスタンドの負荷

転倒によるコンポーネントの損傷

- 車両がサイドスタンドで立てられている状態のときには、着座しないでください。

- サイドスタンドを出し、モーターサイクルを立てます。
- ハンドルを左に回します。
- 下り坂では、モーターサイクルを上る方向に向けて、1 速に入れます。

メイン(センター) スタンド

- イグニッションを OFF にします。(▶▶▶ 57)



重要事項

スタンドを使用している路面の状態が悪い

転倒によるコンポーネントの損傷

- スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。



重要事項

激しい動きとともにメイン(センター) スタンドを格納する
転倒によるコンポーネントの損傷

- メイン(センター) スタンドを出したままの状態でもーターサイクルに着座しないでください。
- メイン(センター) スタンドを出し、もーターサイクルを立てます。
- 勾配のある路面では、もーターサイクルを「上り」方向に向けて立て、1速に入れます。

給油

燃料品質

前提条件

最適な燃費となるよう、サルファー(硫黄)フリーの燃料、またはできる限り硫黄が少ない燃料を使用してください。



重要事項

有鉛ガソリンを給油する

触媒コンバーターの損傷

- 有鉛ガソリンや金属添加物(マンガ／鉄など)を含む燃料は決して給油しないでください。

- 燃料に含まれるエタノールの最大比率に注意してください。



ガソリン添加剤はフューエルインジェクションシステムおよび燃焼エリアを洗浄する効果があります。低品質の燃料を給油した場合、または、長期間使用しなかった場合には、ガソリン添加剤を使用する必要があります。詳しい情報につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。



推奨フューエルグレード

無鉛プレミアムガソリン(ハイオク) (エタノール 15 %以下、E15)

95 ROZ/RON

90 AKI



燃料品質の選択肢

無鉛レギュラー(出力ロスあり) (最大 15%エタノール、E15)

91 ROZ/RON

87 AKI

- » 低品質の燃料を給油した後は、場合によっては散発的にノッキング音が聞こえることがあります。

146 走行

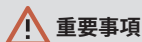
給油手順



警告

**フューエルは簡単に引火します
火災や爆発の危険**

- フューエルタンクに関する作業時には、いかなる場合でも、決してタバコを吸ったり、火を使ったりしないでください。

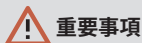


重要事項

コンポーネントの損傷

燃料タンクの過注入によるコンポーネントの損傷

- 燃料タンクに注入し過ぎると、余分な燃料がチャコールフィルターに流入し、そこでコンポーネントの損傷に至ります。
- 燃料タンクへの注入はフィルターネックの下端までにしてください。

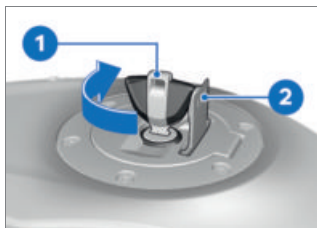


重要事項

**プラスチック表面に燃料が付着
表面の損傷(見苦しくなる、またはつやのない状態になる)**

- プラスチック表面が燃料に触れた場合には、ただちに清掃します。

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター)スタンドで立てます。



- 保護キャップ **2** を開きます。
- フューエルタンクのキャップ **1** を、車両キーを時計回りに回してロック解除し、開きます。



- 燃料を最高でフィルターネックの下端(MAX 位置)まで補給してください。



燃料残量を下回った後に給油を行う場合、給油後の充填量が燃料残量を上回る必要があります。これにより新たな充填レベルが検知され、燃料残量警告灯がOFFになります。

 テクニカルデータ(仕様諸元)に記載されている「フューエル容量」は、フューエルタンクが空に近づき、燃料不足でエンジンが停止したときに給油できる燃料の量です。

 フューエル容量
約 30 l
 フューエルリザーブ容量
約 4 l

- フューエルタンクキャップを強く押して閉めます。
- 車両キーを抜き取り、保護キャップを閉めます。

給油手順

-Keyless Ride^{OE} 装備

前提条件

ステアリングロックはロック解除された状態です。

警告

フューエルは簡単に引火します
火災や爆発の危険

- フューエルタンクに関する作業時には、いかなる場合でも、決してタバコを吸ったり、火を使ったりしないでください。

警告

燃料タンクの充填量が多すぎると、熱の影響で燃料が膨張した場合に漏れる

転倒の危険

- フューエルタンクを充填しすぎないでください。

重要事項

プラスチック表面に燃料が付着
表面の損傷(見苦しくなる、またはつやのない状態になる)

- プラスチック表面が燃料に触れた場合には、ただちに清掃します。

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター)スタンドで立てます。

-Keyless Ride^{OE} 装備

- イグニッションを OFF にします。(▶ 60)

 イグニッションを OFF にした後、無線キーが受信範囲内にない場合でも、タンクキャップを特定のアフターランニング時間以内に開くことができます。

148 走行

	タンクキャップを開くためのアフターランニング時間
2 min	

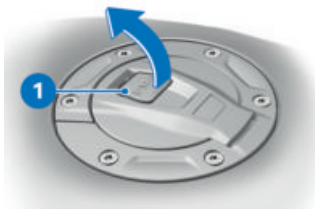
- » タンクキャップは、以下の2つの場合に開くことができます：
- アフターランニング時間内。
 - アフターランニング時間の経過後。

バリエーション1

-Keyless Ride^{OE} 装備

前提条件

アフターランニング時間内



- タンクキャップのタブ 1 をゆっくりと引き上げます。
- » タンクキャップはロック解除されています。
- タンクキャップを完全に開きます。

バリエーション2

-Keyless Ride^{OE} 装備

前提条件

アフターランニング時間の経過後

- 無線キーを受信範囲内に持ち込みます。
- タブ 1 をゆっくりと引き上げます。
- » 無線キーを検索している間は、無線キー用表示灯が点滅します。
- タンクキャップのタブ 1 を再びゆっくりと引き上げます。
- » タンクキャップはロック解除されています。
- タンクキャップを完全に開きます。



- 前述のグレードのフューエルをフィラーネックの下端(MAX 位置)まで補給します。

 燃料残量を下回った後に給油を行う場合、給油後の充填量が燃料残量を上回る必要があります。これにより新たな充

満レベルが検知され、燃料残量警告灯が OFF になります。

 テクニカルデータ(仕様諸元)に記載されている「フューエル容量」は、フューエルタンクが空に近づき、燃料不足でエンジンが停止したときに給油できる燃料の量です。

	フューエル容量
約 30 l	
	フューエルリザーブ容量
約 4 l	

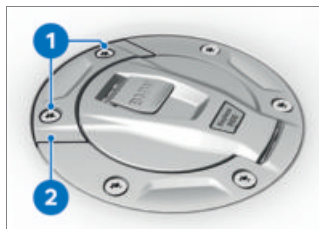
- フューエルタンクのタンクキャップを、力を込めて下へ押します。
- » タンクキャップが音をたててかみ合います。
- » アフターランニング時間の経過後、タンクキャップが自動的にロックします。
- » しっかりとかみ合ったタンクキャップは、ハンドルロックのロックまたはイグニッション ON に伴い、ただちにロックがかかります。

タンクキャップ緊急ロック解除機構を開く

—Keyless Ride^{OE} 装備

タンクキャップが開きません。

- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。



- ボルト **1** を取り外します。
- 非常ロック解除機構 **2** を取り外します。
- » タンクキャップはロック解除されています。
- タンクキャップを完全に開きます。
- 給油します。(▶▶▶ 147)
- タンクキャップ緊急ロック解除機構を閉じます。(▶▶▶ 149)

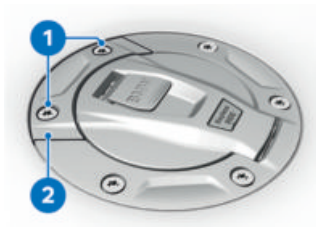
タンクキャップ緊急ロック解除機構を閉じる

—Keyless Ride^{OE} 装備

150 走行

前提条件

タンクキャップは閉じている状態です。



- 非常ロック解除機構 2 を位置決めします。
- ボルト 1 を取り付けます。

モーターサイクルを搬送用に固定します

- テンションストラップ(固定用ベルト) が取り回されるすべてのコンポーネントを、損傷しないように保護します。接着テープや柔らかなウェスなどを使用してください。



重要事項

リフトアップのときに車両が左右に傾く

転倒によるコンポーネントの損傷

- 車両が倒れないよう、サポートする方と一緒に作業するようにしてください。

- モーターサイクルを搬送用プレートの上へ移動させます。サイドスタンドやメイン(センター) スタンドで立てないでください。



- すべてのテンションストラップ（固定ベルト）を均等にピンと張り、車両が確実に固定されているようにします。



重要事項

コンポーネントの挟み込み

コンポーネントの損傷

- コンポーネント（ブレーキラインやケーブルなど）が挟み込まれないようにしてください。
- 左右のテンションストラップをフォークブリッジに通し、下方向へピンと張ります。



- リヤ側テンションストラップをリヤフットレスト用ホルダーに取り付けてピンと張ります（左右）。

技術情報

08

一般的な情報	154
アンチロックブレーキシステム(ABS)	154
ダイナミックトラクションコントロール(DTC)	157
エンジンブレーキトルクレギュレーター(MSR)	159
DYNAMIC ESA	160
走行モード	160
ダイナミックブレーキコントロール	164
タイヤ空気圧コントロール(RDC)	165
ギヤシフトアシスト	167
発進アシスト	168
SHIFTCAM	169
アダプティブヘッドライト	170

一般的な情報

技術に関するさらに詳しい情報については、以下をご覧ください：bmw-motorrad.com/technik

アンチロックブレーキシステム (ABS)

パーシャリーインテグラルブレーキ

このモーターサイクルには、パーシャリーインテグラルブレーキが装備されています。このブレーキシステムでは、ブレーキレバーを操作するとフロント／リヤホイールのブレーキが一緒に作動します。ブレーキペダルを操作した場合、リヤブレーキのみの作動となります。

BMW Motorrad インテグラルABS Pro は、制御によるブレーキング中のフロント／リヤブレーキ間の制動力配分を、モーターサイクルの荷重条件に合わせて行います。



重要事項

インテグラル機能があるにもかかわらずバーンアウトを試みるリヤブレーキおよびクラッチの損傷

- ・バーンアウトを行わないこと。

ABS はどのように作動するのでしょうか？

路面に伝達される最大ブレーキフォースは、様々な要因の中でも、路面の摩擦係数に依存しています。砂利、凍結、雪、水に覆われた路面の摩擦係数は、乾いた、クリーンなアスファルトの路面に比べてはるかに低いものになります。路面の摩擦係数が低くなるほど、制動距離は長くなります。

ライダーがブレーキ圧を上げたときに、路面にかかる最大ブレーキフォースが限界を越えると、ホイールがロックし、方向安定性が失われます。そのため、転倒するおそれがあります。この状況が発生する前に、ABS が作動して、ブレーキ圧が最大制動力に調整されます。そのためホイールは回転し続け、走行安定性は路面状態にかかわらず保持されます。

凸凹のある路面で起こることは？

起伏や凸凹のある路面によって、タイヤと路面のコンタクトが一時的に失われ、その結果、伝達されるブレーキフォースがゼロに落ち込むということが起こります。このような状況でブレーキングが行われる場合、路面とのコンタクトが復活したときに走行安定性を確保するため、ABS はブレーキ圧を下げる必要があります。

ます。このときBMW Motorrad インテグラルABS Pro は、想定しうるいかなる状況においてもホイールが回転し、それによりモーターサイクルの安定性が確実になるよう、摩擦係数をかなり低く見積もっています(砂利、凍結、雪の場合)。実際の状況が明らかになった後、システムはブレーキ圧を最適な値にセットしなおします。

BMW Motorrad インテグラルABS Pro の作動は、ライダーにとってどのように感じられるでしょうか？

上記の状況のために ABS システムがブレーキフォースを制限する必要がある場合、ブレーキレバーに振動が感じられます。ブレーキレバーを操作すると、インテグラル機能によりリヤホイールでもブレーキ圧が生成されます。その後ブレーキペダルを操作すると、ブレーキペダルをブレーキレバー操作の前または同時に操作したかのように、すでに形成されているブレーキ圧が背圧として感じられます。

リヤホイールの浮き上がり

減速が著しく急激な場合、状況によってはBMW Motorrad インテグラルABS Pro はリヤホイールの浮き上がりを回避できないことがあります。このような場合、モ-

ーターサイクルの横転もありえます。



警告

急激なブレーキによるリヤホイールの浮き上がり 転倒の危険

- 急ブレーキの際には、ABS 制御は、必ずしも常にリヤホイールの浮き上がりを防ぐものではないことに注意してください。

BMW Motorrad インテグラルABS Pro はどのように設計されているのでしょうか？

BMW Motorrad インテグラルABS Pro は走行物理的な範囲内で、いかなる路面でも走行安全性を確保します。このシステムは、オフロードレースやレーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。走行の仕方は、走行能力および路面状態に基づいて調整する必要があります。

特殊な状況

ホイールのロックを検知するために、特にフロントホイールとリヤホイールの回転数が比較されます。比較的長い時間にわたり、正常でない値が検知される場合、安全のためにABS機能が停止し、ABSの故障が表示されます。

エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

BMW Motorrad ABS の問題の他にも、特殊な走行状態が原因となりエラーメッセージが表示される場合があります：

－センタースタンドまたは補助スタンドで車両を立てた状態で、ニュートラルまたはギヤを入れて暖機運転する。

－エンジンブレーキにより長時間ロックされたりアホイール（滑りやすい路面での発進など）。

特殊な走行状態によりエラーメッセージが表示された場合には、ABS 機能は、イグニッションを OFF / ON にすることにより再び作動させることができます。

定期的なメンテナンスの役割りとは？



警告

定期的にメンテナンスされていないブレーキシステム。

事故の危険

- ・ABS を確実に最適な整備状態にしておくために、規定の定期点検時期を必ず遵守してください。

安全を確保するための予防措置

BMW Motorrad インテグラルABS Pro により制動距離が短くなるからといって、軽率な走行スタイルをとってはなりません。この装備は、基本的には緊急事態における安全性を確保するための予防措置です。



警告

コーナーにおけるブレーキング
ABS を装備していても事故の危険性あり

- ・どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- ・安全のためのサポート機能を、リスクな走行により制限しないでください。

ABS からABS Pro へ、さらなる発展

これまでBMW Motorrad ABS は、直進走行時のブレーキングにおける安全性に関して極めて高い基準を設定し、実現してきました。そして今、ABS Pro がコーナーにおけるブレーキプロセスにおいても、より高い安全性を提供します。ABS Pro は、もちろん急なブレーキ操作時にも、ホイールのロックを防ぎます。ABS Pro は、特に急ブレーキ時における急激な操舵力の変動を低減させ、

思いがけない車両の立ち上がり
を起こりにくくします。

ABS 制御

技術的には、ABS Pro はABS 制御をその都度ごとの走行条件に合わせ、モーターサイクルのバンク角に適合させています。モーターサイクルのバンク角を算出するため、ロールレート信号、ヨーレート信号、横方向加速度信号が使用されます。

バンク角が大きくなると共に、ブレーキ開始時のブレーキ圧の変化度の制限がますます厳しくなります。これにより、圧力上昇に時間がかかります。さらにABS 制御において均等に圧力変換が行われます。

ライダーにとっての利点

ライダーにとってのABS Pro の利点は、コーナーにおいてもベストな減速を可能にする繊細な応答性、高い制動安定性および走行安定性です。

ダイナミックトラクションコントロール(DTC)

トラクションコントロールはどのように機能するのでしょうか？

トラクションコントロールは、フロントホイールとリヤホイールのホイール回転速度を比較します。速度の差から、リヤホイールのスリップおよび安定性レベ

ルを算出します。スリップ限界値を超えると、エンジン(モーター) マネジメントシステムがエンジン(モーター) トルクを調整します。

BMW Motorrad DTC は、ライダーおよび公道での走行のためのアシストシステムとして考案されています。特に物理的制限領域では、ライダーがDTC の制御性能に大きな影響を与えます(コーナーでの荷重移動、積載状態など)。オフロード走行時には、走行モードENDURO を作動させることを推奨します。このモードではDTC による制御介入が遅延して行われるため、コントロールされたドリフトが可能となります。

このシステムは、オフロードレースやレーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。このような場合は、BMW Motorrad DTC を OFF にできます。



警告

リスクな走行

DTC 搭載でも事故の危険性あり

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポートを、リスクな走行により制限しないでください。

特殊な状況

車体の傾きが増すにつれ、物理的法則に従って、加速はますます強く制限されます。このため、非常にタイトなコーナーでは加速が低減される場合があります。

リヤホイールの回転(空転)やスリップを検知するため、特にフロントおよびリヤホイールの回転数が比較され、バンク角が考慮されます。

一定の時間以上、検出される値が正常でない場合には、バンク角用に代替値が使用されるか、DTCがOFFになります。この場合には、DTCの不具合が表示されます。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

次のような、通常とは異なる運転／走行状態においては、BMW Motorradトラクションコントロールが自動的にOFFになる場合があります。

特殊な運転／走行状態：

- 長時間の後輪走行(ウィーリー)。
- フロントブレーキをかけた際に、その場で後輪が回転(空転)(バーンアウト)。
- 補助スタンドを立てたまま、ニュートラル位置またはギヤを入れた状態でウォームアップ。

極端な加速によってフロントホイールの接地が失われた場合には、フロントホイールが路面を再び確実に捉えるようになるまで、DTCが走行モードRAINおよびROADでトルクを抑えます。

DTC設定DYNAMICおよびENDUROでは、フロントホイール浮き上がり検知により一時的なウィリー走行が可能になります。

DTC設定DYNAMIC PROおよびENDURO PROでは、フロントホイール浮き上がり検知はOFFの状態です。

走行モードENDURO

とENDURO PROはオフロード走行用に設計されており、オンロード走行には適していません。

走行モードECOでは、DTC設定は走行モードROADに準じます。

走行モードRAIN、ROAD、DYNAMIC、DYNAMIC PRO、ENDUROおよびENDURO PROでは、DTC設定は走行モードに準じます。

走行モードDYNAMIC PROおよびENDURO PROでは、DTCについて異なる設定をすることができます(▶ 75)。

BMW Motorradは、フロントホイールの浮き上がり時にスロットルグリップを少し戻して車両をできるだけ早く安定した運転／走行状態に戻すよう、お勧めします。

滑りやすい路面で、クラッチを切らずに突然スロットルグリップを完全に戻すことは決してしないでください。エンジンブレーキトルクによりリヤホイールが滑り、不安定な運転／走行状態に陥る場合があります。このような場合には、BMW Motorrad DTC による制御を行うことができません。MSR により、このような不安定な走行状態を防止することができます。

エンジンブレーキトルクレギュレーター(MSR)

ー走行モードPro^{OE} 装備

エンジンブレーキトルクレギュレーターはどのように機能するのでしょうか？

エンジンブレーキトルクレギュレーターは、高いエンジンブレーキトルクによってリヤホイールで引き起こされる不安定な運転／走行状態を確実に回避するという役割があります。路面状態および走行特性によっては、高すぎるエンジンブレーキトルクがリヤホイールスリップの発生を著しく増大させ、走行安定性が損なわれることがあります。エンジンブレーキトルクレギュレーターは、走行モードおよびバンク角に応じた目的のあるスリップを目指し、リヤホイールのスリップを制限します。

リヤホイールでの過大なスリップの原因：

- ー摩擦係数の低い路面での惰性走行(濡れた木の葉の上など)。
- ーシフトダウン時のリヤホイールホップ。
- ースポーツ走行時の激しいブレーキング。

トラクションコントロールDTCと同様に、エンジンブレーキトルクレギュレーターはフロントおよびリヤのホイール回転数を比較します。バンク角に関する追加情報により、エンジンブレーキトルクレギュレーターはリヤホイールのスリップや安定性の余地について割り出します。

スリップが限界値を上回ったら、スロットルバタフライを少し開いてエンジントルクを増大させます。スリップが軽減され、モーターサイクルが安定します。

エンジンブレーキトルクレギュレーターの作用

- ー走行モードECO、RAIN、ROAD：最大限の安定性。
- ー走行モードDYNAMIC およびDYNAMIC PRO：高い安定性。
- ー走行モードENDURO：最小限の安定性。
- ー走行モードENDURO PRO では、エンジンブレーキトルクレギュレーター(MSR) はOFF の状態です。

DYNAMIC ESA

-Dynamic ESA^{OE} 装備

走行状態補正

電子調整式サスペンションDynamic ESA はモーターサイクルを自動的に積載状態に適合させることができます。スプリングプリロードをAutoに設定すると、ライダーは積載調整を行う必要はなくなります。

発進時および走行中は、システムによりリアホイールのスプリングデフレクションのモニターならびにスプリングプリロードの修正が行われることによって、正しい走行状態に調整されます。ダンピングも同様に積載状態に自動的に適合されます。

Dynamic ESA は車高センサーを介してフレームの動きを検知し、それに反応して EDC バルブを調整します。これにより、サスペンションは路面状況に適合するように調整されます。

Dynamic ESA は定期的な間隔でキャリブレーションされ、システムの正しい作動原理が確保されます。

調整

ダンピングモード

- Road：快適なオンロード走行用のダンピング
- Dynamic：ダイナミックなオンロード走行用のダンピング
- Enduro：オフロード走行用ダンピング

積載設定

- Auto：スプリングプリロードとダンピングの自動設定を行うアクティブな走行状態補正
- Min：最小スプリングプリロード
- Max：最大スプリングプリロード（オフロード使用の場合）
- ライダーは、スプリングプリロードMinとMaxを選択することができますが、変更することはできません。走行状態補正機能は、MinとMaxの設定では有効になりません。

走行モード

選択

モーターサイクルを路面状態に合わせ、ご希望の走行体験に適したものにするため、走行モードを以下のものから選択することができます：

- ECO
- RAIN
- ROAD (標準モード)
- 走行モードPro^{OE} 装備
- ENDURO
- DYNAMIC
- ENDURO PRO
- DYNAMIC PRO

走行モード Pro (オプション(OE))
では、工場設定で常に走行モードROAD、RAIN、ECO、ENDURO が有効になっています。他の走行モードは、走行モード事前選択により選択可能です。選択できる走行モードは常に4つまでです。

各走行モード用に、システムDTC、ABS、MSR ならびにエンジン特性曲線用に調整されている設定があります。

-Dynamic ESA^{OE} 装備

Dynamic ESA の調整も同様に、選択されている走行モードに応じて異なります。

すべての走行モードでDTC をOFF にすることができます。以下の説明は、常に走行安全システムがON の場合に関するものです。

スロットルレスポンス

- 走行モードECO：特に控えめ
- 走行モードRAIN およびENDURO：控えめ
- 走行モードROAD およびENDURO PRO：最適
- 走行モードDYNAMIC およびDYNAMIC PRO：ダイレクト
- 走行モードDYNAMIC PRO およびENDURO PRO では、スロットルレスポンスについてSETUP で異なる設定をすることができます (▶▶ 72)。

ABS

調整

- 走行モードROAD、DYNAMIC、ENDURO およびENDURO PRO では、ABS 設定はそれぞれの走行モードに準じます。
- 走行モードECO およびRAIN では、ABS 設定は走行モードROAD に準じます。
- 走行モードDYNAMIC PRO では、ABS 設定は走行モードDYNAMIC に準じます。
- 走行モードDYNAMIC PRO およびENDURO PRO では、ABS についてSETUP で異なる設定をすることができます (▶▶ 75)。

調整

- 走行モードECO、RAIN、ROAD、DYNAMIC およびDYNAMIC PRO では、ABS はオンロード走行に合わせて調整されています。

162 技術情報

- 走行モードENDUROでは、ABSはオンロードタイヤでのオフロード走行用に調整されています。
- 走行モードENDURO PROでは、ブレーキペダルが操作された場合、リヤホイールのABS制御は行われません。ABSはブロックタイヤでのオフロード走行用に調整されています。

リヤホイール浮き上がり検知

- 走行モードECO、RAIN、ROADおよびENDUROでは、ライダーはリヤホイール浮き上がり検知により最大限にサポートされます。
- 走行モードDYNAMICおよびDYNAMIC PROではリヤホイール浮き上がり検知によるサポートは少なめとなり、リヤホイールを軽く浮き上がらせることができます。
- 走行モードENDURO PROでは、リヤホイール浮き上がり検知はOFFとなります。

ABS Pro

- 走行モードECO、RAINおよびROADでは、ABS Proをフル使用することができます。
- 走行モードDYNAMIC、DYNAMIC PROおよびENDUROでは、ABS ProによるサポートはECO、RAINおよびROADよりも少なめとなります。

- ABS設定DYNAMIC PROでは、ABS Proを使用することはできません。
- ABS設定ENDURO PROでは、ABS Proを使用することはできません。ABS設定ENDUROに切り替えることにより、ONにすることができます。

DTC

タイヤの取り付け

- DTC設定RAIN、ROADおよびDYNAMICでは、DTCはオンロードタイヤでのオンロード走行用に調整されています。
- DTC設定ENDUROでは、DTCはオンロードタイヤでのオフロード走行に調整されています。
- DTC設定ENDURO PROでは、DTCはブロックタイヤでのオフロード走行に調整されています。

走行安定性

- DTC設定RAINでは、最大限の走行安定性を得るために、DTCの介入が早期に行われます。
- 走行モードECOおよびROADのDTC設定では、DTCの介入は走行モードRAINよりも遅く行われます。リヤホイールの空転ができる限り回避されます。
- DTC設定ECO、RAINおよびROADでは、フロントホイールの浮き上がりが回避されます。
- DTC設定DYNAMICでは、DTCの介入がDTC設定ROADの場合よりも

遅く行われ、コーナー出口での軽いドリフトや短時間のウィリー走行が可能になります。

-DTC 設定ENDURO では、DTC の介入が後でもう一度行われてオフロード走行に合わせて調整され、より長いドリフトと短期間のウィリー走行がコーナー出口で可能になります。

-DTC 設定ENDURO PRO では、スパイクタイヤでのオフロード走行用にDTCのコントロールが適合されます。フロントホイール浮き上がり検知がオフになるため、長く高いウィリー走行が可能です。高すぎると、車両が後方に倒れるおそれがあります！

走行モードRAIN、ROAD、DYNAMIC およびENDURO では、DTC 設定は走行モードに準じます。

走行モードENDURO PRO およびDYNAMIC PRO では、DTC について異なる設定をすることができます (175)。

切替

走行モードは、イグニッションがONで車両が停止しているときに変更することができます。走行中の切替は、以下の条件が満たされていれば可能です：

-リアホイールにドライビングトルクがかかっていない

-ブレーキシステム内でブレーキ圧が生成されていない。

走行中に切り替えるには、以下のステップを踏む必要があります：

-スロットルグリップを回し戻します。

-ブレーキレバーは操作しません。

-クルーズコントロールを作動解除します。

ご希望の走行モードをまず事前を選択します。該当するシステムが必要とされる状態になって初めて、切替が行われます。

走行モードの切替が行われた後、ディスプレイの選択メニューが消えます。

ShiftCam テクノロジーによる ECO モード

ShiftCam テクノロジーは最高水準の運動性能と最大限の効率性の橋渡しを行います。フルロードカムが燃焼室を最大限まで満たすために最大限のバルブリフトと高出力を用意する間、パーシャルロードカムが吸気バルブを明らかに少なめに、様々な度合いで開きます。負荷切替損失が反スロットリングにより少なくなり、摩擦が低減され、混合気により強く攪拌されてより効率的

な燃焼が可能となり、燃料消費が抑えられます。

ECO モードはECO 表示およびエンジン特性曲線(電子制御式スロットル調整)により、エンジンを最適な燃費のパーシャルロードカムの作動範囲において適切に稼働させ、それにより最大限の航続可能距離を達成できるように、ライダーをサポートします。

TFT ディスプレイのECO 表示の緑色バーのレベルにより、駆動システムがパーシャルロードカムの燃費が最適化されている範囲内で稼働しているのか、また切替しきい値までどのくらいあるのかわかります。ここでは、バー表示の長さは、フルロードカムへの切替ポイントまでの残りの負荷リザーブを示します。負荷要求が大きくなり、フルロードカムに切り替わると、色はグレーに変わります。選択されているギヤ、負荷要求ならびにエンジン回転数に応じて、ECO 表示は変化します。灰色バーの場合で、パーシャルロードカムの作動範囲外でも、ECO モードは使用可能な最大限のトルクおよび出力を低減させることにより、効率的な走行スタイルの観点においてメリットをもたらします。

 ECO モードでは加速力が低減されているので、重い荷物を積載している場合やタンデム走行の場合に厳しい追い越し

をかける際には、走行モードを切り替えることをお勧めします。

燃料消費はさらに、先々を見通して計画的に走行する方法により、低減させることができます (▶▶ 169)。

ダイナミックブレーキコントロール

—走行モードPro^{OE} 装備

Dynamic Brake Control の機能

 Dynamic Brake Control 機能はすべての走行モードでON の状態です。ライダーは走行モードDYNAMIC PRO およびENDURO PRO でのみ、ABS の個別設定により、OFF にすることができます。

Dynamic Brake Control の機能は緊急ブレーキ時にライダーをサポートします。

緊急ブレーキの検知

—フロントブレーキが瞬間的に力強く操作されると、緊急ブレーキとして検知されます。

緊急ブレーキの際の挙動

—10 km/h を超える車速で走行しているときに緊急ブレーキが行われると、ABS 機能に加えてDynamic Brake Control が作動します。

—ブレーキ圧力勾配の大きいパーシャリーブレーキの場合、Dynamic Brake Control により

リヤホイールのインテグラルブレーキ圧が上昇します。制動距離は短くなり、制御しながらブレーキ動作を行うことができます。

スロットルグリップの誤操作時の動作

- 緊急ブレーキ時にスロットルグリップが誤って操作された場合(グリップ位置 > 5%)、Dynamic Brake Control が「スロットル開」を無視することにより、本来のブレーキ効果を確保します。緊急ブレーキの効果が確保されます。
- Dynamic Brake Control の介入中にスロットルが閉じられると(スロットルグリップ位置 < 5%)、ABS ブレーキシステムによって要求されたエンジントルクが再び確立されます。
- 緊急ブレーキが終了してもスロットルグリップが操作されたままの場合、Dynamic Brake Control はエンジントルクを制御し、ライダーの要望に合うように戻します。

タイヤ空気圧コントロール(RDC)

-タイヤ空気圧モニター (RDC)^{OE} 装備

機能

タイヤにはセンサーが各ひとつずつ装備されており、このセンサーがタイヤ内部のエア温度と充填圧を測定してコントロールユニットに伝送します。

センサーには遠心ガバナーが装備されており、これにより最初に最低速度を越えた時点で測定値の伝送が行われ始めます。



RDC 測定値の伝送のための最低速度：

min 30 km/h

チャージ圧が最初に受信される前は、ディスプレイにはタイヤごとに「--」が表示されます。停車後、センサーはさらに一定の時間、測定値を伝送します。



車両停止状態後の測定値の伝送時間：

min 15 min

RDC コントロールユニットが装備されているが、ホイールにセンサーが取り付けられていないという場合には、エラーメッセージが出ます。

タイヤ充填圧の領域

RDC コントロールユニットは、車両に適合された3つのチャージ圧領域を識別します：

- チャージ圧が許容範囲内
- チャージ圧が許容限界域
- チャージ圧が許容範囲外

温度補正

タイヤ空気圧は温度によって変化します。すなわち、タイヤ内の空気温度が上がるとタイヤ空気圧は増大し、タイヤ内の空気温度が下がると減少します。タイヤ内の空気温度は、外気温度、走行スタイル、走行時間に応じて変化します。

マルチファンクションディスプレイにタイヤ空気圧が温度補正されて表示されます。この空気圧には常にタイヤ空気温度 20 °C が適用されています。ガソリンスタンドの空気圧テスターで温度補正が行われていないと、測定されたタイヤ空気圧はタイヤ内の空気温度に左右されています。そのため、そこで表示される値は、大抵の場合、ディスプレイに表示された値とは一致していません。

充填圧の調整

TFT ディスプレイのRDC 値と Rider's Manual の裏表紙に記載されている値を比較してください。これらの値の偏差は、ガソリンスタンドのタイヤ充填圧メーターで補正する必要があります。

 例
Rider's Manual に従ってチャージ圧は以下の値に達する必要があります：
2.5 bar
TFT ディスプレイに以下の値が表示されます：
2.3 bar
以下が欠如しています：
0.2 bar
ガソリンスタンドのテスターでの表示：
2.4 bar
正しいチャージ圧を生成するため、以下の値へ高める必要があります：
2.6 bar

ギヤシフトアシスト

—シフトアシストPro^{OE} 装備

ギヤシフトアシストPro

この車両には、元々レンシュポルト(レーシングスポーツ)において開発されたギヤシフトアシストProが装備されています。この装備はツーリング走行に合うように適合理化されています。これにより、全負荷範囲および全回転域において、シフトアップ/シフトダウンをクラッチ操作およびスロットル操作なしで行うことができます。

利点

- 走行時における全シフト動作の70～80%をクラッチ操作なしで行うことができます。
- シフト待ち時間が短くなり、ライダーとパッセンジャー間の動きが少なくて済みます。
- 加速時にスロットルバタフライを閉じる必要はありません。
- 減速およびシフトダウン(スロットルバタフライは閉じた状態)の際には、ダブルクラッチにより回転数の調整を行います。
- 切替時間はクラッチ操作に伴うシフト動作と比べて短くなります。

ご希望のシフトを認識させるには、ライダーは、シフトレバーを事前に操作されていない状態からアキュムレーターのスプリングの抵抗を感じる「切替位置」に向かって操作します。この操作は通常、素早くご希望の方向に行い、シフト動作が終了するまで保持している必要があります。シフト動作中にシフト力をさらに高める必要はありません。ギヤシフトアシストProを使用してさらにギヤ切替を行えるようにするには、シフト動作後に、シフトレバーにかかる負荷を完全に解除する必要があります。ギヤシフトアシストProを使用時のシフト動作では、その都度、シフト動作前およびシフト動作中の負荷の状態(スロットルグリップ位置)を一定に保つ必要があります。シフト動作中にスロットルグリップ位置が変わると、機能の中断および／またはミスシフトを招くおそれがあります。クラッチ操作を伴うシフト動作では、ギヤシフトアシストProによるサポートは行われません。

シフトダウン

- シフトダウンは、ターゲットギヤにおける最高回転数に達するまでサポートされます。これにより、過回転も避けられます。



最高回転数

max 9000 min⁻¹

シフトアップ

- 現在の回転数が次に高いギアのそれぞれのしきい値よりも高い場合にのみ、シフトアップが可能です。
- それにより、アイドリング回転数を下回らないようにします。



アイドリング回転数

1050 min⁻¹ (エンジン作動温度時)


しきい値

1 速

min 1350 min⁻¹

2 速

min 1400 min⁻¹

3 速

min 1450 min⁻¹

4 速

min 1500 min⁻¹

5 速

min 1550 min⁻¹

6 速

min 1600 min⁻¹

発進アシスト

発進アシストの機能

発進アシストHill Start Controlは、上り坂における制御不能な後退を、ABS パーシャリーインテグラルブレーキシステムへの適切な介入によって防ぎます。ライダーがずっとブレーキレバーを操作し続ける必要はありません。Hill Start Control の作動によりリヤブレーキシステム内で圧力が生成されるので、傾いた面でもモーターサイクルが後退することはありません。ブレーキシステムのブレーキ圧は傾斜に応じて異なります。

ブレーキ圧のおよび発進動作への傾斜の影響

- 傾斜が小さい場所で停止する場合は、わずかなブレーキ圧のみかかります。発進時のブレーキ解除が素早く行われます。より緩やかな発進が可能です。ほとんどの場合、さらにスロットルを開く必要はありません。
- 傾斜が大きい場所で停止する場合は、大きなブレーキ圧がかかります。発進時のブレーキ解除にやや長くかかります。発進にはより大きなトルクが必要であり、スロットルをさらに開く必要があります。

モーターサイクルが動いたり、スリップした場合の挙動

- Hill Start Control が ON の状態でモーターサイクルが動くと、ブレーキ圧が上昇します。
- リアホイールがスリップすると、約 1 m 後にブレーキが再び解除されます。それにより、リアホイールがロックした状態でのすべり落ちなどが防止されます。

エンジン停止または時間超過時のブレーキの解除

イグニッションキルスイッチでエンジンを停止させた場合、サイドスタンドを立てた場合、または時間超過(10 分)後に、Hill Start Control は作動解除されます。インジケーター／警告灯および以下の反応により、Hill Start Control の作動解除についてライダーに注意が促されます：

ブレーキ警告振動

- ブレーキが一瞬解除され、直後に再びブレーキがかけられます。
- その際、瞬間的な振動が感じられます。
- パーシャリーインテグラルABS ブレーキシステムは速度約 1～2 km/h に制御します。

-ライダーはモーターサイクルに手動でブレーキをかける必要があります。

-2 分後またはブレーキ操作時、Hill Start Control が完全にオフになります。



イグニッションオフ時には、ブレーキ警告で強く引かれることなく、即時に保持圧力は解放されます。

SHIFTCAM

ShiftCam(シフトカム)の機能原理

当該モーターサイクルはBMW ShiftCam(シフトカム)テクノロジー - インテーク側可変バルブタイミングおよび可変バルブリフトのための技術 - を搭載しています。この技術の心臓部は一体型の吸気側スイッチカムシャフトで、このカムシャフトは操作するバルブごとにカム 2 個、すなわちパーシャルロードカム 1 個とフルロードカム 1 個を備えています。パーシャルロードカムは燃費の最適化および走行特性を考慮して開発されました。それに適合するバルブタイミングの他に、パーシャルロードカムは吸気バルブリフトの低減も行います。さらに、パーシャルロードカムの作動時に、左右の吸気バルブ用の吸気カムはストロークと角度位置の点で区別されま

す。これにより、左右の吸気バルブでタイミングをずらしたり、異なる開度にする事が可能になります。メリット：燃焼室に流れ込む燃料と空気の混合気がより強く攪拌され、効果的な燃焼が行われます。これにより全体的に燃料を最適に使用することができます。走行特性の向上を実感できます。フルロードカムは出力最適化のために設計されており、最大限の吸気バルブリフトを可能にします。バルブタイミングとバルブリフトを変化させるため、インテーク側カムシャフトは軸方向にずらされます。さらに電気機械式アクチュエーターのピンがインテーク側カムシャフトのシフトゲートにかみ合います。これが負荷および回転数によって異なる吸気バルブの操作を可能にし、妥協のない性能と低燃費のバランスを実現します。

アダプティブヘッドライト

—アダプティブヘッドライト OE
装備

アダプティブヘッドライトはどのように機能するのでしょうか？

ヘッドライト内に標準装備で取り付けられている防眩ユニットは、LEDによりロービームを発するリフレクター 2 個で構成されています。フロント／リヤサスペンションの車高センサーが、恒常的なヘッドライト光軸調整を可能にするためのデータを提供します。このライトはピッチ補正により、直線走行時に走行や積載状態にかかわらず、常に最適な状態で設定されているエリアを照らします。アダプティブヘッドライトにより、防眩ユニットはさらにバンク角に応じて軸を介して回転し、車両のロール角を調整します。回転角は 70° (± 35°) になります。

これにより、このロービームではピッチとバンク角の両方の補正が行われます。両方の動きが重なり合うことで、コーナーの奥まで届く照射が可能となります。その結果、コーナリング時の路面の照射が明らかに改善され、走行におけるアクティブセーフティが著しく向上します。

メンテナンス

09

一般的な情報	174
車載ツールセット	174
フロントホイールスタンド	175
エンジンオイル	175
ブレーキシステム	177
クラッチ	182
クーラント	182
タイヤ	184
ホイールリム	185
ホイール	186
エアクリーナー	192
ライトバルブ	194
ジャンプスタート	198
バッテリー	199
ヒューズ	203
診断コネクタ	205

一般的な情報

「メンテナンス」の章では、簡単に実施できる消耗部品の点検および交換作業について説明します。

取り付ける際に専用の締付けトルクがある場合には、その締付けトルクも記載されています。必要なすべての締め付けトルクを記した一覧表が「仕様(諸元)」の章にあります。

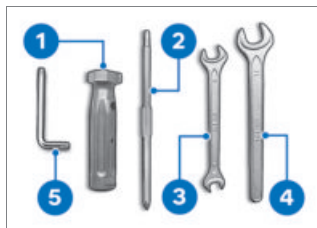
マイクロカプセルボルト

マイクロカプセルは化学的なねじ固定方法です。接着剤により、ボルトとナット、あるいはコンポーネント間の強固な接合を可能にします。そのため、マイクロカプセルボルトは1回限りの使用にのみ適しています。

取り外しの後には、内側のねじ山から接着剤を取り除く必要があります。取り付ける際には、必ず新しいマイクロカプセルボルトを使用してください。そのため、取り外す前には、ねじ山清掃用の適切なツールおよび交換用ボルトを持ち合わせていることを確認してください。不適切な作業が行われると、ボルトの固定機能が保証されなくなり、あなたに危険が及ぶおそれがあります。

記述されている作業の実施にあたっては、専用のツールと確かな専門知識が必要です。疑問に思われることが生じた場合には、BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場にお問い合わせください。

車載ツールセット



- 1 ドライバーグリップ
ードライバーインサートと共に使用
ーエンジンオイルを補充します。(177)
- 2 リバーシブルブレードドライバーインサート
プラス溝 PH1 およびトルクス T25
ーバッテリーカバーを取り外します。(201)
ークーラントを補充する(183)。
- 3 オープンエンドレンチ
口径 8/10 mm
ーバッテリーを取り外す(201)。

- 4 オープンエンドレンチ
口径 14 mm
-ミラーアームを調整します。(▶ 114)
- 5 トルクスレンチ T30
-シフトレバー(下)の調整

フロントホイールスタンド

フロントホイールスタンドを取り付ける



重要事項

追加のメイン(センター) スタンドまたは補助スタンドなしでのBMW Motorrad フロントホイールスタンドの使用

転倒によるコンポーネントの損傷

- モーターサイクルは、BMW Motorrad フロントホイールスタンドで持ち上げる前に、メイン(センター) スタンドまたは補助スタンドで立てます。
- モーターサイクルがしっかりと立っているか確認してください。
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。



- 正しい取り付け方の説明は、フロントホイールスタンドの説明書に記載されています。
- BMW Motorrad はそれぞれのモーターサイクルに適した補助スタンドを提供しています。適した取付けスタンドを選択する際は、BMW Motorrad ディーラーがお手伝いさせていただきます。

エンジンオイル

エンジンオイルレベルを点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、通常の作動温度のモーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。

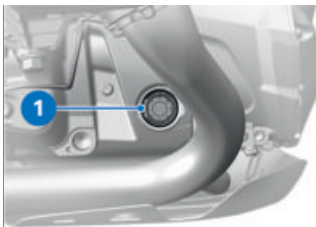
重要事項

オイル充填についての誤った解釈。オイルレベルは温度に対応して変化するため(温度が高くなるとオイルレベルも高くなる)

エンジンの損傷

- オイルレベルの点検は、長距離走行後またはエンジン温間時にのみ、行います。
- ファンが作動し始めるまで、エンジンをアイドリングさせます。
- 通常の作動温度のエンジンを停止させます。
- オイルがオイルパンに集まるまで、5分間待ちます。

 環境への負荷を考慮し、BMW Motorrad は min 50 km の走行後に時折エンジンオイルを点検することをお勧めします。

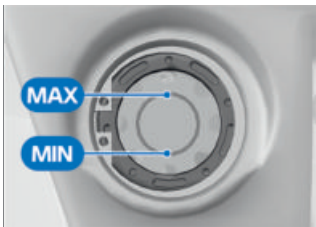


重要事項

モーターサイクルの転倒

転倒によるコンポーネントの損傷

- モーターサイクルを、転倒しないようにしっかりと支えます。もう 1 人、サポートできる人がいると最善です。
- オイルレベルを表示 **1** で読み取ります。



 エンジンオイル規定レベル

MIN と MAX マークの間

オイルレベルが**MIN** マークを下回っている場合：

- エンジンオイルを補充します。(▶▶▶ 177)

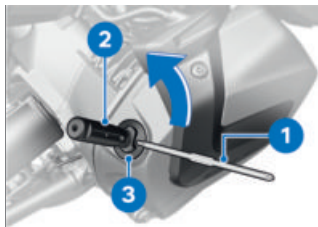
オイルレベルが**MAX** マークを上回っている場合：

- BMW Motorrad ディーラーにオイルレベルの点検を依頼してください。

エンジンオイルを補充する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- エンジンオイルレベルを点検する

 エンジンオイルは温度感応型であるため、オイル充填量のエラー解釈の可能性があります。



- オイル注入口周辺を清掃します。
- 動力伝達を容易にするため、リバーシブルブレードのドライバーインサート **1** を、トルクス側を前にして、ドライバーのグ

リップ **2**(ツールキット) に差し込みます。

- 前述のツールキットをオイル注入口のキャップ **3** の上にセットし、反時計回りに回して取り外します。
- エンジンオイルレベルを点検します。(▶▶▶ 175)



重要事項

エンジンオイルの使用量が少なすぎる、または多すぎる。
エンジンの損傷

- エンジンオイルレベルが正しいか確認してください。

- エンジンオイルを規定レベルまで補充します。



エンジンオイル補充量

max 0.8 l (MIN とMAX間の偏差)

- エンジンオイルレベルを点検します。(▶▶▶ 175)
- オイル注入口のキャップ **3** を取り付けます。

ブレーキシステム

ブレーキの作動を点検する

- ブレーキレバーを操作します。
» はっきりと抵抗が感じられる必要があります。
- ブレーキペダルを操作します。
» はっきりと抵抗が感じられる必要があります。

178 メインテナンス

はっきりした抵抗が感じられない場合：

⚠ 重要事項

ブレーキシステムにおける不適切な作業

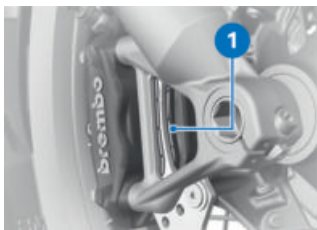
ブレーキシステムの動作信頼性が危険にさらされる

- ブレーキシステムに関するすべての作業は、専門スタッフに実行を依頼してください。

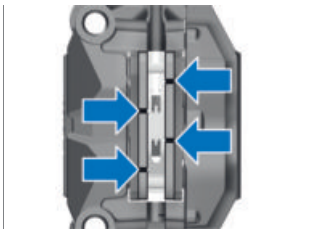
- BMW Motorrad ディーラーにブレーキシステムの点検を依頼してください。

フロントブレーキパッド厚を点検する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



- 左右ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：ホイールとフロントサスペンションの間を通過、ブレーキパッド 1 へ。



フロントブレーキパッドの摩耗限度

1.0 mm (ライニングのみ(キャリアプレートなし)。摩耗インジケーター(溝)がはっきりと確認できなければなりません。)

摩耗インジケーターがはっきりと見えなくなっている場合：

⚠ 警告

パッドの使用限度厚を下回る
制動作用の低下、ブレーキの損傷

- ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、パッドの使用限度厚を下回らないようにしてください。

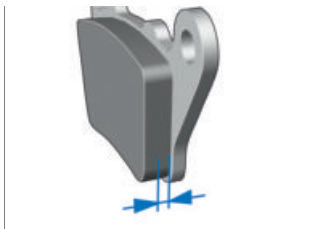
- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場にブレーキパッドの交換を依頼してください。

リヤブレーキパッド厚を点検する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



- ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：フェンダーとリアホイールの間から、ブレーキパッド **1** へ。



リヤブレーキパッドの摩
耗限度

1.0 mm (ライニングのみ(キャリアプレートなし)。)

摩耗限度に達している場合：



警告

パッドの使用限度厚を下回る
制動作用の低下、ブレーキの損傷

- ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、パッドの使用限度厚を下回らないようにしてください。
- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場にブレーキパッドの交換を依頼してください。

180 メンテナンス

フロントブレーキフルードレベルを点検する



警告

ブレーキフルードリザーバータンクのブレーキフルードが少なすぎる、または汚れているブレーキシステム内の空気、汚れ、または水によるブレーキ性能の著しい低下

- 直ちに走行を調整し、不具合を解消します。
 - ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。
 - ブレーキフルードリザーバータンクのキャップを開く前に、キャップの汚れを取り除いてください。
 - ブレーキフルードは必ず密封容器からのもののみを使用してください。
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをメイン(センター)スタンドで立てます。
 - ハンドルを直進位置にします。



- フロントブレーキフルードリザーバータンクのブレーキフルードレベル 1 を読み取ります。



ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバータンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。



フロントブレーキフルードレベル

ブレーキフルード、DOT4



フロントブレーキフルードレベル

ブレーキフルードレベルがMINマークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードリザーバータンクが水平になるように、車両をまっすぐに立てます)

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

リヤブレーキフルードレベルを点検する



警告

ブレーキフルードリザーバータンクのブレーキフルードが少なすぎる、または汚れている
ブレーキシステム内の空気、汚れ、または水によるブレーキ性能の著しい低下

- 直ちに走行を調整し、不具合を解消します。
 - ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。
 - ブレーキフルードリザーバータンクのキャップを開く前に、キャップの汚れを取り除いてください。
 - ブレーキフルードは必ず密封容器からのもののみを使用してください。
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。

182 メインテナンス



- リヤブレーキフルードリザーバータンクのブレーキフルードレベル **1** を読み取ります。

 ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバータンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。



 リヤブレーキフルードレベル

ブレーキフルード、DOT4

ブレーキフルードレベルが**MIN**マークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードリザーバータンクが水平になるように、車両をまっすぐに立てます)

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

クラッチ

クラッチの機能を点検する

- クラッチレバーを操作します。
» はっきりと抵抗が感じられる必要があります。

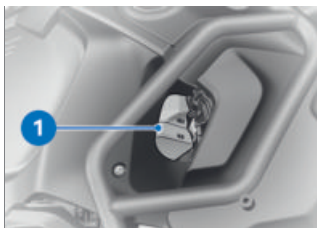
抵抗がはっきりと感じられない場合：

- BMW Motorrad ディーラーにクラッチシステムの点検を依頼してください。

クーラント

クーラントレベルを点検する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- エンジン冷まします。



- リザーバタンク **1** のクーラントレベルを読み取ります。



 クーラント規定レベル

リザーバーの**MIN** と**MAX** マークの間 (エンジンが冷えている)

クーラントレベルが規定値を下回った場合：

- クーラントを補充します。
(▶▶▶ 183)

クーラントを補充する

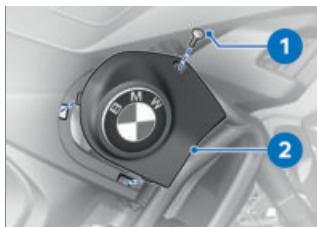


警告

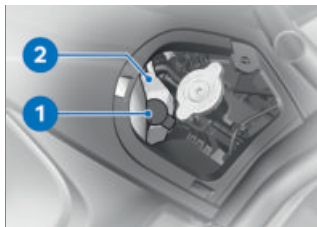
ラジエターキャップを開く

火傷の危険

- ラジエターキャップは、熱くなっている状態のときには開かないでください。
- クーラントレベルをリザーバタンクでのみ点検し、必要に応じて補給してください。



- ボルト **1** を取り外し、カバー **2** を外します。

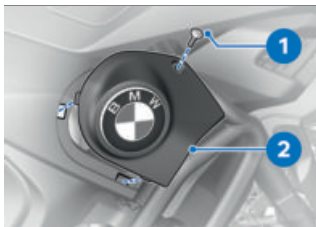


- クーラントリザーバタンク **2** のキャップ **1** を開き、クーラン

184 メインテナンス

トを規定レベルまで補充します。

- クーラントレベルを点検します。(182)
- クーラントリザーバータンクのキャップを閉じます。



- カバー 2 をあてがいます。
- ボルト 1 を取り付けます。

タイヤ

タイヤ空気圧を点検する



警告

タイヤ充填圧が不適切

モーターサイクルの走行特性が悪化、タイヤ耐用年数の減少
•タイヤ充填圧が正しいか確認してください。



警告

垂直に取り付けられているバルブコアが高速走行時に勝手に開く

タイヤ空気圧の突然の喪失

- ラバーシール付きバルブキャップを使用し、しっかりと締め付けます。

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- タイヤ充填圧を、以下のデータを使用して点検します。



タイヤ空気圧(フロント)

2.5 bar (タイヤ冷間時)



タイヤ空気圧(リヤ)

2.9 bar (タイヤ冷間時)

タイヤ充填圧が不十分な場合：

- タイヤ充填圧を調整します。



タイヤ空気圧はタイヤ空気圧コントロール(RDC)で確認することができます。この値は、常に温度補正が行われた状態で表示され、タイヤ空気温度 20 °C が適用されています。ガソリンスタンドの空気圧点検装置では、温度補正は行われません。そのため、そのようなところで測定された値は、ほとんどの場合

TFT ディスプレイに表示される値と合致していません。

タイヤのトレッド溝の深さを点検する



警告

著しく摩耗したタイヤでの走行
走行特性の悪化により、事故に至る危険

- 必要に応じて、法的に規定されているトレッドの最小残溝量に達する前にタイヤを交換してください。
- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- タイヤのトレッド溝の深さを、メインのトレッド溝で、摩耗インジケーターを使用して測定します。

 摩耗インジケーターはタイヤごとにメインのトレッド溝に設けられています。タイヤのトレッド溝がインジケーターレベルにまで達している場合は、タイヤが完全に摩耗しています。インジケーターの位置は、タイヤの縁に TI、TWI などのアルファベットや矢印で示されています。

トレッドが最小残溝量に達している場合：

- 当該タイヤを交換します。

ホイールリム

ホイールリムを点検する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- ホイールリムに不良な部分がないか目視点検します。
- ホイールリムが損傷した場合は、BMW Motorrad ディーラーに点検を依頼し、必要に応じて交換してください。

スポークを点検する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- ドライバーのグリップなどでスポークをこすり、その際の音色に注意します。

音色が不均一である場合：

- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場にスポークの点検を依頼してください。

ホイール

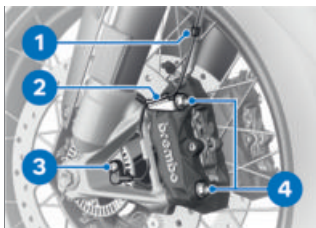
ホイールサイズがサスペンション制御システムに与える影響

ホイールサイズは、サスペンション制御システムにおいて ABS で重要な役割を果たします。特にホイールの直径および幅は、必要となるすべての計算のベースとしてコントロールユニットにメモリーされています。標準装備ホイール以外のホイールへの変更によりこのサイズが変わると、これらのシステムの制御性に重大な影響が及ぶおそれがあります。

ホイール回転数検知に必要なセンサーリングも、取り付けられている制御システムに適合させる必要があります、交換はできません。ご使用のモーターサイクルに他のホイールを装着なさりたい場合には、事前に BMW Motorrad ディーラーにご相談ください。コントロールユニットにメモリーされているデータを、新しいホイールサイズに適應させることができる場合もあります。

フロントホイールを取り外す

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。



- ホイール回転数センサー用ケーブルをクランプ **1** および **2** から外します。
- ボルト **3** を取り外し、ホイール回転数センサー をボアから取り外します。
- リム周辺をマスキングテープなどで保護し、ブレーキキャリパーを取り外す際に傷が付かないようにします。

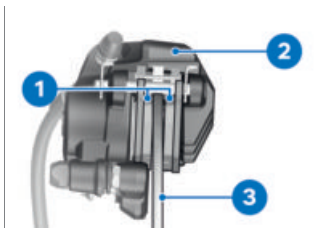


重要事項

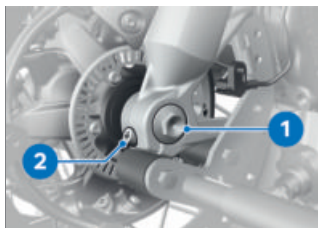
ブレーキパッドが意図せず押し付け合わされる

ブレーキキャリパーの装着時またはブレーキパッドの押し付け合わせ時のコンポーネントの損傷

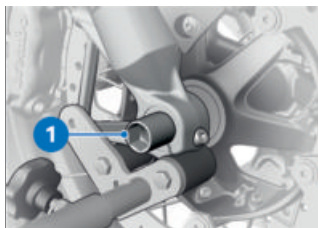
- ブレーキキャリパーが外れている(緩んでいる) 状態で、ブレーキを操作しないでください。
- 左右ブレーキキャリパーの固定ボルト **4** を取り外します。



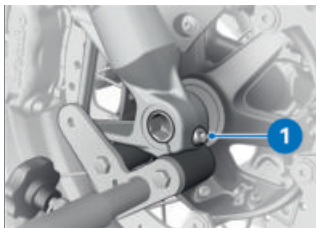
- ブレーキキャリパー 2 を回転させて、ブレーキパッド 1 をブレーキディスク 3 から少し離れるように押します。
- ブレーキキャリパーを慎重に後方外側へブレーキディスクから引き出します。
- モーターサイクル前部を持ち上げ、フロントホイールが妨げなく回転できるようにします。BMW Motorrad フロントホイールスタンドを使用するのが最も良い方法です。
- フロントホイールスタンドを取り付ける (▶ 175)



- ボルト 1 を取り外します。
- 左アクスルクランプボルト 2 を外します。
- アクスルシャフトをわずかに内側に押し、アクスルシャフト右側から手が届きやすいようにします。



- フロントホイールを保持しながら、アクスルシャフト 1 を引き出します。
- フロントホイールを下に置き、フロントサスペンションから前方へ転がして取り出します。



- 右アクスルクランプボルト 1 を外します。



- スペーサーブッシュ **1** をホイールハブから取り出します。

フロントホイールを取り付ける



警告

当該シリーズに適合しないホイールの使用

ABS およびDTC による制御介入時の機能障害

- この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システムABS およびDTC に与える影響についての注意事項を確認し、遵守してください。



重要事項

ボルト締め付け部を誤った締め付けトルクで締め付ける

ボルト締め付け部の損傷または緩み

- 締め付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。



- スペーサーブッシュ **1** の摺動面にグリースを塗布します。



潤滑剤

Optimoly TA

- ホイールハブ左側スペーサーブッシュ **1** を取り付けます。



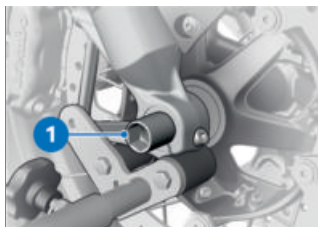
重要事項

フロントホイールの取り付けが回転方向と逆

事故の危険

- タイヤまたはリム上にある回転方向を示す矢印を確認し、遵守してください。

- フロントホイールをフロントサスペンションに転がし入れます。



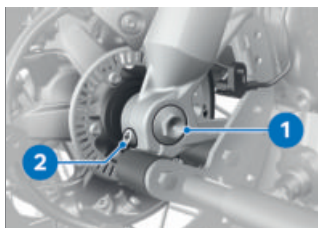
- アクスルシャフト **1** にグリースを塗布します。



潤滑剤

Optimoly TA

- フロントホイールを持ち上げて、アクスルシャフト **1** を取り付けます。
- フロントホイールスタンドを外し、フロントフォークを数回、強く圧縮します。その際、ブレーキレバーを操作してはいけません。
- フロントホイールスタンドを取り付ける (175)



- ボルト **1** を規定の締付けトルクで締め付けて取り付けます。

その際、アクスルシャフトを右側に保持します。



テレスコピックフォーク
内のアクスルシャフト

M12 x 20

30 Nm

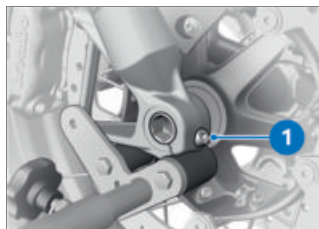
- 左アクスルランプボルト **2** を締付けトルクで締め付けます。



テレスコピックフォーク
内のアクスルシャフト用
固定ボルト

M8 x 35

19 Nm



- 右アクスルランプボルト **1** を締付けトルクで締め付けます。



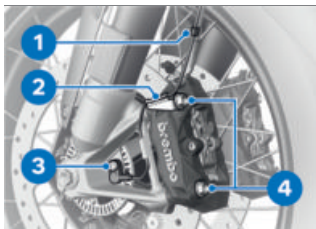
テレスコピックフォーク
内のアクスルシャフト用
固定ボルト

M8 x 35

19 Nm

190 メインテナンス

- フロントホイールスタンドを取り外します。
- 左右ブレーキキャリパーをブレーキディスクに取り付けます。



- 固定ボルト 4(左右) を締め付けトルクで締め付けて取り付けます。

 ブレーキキャリパーとテレスコピックフォーク

M10 x 65

38 Nm

- ホイールリムに貼られているマスキングテープなどをはがします。

警告

ブレーキパッドがブレーキディスクに密着していない

ブレーキ作用の遅延によって事故を起こす危険あり。

- 運転開始前には、ブレーキ作用が遅延なくかかることを点検すること。

- ブレーキパッドが密着するまで、ブレーキを何度か操作します。
- ホイール回転数センサー用ケーブルをクランプ 1 および 2 に組み込みます。
- ホイール回転数センサーをボアに組み込み、ボルト 3 を取り付けます。

 ホイール回転数センサーとフォーク

M6 x 16

接合剤: マイクロカプセル加工済またはボルト固定剤(中強度) 使用

8 Nm

リヤホイールを取り外す

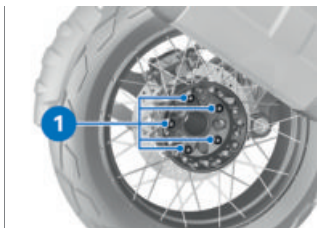
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。
- ギヤを 1 速に入れます。

注意

高温のエキゾーストシステム
火傷の危険

- 高温のエキゾーストシステムには触れないこと。

- エンドマフラーを冷却します。



- リアホイールのボルト **1** を取り外します。その際、ホイールを保持します。
- リヤホイールを後方へ転がして取り外します。

リヤホイールを取り付ける

警告

当該シリーズに適合しないホイールの使用

ABS およびDTC による制御介入時の機能障害

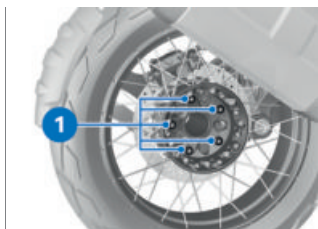
- この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システムABS およびDTC に与える影響についての注意事項を確認し、遵守してください。

重要事項

ボルト締め付け部を誤った締め付けトルクで締め付けるボルト締め付け部の損傷または緩み

- 締め付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。

- リヤホイールをリヤホイールサポートの上に載せます。



警告

スポークホイールとキャストホイール用のホイールボルトの複合取付け

事故の危険

- 長さコードが等しく許可されているホイールボルトのみ使用してください。
- ホイールボルトにはグリースを塗布しないでください。

- ホイールボルト **1** を規定の締め付けトルクで取り付けます。

192 メンテナンス



リヤホイールとホイール
フランジ

締め付け順序: 対角の順に締め
付ける

M10 x 1.25 x 40

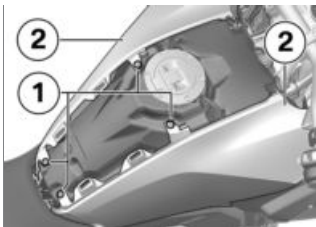
60 Nm

エアクリーナー

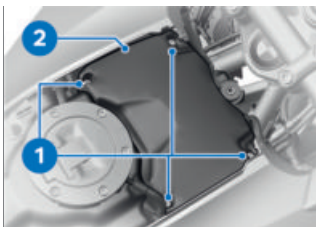
エアクリーナーエレメントを取 り外す



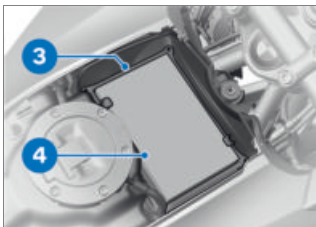
- フロントシートを取り外しま
す。(111→ 124)
- ストレージコンパートメントの
カバー 1 を開けます。
- ボルト 2、3、4 を取り外しま
す。
- タンクカバーを取り外します。



- ボルト 1 を取り外します。
- 両側のカバー 2 を取り外す。



- ボルト 1 を取り外します。
- エアクリーナーカバー 2 を取
り外します。

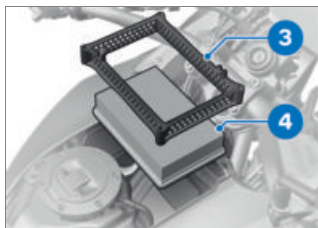


- フレーム 3 を取り外します。
- エアクリーナーエレメント 4
を取り外します。

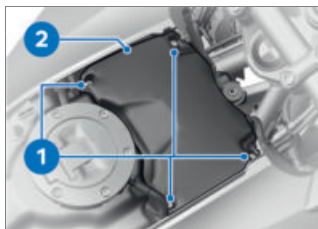
エアクリーナーを点検する

- エアクリーナーを点検し、必要に応じて清掃します。
- » 著しく汚れているエアクリーナーは交換します。

エアクリーナーエレメントを取り付ける



- エアクリーナーエレメント **4** を清掃し、必要に応じて新品に交換します。
- エアクリーナーエレメント **4** とフレーム **3** を組み込みます。



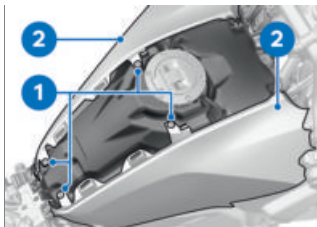
- エアクリーナーカバー **2** をのせます。
- ボルト **1** を取り付けます。

 エアクリーナーカバーとサージタンク

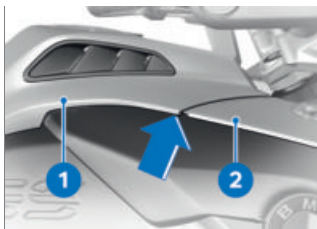
締付け順序: 対角の順に

M5 x 50

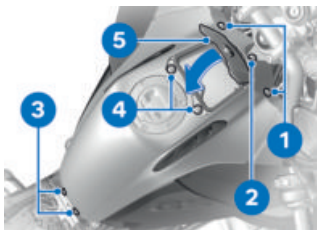
3 Nm



- 両側のカバー **2** を位置決めする。
- ボルト(短いカラー) **1** を取り付けます。



- タンクカバー **1** を上方から組み込みます。取り付けの際には、ガイド(矢印)がアッパーフロントフェンダー **2** の下側にくるように注意してください。



- **ボルト(短いカラー) 3 および 4** を取り付けます。
- **ストレージコンパートメント用カバー 5** を閉じます。
- **ボルト(短いカラー) 1** を取り付けます。
- **ボルト 2** を取り付けます。



ボディボルト締め付け

M6 x 25

8 Nm

- フロントシートを取り付けます。(111 ➡ 126)

ライトバルブ

LED バルブを交換する

ヘッドライトコントロールユニット^{OE} 非装備



警告

車両バルブ機能停止による道路 交通での車両の見過ごし 安全に関わる危険

- 故障したライトバルブはできるかぎり早く交換してください。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

当該モーターサイクルのすべてのライトバルブはLEDバルブです。LEDバルブはご利用のモーターサイクルより長寿命です。LEDバルブの不具合については、BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場にお問い合わせください。

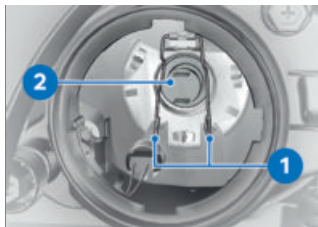
ロービーム／ハイビーム用バルブを交換する

ヘッドライトコントロールユニット^{OE} 装備

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- イグニッションを OFF にします。



- カバー **1** を反時計回りに回して取り外し、ロービーム用バルブを交換します。



- スプリングクランプ **1** をロックから外して開きます。
- バルブ **2** を取り外します。
- 故障しているバルブを交換します。



- カバー **1** を反時計回りに回して取り外し、ハイビーム用バルブを交換します。



ロービームのバルブ

－ヘッドライトコントロールユニット^{OE} 非装備

LED<

－ヘッドライトコントロールユニット^{OE} 装備

H7 / 12 V / 55 W<



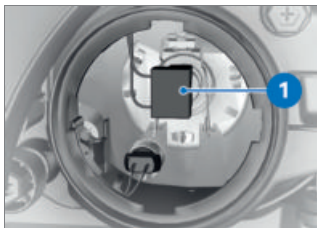
ハイビーム用バルブ

－ヘッドライトコントロールユニット^{OE} 非装備

LED<

－ヘッドライトコントロールユニット^{OE} 装備

H7 / 12 V / 55 W<

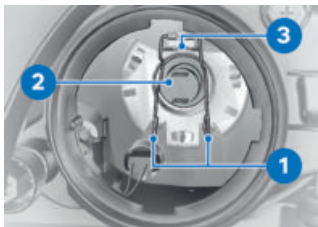


- コネクター **1** を外します。

- 新品のバルブのガラス面に汚れが付かないようにするため、バルブを取り扱う際はソケット

196 メインテナンス

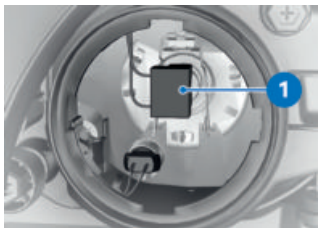
部分にのみ触れるようにしてください。



- バルブ 2 を組み込みます。その際、突起部 3 が正しい位置にあることを確認してください。

 白熱バルブの位置や向きは、図とは異なる場合があります。

- スプリングクランプ 1 をロックにはめます。



- コネクター 1 を接続します。
- カバーをあてがい、時計回りに回して取り付けます。◁

ポジションライト／パーキングライト用バルブを交換する

—ヘッドライトコントロールユニット^{OE} 装備

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- イグニッションを OFF にします。



- カバー 1 を反時計回りに回して取り外します。



- ソケット 1 をヘッドライトハウジングから取り外します。



- バルブ 1 をソケット から引き出します。
- 故障しているバルブを交換します。



ポジションライト／パーキングライトバルブ

－ヘッドライトコントロールユニット^{OE} 非装備

LED◁

－ヘッドライトコントロールユニット^{OE} 装備

W5W / 12 V / 5 W◁

- 新しいバルブのガラス面に汚れが付かないようにするため、必ず乾いている清潔なウェスを 사용하여取り扱ってください。



- バルブ 1 をソケットにセットします。



- ソケット 1 をヘッドライトハウジングにセットします。
- カバーをあてがい、時計回りに回して取り付けます。◁

ジャンプスタート

⚠ 注意

エンジン作動時に、イグニッションシステムの電圧を伝導する部品に接触

感電

- エンジン作動時は、イグニッションシステムの部品に決して触れないでください。

⚠ 重要事項

モーターサイクルでジャンプスタートを行う際の強すぎる電流
車両電装系の損傷やケーブルの燃焼

- モーターサイクルのジャンプスタートは電源ソケットからではなく、必ずバッテリーターミナルから行ってください。

⚠ 重要事項

ジャンパーコードのターミナルクランプと車両間の接触

ショートのおそれ

- ジャンパーコードは完全に絶縁されているターミナルクランプとともに使用してください。

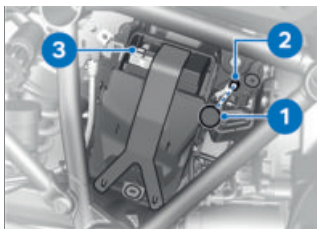
⚠ 重要事項

ジャンプスタートを 12 V より高い電圧で行う

車両電装系の損傷

- 供給側車両のバッテリー電圧が、12 V であることを確認してください。

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- バッテリーカバーを取り外します。(▶ 201)
- ジャンプスタートを行う際、バッテリーを車両電装システムから切り離さないでください。



- 保護キャップ 1 を取り外します。
- ジャンパーコード(赤)の一方の先端を放電したバッテリーのプラスターミナル 2 に、もう一方の先端を供給側バッテリーのプラスターミナルに接続します。
- ジャンパーコード(黒)の一方の先端を供給側バッテリーのマイ

ナスターミナルに接続します。
その後、もう一方の先端を放電したバッテリーのマイナスターミナル **3** に接続します。

- ジャンプスタートを行っている間、供給側バッテリー車両のエンジンを作動させておきます。
- 放電したバッテリー側の車両のエンジンを、通常の方法で始動させます。正常に始動しなかった場合は、スターターと供給側バッテリーの保護のため、数分経ってから再始動させてください。

 エンジンを始動するために、スタートアシストスプレーや類似の補助剤は使用しないでください。

- 接続を外す前に、両車両のエンジンをそのまま数分間作動させておいてください。
- ジャンパーコードは、まずマイナスターミナルから外し、その後プラスターミナルから外します。
- 保護キャップを取り付けます。
- バッテリーカバーを取り付けます。(▶▶▶ 203)

バッテリー

メンテナンスに関する注意

正しいメンテナンス、充電、保管は、バッテリーの寿命を延ばし、また、保証のための前提条件となります。

バッテリーの寿命を延ばすために、以下のことに注意してください。

- バッテリーの表面を、清潔で乾いた状態に保つ。
- バッテリーを開けない。
- バッテリーに水を補充しない。
- バッテリーの充電を行う場合は、必ず、次ページ以降の注意事項に従う。
- バッテリーを逆さまにしない。

重要事項

車両エレクトロニクス(時計など)により、接続されているバッテリーが放電する

過放電、それによる保証要件からの除外

- 4週間以上、走行しない場合：トリクルチャージャーをバッテリーに接続してください。

 BMW Motorrad では、ご使用のモーターサイクルの電子機器専用トリクルチャージャーを開発しました。このチャージャーを使用すれば、車両を長期間使用しない場合

200 メインテナンス

でも、バッテリーを接続した状態で充電しておくことができません。詳しい情報につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問合せください。

接続しているバッテリーを充電する

重要事項

車両に接続されているバッテリーをバッテリーターミナルで充電

車両電装系の損傷

- 充電前にバッテリーをバッテリーターミナルから接続を外してください。

重要事項

電源ソケットまたは補助コネクタから完全に放電したバッテリーを充電する

車両エレクトロニクスの損傷

- 完全に放電したバッテリー（バッテリー電圧 12 V 未満、イグニッションオン時に表示灯およびマルチファンクションディスプレイがオフのまま）を必ず**分離した**バッテリーのターミナルで充電します。

重要事項

電源ソケットに接続されている、不適切なバッテリーチャージャー

チャージャーおよび車両電装系の損傷

- 適切なBMW チャージャーを使用します。対応する適切なチャージャーはBMW Motorrad ディーラーで入手することができます。

- 接続しているバッテリーに電源ソケットから充電します。

 バッテリーがフル充電されると、車両の電子機器が検知します。この場合、電源ソケットの回路は遮断されます。

- バッテリーチャージャーの取扱説明書を確認し、遵守してください。

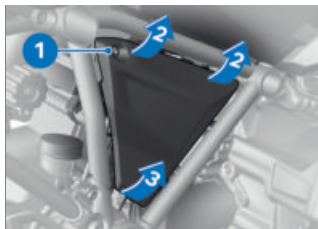
 電源ソケットからバッテリーの充電ができない場合、使用されたチャージャーがモーターサイクルの電子機器に適合していない可能性があります。この場合は、車両から分離したバッテリーのターミナルから、直接バッテリーを充電してください。

外したバッテリーを充電する

- 適切なチャージャーを使用し、バッテリーを充電します。
- バッテリーチャージャーの取扱説明書を確認し、遵守してください。
- 充電が終了したら、チャージャーのターミナルクランプをバッテリーターミナルから外します。

 長期間車両を使用しない場合は、バッテリーを定期的に充電する必要があります。その場合には、そのバッテリーの取扱い規定に従ってください。また、再使用する前に必ずバッテリーをフル充電してください。

バッテリーを取り外す

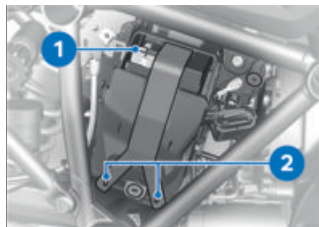


- イグニッションを OFF にします。
- ボルト **1** を取り外します。
- バッテリーカバー上部を **2** の位置のところで、少し引っ張り出します。
- バッテリーカバーおよびサポートを損傷しないようにするた

め、バッテリーカバーを **3** の位置のところで上方へ取り外します。

—盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備

- 必要に応じて、盗難警報装置を OFF にします。◁



- バッテリーマイナス配線 **1** およびラバーバンド **2** を外します。
- バッテリーマイナス配線 **1** を接着テープを使用して絶縁します。



- ホールドプレートのポジション **1** を外側へ引いてから、上方へ取り外します。
- バッテリーを少し持ち上げて、プラスターミナルに手が届くよ

202 メンテナンス

うになるところまで、ホルダーから外します。



- バッテリープラス配線 **1** を外し、バッテリーを引き出します。

バッテリーを取り付ける

 12 V バッテリーの取り付け方が不適切であるか、(ジャンプスタートなどで) ターミナルが取り違えられていると、オルタネーターレギュレーターのヒューズが熔断する可能性があります。



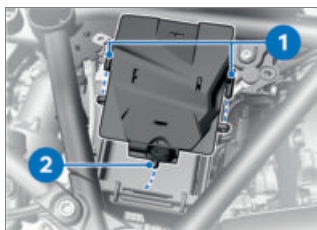
- バッテリープラス配線 **1** を取り付けます。

 ワイヤハーネスとバッテリー

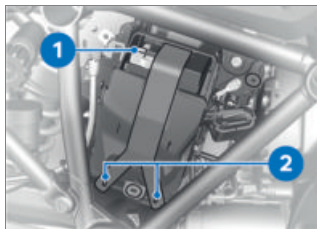
M6 x 11

8 Nm

- バッテリーを止め具にスライドして入れます。



- 最初にホルダープレートホルダー **1** に組み込み、次にポジション **2** をバッテリー下に押し込みます。



- バッテリーマイナス配線 **1** から接着テープをはがし取ります。
- バッテリーマイナス配線 **1** を取り付けます。

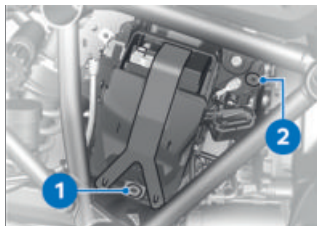


ワイヤハーネスとバッテリー

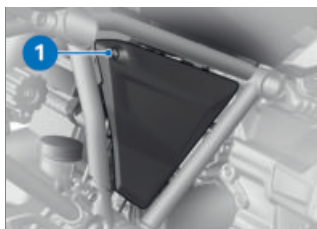
M6 x 11

8 Nm

- バッテリーをラバーバンド 2 で固定します。



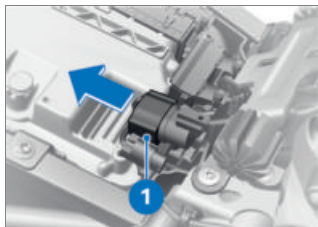
- バッテリーカバーをホルダー 1 に組み込み、ホルダー 2 に押し入れます。



- ボルト 1 を取り付けます。
- 時計を調整します。(▶▶▶ 99)
- 日付を調整する。(▶▶▶ 98)

ヒューズ

ヒューズを交換する



- イグニッションを OFF にします。
- フロントシートを取り外します。(▶▶▶ 124)
- コネクター 1 を取り外します。



重要事項

故障しているヒューズのバイパス

ショートや火災の危険

- 故障しているヒューズは交換してください。
- 故障ヒューズは新品のヒューズと交換してください。
- 故障しているヒューズをフューズ一覧に従って交換します。



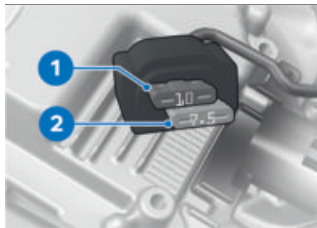
ヒューズが頻繁に故障する場合には、電装システムの点検を専門の整備工場またはBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。

- コネクター 1 を取り付けます。

204 メインテナンス

- フロントシートを取り付けます。(111→ 126)

ヒューズ割当て



- 1 10 A
メーターパネル
盗難警報装置(DWA)
イグニッションスイッチ
OBD ソケット
遮断リレーコイル
- 2 7.5 A
左コンビネーションスイッチ
タイヤ空気圧コントロール (RDC)
センサーボックス
シートヒーター

オルタネーターレギュレーター用ヒューズ



- 1 50 A
オルタネーターレギュレーター

 BMW Motorrad ディーラー (最適) または専門の整備工場に、ヒューズの交換を依頼してください。

診断コネクタ

診断コネクタを外す



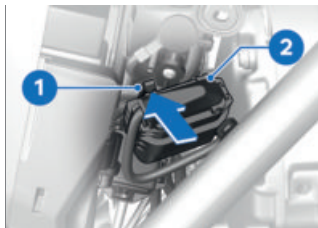
注意

オンボード診断用診断コネクタを外す際の手順の誤り

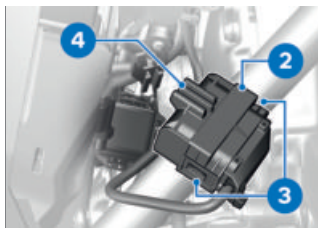
モーターサイクルの機能障害

- 診断コネクタの取り外しは、必ず、専門の整備工場またはその他の認定されているメカニックに依頼し、BMW Motorrad サービス中に行ってもらうようにしてください。
- 適切なトレーニングを受けたメカニックに作業の実行を依頼します。
- モーターサイクルメーカーの規定を確認し、遵守してください。

- バッテリーカバーを取り外します。(▶ 201)



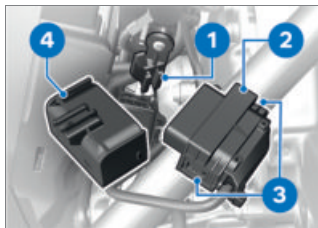
- フック 1 を押し、診断コネクタ 2 を上方へ引き出します。



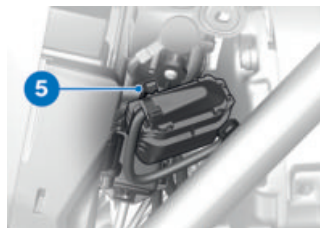
- ロック 3 の両側を押します。
- 診断コネクタ 2 をホルダー 4 から外します。
- » 診断システム／情報システム用インターフェースを診断コネクタ 2 に差し込むことができます。

診断コネクタを取り付ける

- 診断システム／情報システム用インターフェースを取り外します。



- 診断コネクタ 2 をホルダー 4 に差し込みます。
- » 両側でロック 3 がかみ合います。
- ホルダー 4 をサポート 1 に差し込みます。



- [illegible]

アクセサリー

10

一般的な情報	210
電源ソケット	210
USB 充電ポート	211
ケース	211
トップケース	214
ナビゲーションシステム	215

一般的な情報



注意

他社製品の使用

安全に関わる危険

- BMW Motorrad では、すべての他社製品について、BMW 車両において安全性の問題なく使用できるかどうか判定することはできません。国別仕様により公的な許可が与えられている場合にも、これは認められていません。それらのようなテスト／点検では、常にBMW 車両におけるすべての使用条件を考慮に入れるということはできず、そのため部分的に十分でないところがあります。
- 必ず、BMW が BMW 車両用に承認している部品およびアクセサリ製品のみご利用ください。

これらの部品およびアクセサリは、BMW により、その安全性、機能、適性に関する試験が行われたものです。そのため、BMW が製造責任を保証いたします。承認されていない部品やアクセサリにつきましては、いかなる種類であれ、BMW は一切の責任を負いません。

変更を加える場合にはすべてにおいて、必ず法規制に従ってください。

さい。各国の道路交通法を遵守してください。

BMW Motorrad ディーラーは、皆様がBMW 純正部品、アクセサリ、その他の製品を選択されるにあたり、専門的なアドバイスをいたします。

アクセサリに関する詳しい情報については、以下をご覧ください：

bmw-motorrad.com/equipment

電源ソケット

電装系機器の接続

－電源ソケットに接続されている機器は、イグニッション ON の状態でのみ、作動させることができます。

ケーブルの取り回し

- －電源ソケットから追加装備機器までのケーブルは、ライダーの邪魔にならないように取り回してください。
- －ケーブルの取回しによって、ステアリングアングルや走行特性が制限されてはなりません。
- －ケーブルが挟み込まれないようにします。

自動停止

- －電源ソケットは、始動動作中に自動的に OFF になります。
- －車両電装システムの負荷解除のため、充電ソケットはイグニッションを OFF にしてから 60 秒

後に OFF になります。電流消費の少ない補助機器は車両エレクトロニクスによって検知されない可能性があります。その場合、イグニッションを OFF にした後、少し経ってから電源ソケットが OFF になります。

- バッテリー電圧が低すぎる場合、電源ソケットが OFF になり、車両のスタート特性を保持します。
- テクニカルデータに示されている最大荷重容量を超過している場合、電源ソケットは OFF になります。

USB 充電ポート

ご利用のための注意事項：

チャージ電流

最大 2.4 A の充電電流を使用可能な 5 V USB 充電ポートを使用します。

自動停止

以下の状況では、USB 充電ポートは自動的に OFF になります。

- バッテリー電圧が低すぎて、車両の始動性能を維持できない場合。
- 仕様(諸元)で規定されている最大負荷を超過している場合。
- 始動動作中。

電装系機器の接続

USB 充電ポートに接続されている機器は、イグニッション ON の状態でのみ、作動させることができます。車両電装システムの負荷解除のため、これらは、イグニッションを OFF にしてから 60 秒以内に OFF になります。

接続されている機器の保護のため、雨天走行時にはこの機器を外してください。

接続されている機器がない場合には、カバーを閉じ、汚れを防ぎます。

ケーブルの取り回し

USB 充電ポートから追加装備機器にケーブルを取り回す際には、以下の点に注意してください：

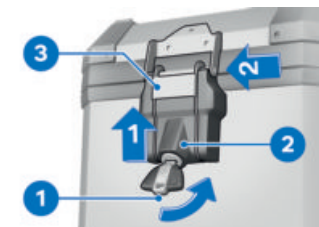
- ケーブルがライダーの妨げになってはなりません。
- ケーブルがハンドルバーの動きやハンドリング性能を制限してはなりません。
- ケーブルが挟み込まれたりしてはなりません。

ケース

- アルミニウムケース^{0A} 装備

212 アクセサリー

ケースを開く

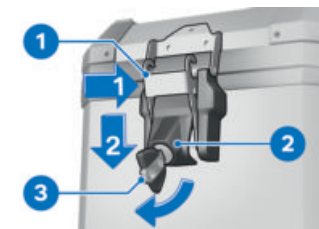


- キー 1 を反時計回りに回します。

 ケースリッドは左右どちらのロックからでも開くことができます。

- キーケース 2 を上方に押し、つめ 3 をロック解除します。
- ロック爪 3 を横方向へ引き、リッドを開きます。

ケースを閉じる



- ケースリッドを閉じます。
- つめ 1 をカバーにセットします。
- キーケース 2 を下方に押し、その際フックとカバーがかみ合っているか確認します。

- ロックをかけるため、キー 3 を時計回りに回し、抜き取ります。

ケースリッドを取り外す

- ケースを開きます。(▶▶▶ 212)



- カバー固定ひも 1 を外します。
- ケースリッドを閉じます。
- ケースリッドの 2 つ目のラッチを開きます。
- ケースリッドを取り外します。

ケースリッドを取り付ける

- ケースリッドをケースの上に置きます。
- ケースリッドのラッチ(1 個)を閉じます。
- ケースリッドを、閉じられている側の方へ開きます。



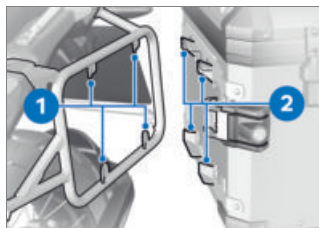
- カバー固定ひも 1 を掛けます。
- ケースリッドを閉じます。
- ケースリッドの 2 つ目のラッチを閉じます。

ケースを取り外す

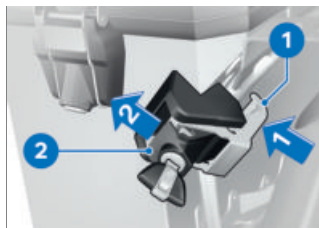


- キー 1 を反時計回りに回します。
- キーケース 2 を横に押し、つめ 3 をロック解除します。
- つめ 3 を横に引きます。その際ケースを固定します。
- ケースをストップ位置まで前方へ引き、横方向へ取り外します。

ケースを取り付ける



- ケースをケースホルダーに置き、ホルダーがケースホルダー 1 およびケース 2 とかみ合うまで後方へ移動させます。



- つめ 1 をケースホルダーにセットします。その際ケースを固定します。
- キーケース 2 を横に押し、その際フックとホルダーがかみ合っているか確認します。
- キーを時計回りに回し、抜き取ります。

214 アクセサリー

最大積載荷重および最高速度

最大積載荷重および最高速度を確認し、遵守します。

ここに記載されている組み合わせについては、次の値が適用されます：



アルミニウムケースを装着して走行する場合の最高速度

max 180 km/h



アルミニウムケースごとの積載荷重

max 10 kg

トップケース

—アルミニウムトップケース^{OA} 装備

トップケースを開く



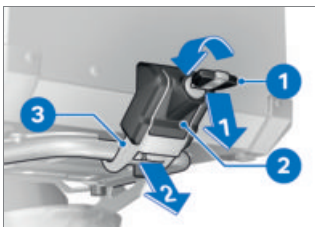
- キー 1 を反時計回りに回します。
- キーケース 2 を上方に押し、つめ 3 をロック解除します。
- ロック爪 3 を後方へ引き、リッドを開きます。

トップケースを閉じる



- トップケースリッドを閉じます。
- つめ 1 をカバーにセットします。
- キーケース 2 を下方に押し、その際フックとカバーがかみ合っているか確認します。
- ロックをかけるため、キー 3 を時計回りに回し、抜き取ります。

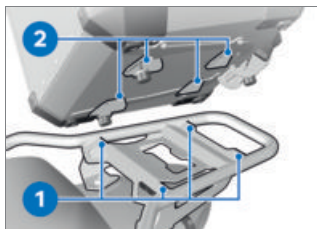
トップケースを取り外す



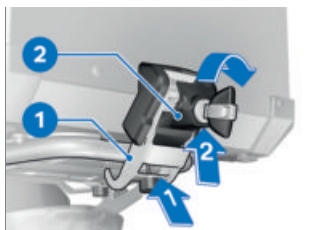
- キー 1 を反時計回りに回します。
- キーケース 2 を下方に押し、つめ 3 をロック解除します。
- つめ 3 を後方へ引きます。

- トップケースを後方へ引いてから、上方向へ取り外します。

トップケースを取り付ける



- トップケースをトップケースホルダーに置き、ホルダーがトップケースホルダー 1 およびトップケース 2 とかみ合うまで前方へ移動させます。



- ロック爪 1 をトップケースキャリアに組み込みます。
- キーケース 2 を上方に押し、その際フックとキャリアがかみ合っているか確認します。
- ロックをかけるため、キーを時計回りに回し、抜き取ります。

最大積載荷重および最高速度

最大積載荷重および最高速度を確認し、遵守します。

ここに記載されている組み合わせについては、次の値が適用されます：

 アルミニウムトップケースを装着して走行する場合の最高速度

max 180 km/h

 アルミニウムトップケースの積載荷重

max 5 kg

ナビゲーションシステム

—NAV 取付けキット^{OE} 装備

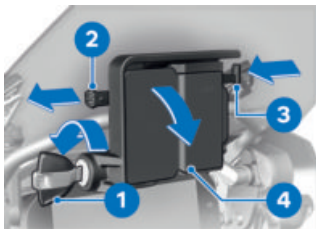
ナビゲーションユニットをしっかりと取り付ける

 BMW Motorrad Navigator IV 以降で、ナビゲーション準備部品に適合しています。

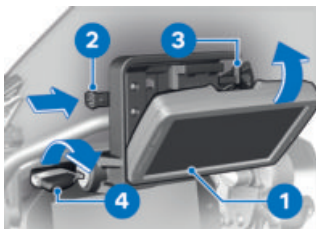
 Mount Cradle のロックシステムに盗難からの保護機能はありません。

走行後には毎回、ナビゲーションシステムを取り外し、安全なところに保管してください。

216 アクセサリー



- 車両キー 1 を反時計回りに回します。
- シャットオフロック 2 を左へ引きます。
- ロック 3 を押し込みます。
 - » Mount Cradle はロック解除されており、カバー 4 を前方へ回転させて取り外すことができます。



- ナビゲーション装置 1 を下側のエリアに組み込み、回転させて後方へ動かします。
 - » ナビゲーションユニットが音を立ててかみ合います。
- シャットオフ ロック 2 を完全に右へスライドさせます。
 - » ロック 3 が掛かります。

- 車両キー 4 を時計回りに回します。
 - » ナビゲーションユニットはロックされており、車両キーを抜き取ることができます。

ナビゲーションユニットを取り外し、カバーを取り付ける

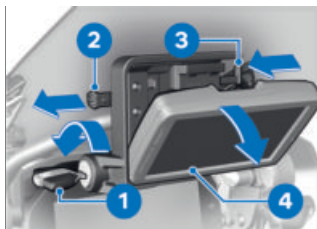


重要事項

Mount Cradle の接触部の塵埃や汚れ

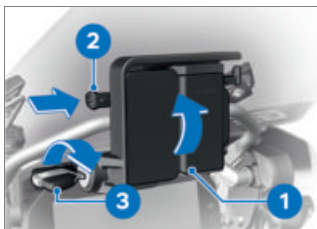
接触部の損傷

- 走行後には毎回、カバーを再度取り付けてください。



- 車両キー 1 を反時計回りに回します。
- シャットオフ ロック 2 を完全に左へ引きます。
 - » ロック 3 が解除されます。
- ロック 3 を完全に左へスライドさせます。
 - » ナビゲーション装置 4 がロック解除されます。

- ナビゲーション装置 4 を傾けながら下方向へ取り外します。



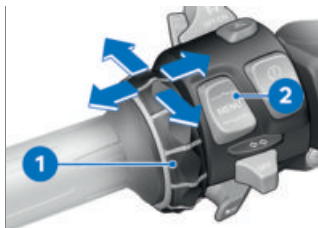
- カバー 1 を下部領域に組み付け、回転させて上方へ回します。
- » カバーが音をたててはまりません。
- シャットオフ ロック 2 を右へスライドさせます。
- 車両キー 3 を時計回りに回します。
- » カバー 1 が固定されます。

ナビゲーションシステムを操作する

 以下の説明はBMW Motorrad Navigator V およびBMW Motorrad Navigator VI に関するものです。BMW Motorrad Navigator IV は記載されているすべての機能を有するものではありません。

 BMW Motorrad コミュニケーションシステムの最新バージョンのみがサポートされます。場合により、BMW Motorrad コミュニケーションシステム用のソフトウェア更新が必要です。その場合には、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

BMW Motorrad Navigator が取り付けられており、操作対象がNavigator に切り替えられている場合は (▶ 95)、その機能の一部をハンドルバーから直接操作することができます。



ナビゲーションシステムの操作は、マルチコントローラー 1 およびロッカースイッチMENU 2 を介して行われます。

マルチコントローラー 1 を上下方向に回す

コンパスページおよびMediaplayer ページ：
Bluetooth を介して接続されているBMW Motorrad コミュニケー

218 アクセサリー

ションシステムの音量を調整します。

BMW スペシャルメニュー：メニュー項目を選択します。

マルチコントローラー 1 を左右に素早く傾ける

Navigator のメインページ間で切替を行います：

- 地図表示部
- コンパス
- Mediaplayer
- BMW スペシャルメニュー
- My Motorcycle ページ

マルチコントローラー 1 を左右にしばらくの間傾ける

Navigator ディスプレイで特定の機能を ON にします。この機能は、該当するタッチパッドの上側に左矢印または右矢印で示されています。



この機能は右方向へ長押しすることにより起動します。



この機能は左方向へ長押しすることにより起動します。

ロッカースイッチMENU 2 下側を押します。

操作対象をPure Ride 画面に切り替えます。

それぞれ以下の機能が操作できます：

地図表示部

- 上方向へ回す：地図表示を拡大する(Zoom in)。
- 下方向へ回す：地図表示を縮小する(Zoom out)。

コンパスのページ

- 回すことにより、Bluetooth 経由で接続されている BMW Motorrad コミュニケーションシステムの音量が上がります／下がります。

BMW スペシャルメニュー

- トーク(音声)：前回の音声ルート案内を繰り返す。
- ウェイポイント：現在位置をお気に入りとして保存します。
- ホーム：自宅住所へのナビゲーションを開始します(自宅住所が設定されていない場合にはグレース表示になっています)。
- ミュート：自動ナビゲーションアナウンス OFF または ON (OFF：ディスプレイ内の最上段に線で消されたリップマークが表示されます)。ナビゲーションアナウンスはその後「アナウンスする」を介してアナウンス可能になります。他のすべての音声出力は ON のままです。
- 表示を OFF にする：ディスプレイを OFF にします。

- 自宅に電話する：ナビゲーターに登録されている自宅電話番号に電話します(コミュニケーションシステムおよび電話が接続されている場合にのみ表示)。
- 迂回：迂回機能を ON にします(アクティブなルートがあるときにのみ表示)。
- スキップ：次のウェイポイントをスキップします(そのルートにウェイポイントがある場合にのみ表示)。

My Motorcycle

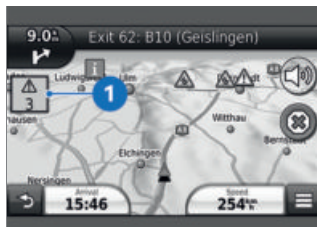
- 回す：表示されているデータ数を変更します。
- ディスプレイ上のデータ欄を軽く叩く(タップする) ことにより、データの選択用メニューが開きます。
- 選択用に表示されている値は、取り付けられているオプション装備品により異なります。

Mediaplayer

- 左方向へ長押しする：前のトラックを再生します。
- 右方向へ長押しする：次のトラックを再生します。
- 回すことにより、Bluetooth 経由で接続されている BMW Motorrad コミュニケーションシステムの音量が上がります／下がります。

 Mediaplayer の機能は、A2DP 標準に従った Bluetooth デバイス(例：BMW Motorrad 通信システム)を使用した場合のみ、利用できます。

インジケーターおよび警告メッセージ



モーターサイクルのインジケーターおよび警告メッセージは、マップ表示の左上の該当するアイコン **1** で表示されます。

 BMW Motorrad コミュニケーションシステムが接続されている場合、警告 1 件につきさらに注意音が 1 つ鳴ります。

複数のアクティブな警告メッセージがある場合には、メッセージ数が三角形の警告マークの下側に表示されます。

三角形の警告マークをクリックすると、2 個以上のメッセージがある場合に、すべての警告メッセージを掲載したリストが開きます。

220 アクセサリー

メッセージを1個選択すると、さらに詳しい情報が表示されます。

 すべての警告について詳細な情報を表示することはできません。

特別機能

BMW Motorrad Navigator の統合により、Navigator 取扱説明書の記載に異なるところが出てきています。

燃料残量警告

フューエルレベル表示の設定は使用できません。残量警告は車両からNavigatorに伝送されるからです。メッセージが有効な場合、メッセージを押すと最寄りのガソリンスタンドが表示されます。

セキュリティ設定

BMW Motorrad Navigator V およびBMW Motorrad Navigator VIでは、4桁のPINにより、第三者による操作から保護することができます(Garmin Lock)。この機能がアクティブになると、ナビゲーターが車両に取り付けられていてイグニッションがONの間に、ライダーに対して、この車両を保護されている車両のリストに追加するかどうか確認がなされます。この問いに対して「はい」で確定すると、Navigatorがこの

車両の車両識別番号を保存します。

車両識別番号は5つまで登録することができます。

これらの車両の1台でイグニッションをONにすることによりNavigatorがONになる場合には、PIN入力は必要なくなります。

NavigatorがONの状態から取り外されると、セキュリティ上の理由からPINの照会が開始されます。

画面の明るさ

取り付けられている状態で、画面の輝度がモーターサイクルにより設定されます。手動入力はありません。

自動設定を希望しない場合は、Navigatorのディスプレイ設定でOFFにすることができます。

お手入れ

11

ケア用品	224
洗車	224
損傷しやすい車両部品のお手入れ	225
ペイントのお手入れ	226
保護コーティング	227
長期保管	227
モーターサイクルの再使用	228

ケア用品

BMW Motorrad は、ご使用になる洗剤やケア用品をBMW Motorrad ディーラーでお求めになることをお勧めします。BMW Care Products (BMW ケア製品) は、原料の点検確認および研究機関における製品のテストや試用品点検が行われており、あなたの車両に使用されているマテリアルのお手入れと保護を最適に行います。



重要事項

不適切な洗剤およびケア用品の使用

車両部品の損傷

- ・ニトロ希釈液、コールドクリーナー、ガソリン、アルコールを含んだクリーナーなどを使用しないでください。



重要事項

強度の酸性またはアルカリ性の洗剤の使用について

車両部品の損傷

- ・洗剤の包装に記載されている希釈濃度を確認し、遵守してください。
- ・決して強度の酸性またはアルカリ性の洗剤を使用しないでください。

洗車

BMW Motorrad は、ペイントに付着している昆虫や硬化した汚れなどを、洗車の前にBMW 専用クリーナーで柔らかくして洗い流しておくことをお勧めします。

しみができるのを避けるため、強い直射日光にさらされた直後や日向での洗車は行わないでください。

フォークストラットは定期的に清掃し、汚れを取り除いてください。

特に冬季の間は、洗車をより頻繁に行ってください。

路面に散布された塩を除去するため、走行後は、直ちに車両および必要に応じて取付部品を冷水で洗い流してください。



雨天走行後や湿度が高い場合、あるいは洗車後には、ヘッドライトの内側に結露が生じることがあります。そのような場合、ヘッドライトが一時的に曇ることがあります。ヘッドライト内に湿気や水分が長期にわたって溜まっているような場合には、BMW Motorrad ディーラー (最適) または専門の整備工場にお問い合わせください。

警告

車両を水洗いしたり、水たまりの中を通過したり、雨の日に走行した後の、水分の付着したブレーキディスクおよびブレーキパッド

ブレーキの効きの低下、事故を起こす危険

- ブレーキディスクおよびブレーキパッドが乾いた状態でブレーキがかけられるようになるまでは、早めにブレーキングしてください。

重要事項

温水による塩の作用の増大
腐食

- 散布された塩を除去するには、必ず冷水を使用してください。

重要事項

高圧クリーナーやスチームジェット機器の高い水圧による損傷

ラベル、シーリング、油圧式ブレーキシステム、電装系およびシートの腐食、ショートまたは損傷

- 高圧ジェットやスチームクリーナーは慎重に使用してください。

損傷しやすい車両部品のお手入れ

プラスチック

重要事項

不適切な洗剤の使用

プラスチック表面の損傷

- アルコールや溶剤、研磨剤を含んだクリーナーは使用しないでください。
- 虫取りスポンジや表面の硬いスポンジは使用しないでください。

プラスチック部品は水およびBMW プラスチックケア剤を使用して清掃してください。該当部品：

226 お手入れ

- ウインドシールドおよびウインドディフレクター
- プラスチック製ヘッドライトレンズ
- メーターパネルのカバーガラス
- ブラック、非塗装部品

 硬化した汚れや昆虫などの付着は、湿らせた布などをかぶせて柔らかくしてください。

TFT ディスプレイ

TFT ディスプレイを湯と洗剤を使用して清掃します。続いて、ペーパータオルなどの清潔なウェスで拭き取って乾かします。

クローム

クローム部品を十分な水とBMW Motorrad ケア製品シリーズのモーターサイクルクリーナーで丁寧に清掃します。これは特に融雪塩の影響を受けている場合に該当します。

さらに処置を施す場合には、BMW Motorrad メタルポリッシュを使用してください。

ラジエター

ラジエターは、定期的に清掃してください。冷却が不十分のために起こるエンジンのオーバーヒートを避けるためです。

例えば、水圧をわずかにして、ホースを使用してください。

重要事項

ラジエタープレートを折り曲げる

ラジエタープレートの損傷

- ・清掃の際に、ラジエタープレートを折り曲げないように注意してください。

ラバー

ラバー部品の清掃には、水またはBMW ラバークリーナーを使用してください。

重要事項

ラバーシールのお手入れにシリコンスプレーを使用

ラバーシールの損傷

- ・シリコンスプレーやシリコンを含んだケア製品を使用しないでください。

ペイントのお手入れ

定期的に洗車を行うことにより、塗装部分に長期間にわたって影響を与え、ペイントを損傷する原因となる物質を除去することができます。特に、大気汚染が激しい地域や、樹脂や花粉などが付着するような地域を走行した場合などに効果的です。

特に侵食性の高い物質は、直ちに除去してください。ペイントの損傷や変色を引き起こすお

それがあります。侵食性の高い物質には、こぼれたフューエルやオイル、グリース、ブレーキ液、鳥のふんなどがあります。これには、BMW Motorrad クリーナーと、続けて防錆処理のためにBMW Motorrad 光沢ポリッシュの使用をお勧めします。

ペイントの表面仕上げに付着している汚れは、洗車後に特に見えやすくなります。このような汚れは、クリーニング用ベンジンまたはアルコールを清潔な布や綿球などに含ませて、直ちに除去してください。BMW Motorrad は、タール系の汚れには、BMW タールリムーバーの使用をお勧めします。その後、その箇所のペイントを保護コーティングなどで保護します。



重要事項

メタルポリッシュによる塗装の損傷

損傷のおそれがあります

- 塗装およびクローム塗装にはメタルポリッシュを使用しないでください。

保護コーティング

ペイントから水が垂れなくなったら、防錆処理する必要があります。

BMW Motorrad は、ペイント保護コーティングのため、BMW Motorrad 光沢ポリッシュおよびカルナバワックス、合成ワックスを含むコーティング剤を使用することをお勧めします。



クロームめっきはクロームポリッシュで防錆処理をしてはなりません。

BMW Motorrad が推奨するもののみを使用してください。

長期保管

- 洗車します。
- モーターサイクルを満タンにします。



ガソリン添加剤はフューエルインジェクションシステムおよび燃焼エリアを洗浄する効果があります。低品質の燃料を給油した場合、または、長期間使用しなかった場合には、ガソリン添加剤を使用する必要があります。詳しい情報につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

- バッテリーを取り外す (➡ 201)。

228 お手入れ

- ブレーキレバー、クラッチレバー、メイン(センター) スタンド／サイドスタンドのピボット部に、適切な潤滑剤を塗布します。
- むきだしの部品やクローム加工部品に非酸性のグリース(ワセリン) を塗布して保護します。
- モーターサイクルを、両ホイールに負荷がかからない状態にして、乾燥した場所に保管します(できればBMW Motorrad が提供しているフロントホイールスタンドおよびリヤホイールスタンドを使用)。

モーターサイクルの再使用

- 表面に塗布されている保護用コーティングを取り除きます。
- 洗車します。
- バッテリーを取り付けます。
(▶▶▶ 202)
- チェックリストを確認し、遵守します (▶▶▶ 135)。

テクニカルデータ

12

トラブルシューティング	232
ねじ止め部	235
燃料	238
エンジンオイル	238
エンジン	239
クラッチ	239
ギヤボックス	240
リヤホイールドライブ	240
フレーム	240
サスペンション	241
ブレーキ	242
ホイールとタイヤ	243
電装系	244
盗難警報装置	246
寸法	246
重量	248
性能	248

232 テクニカルデータ

トラブルシューティング

エンジンが始動しない。

原因	修理
イグニッションキルスイッチが操作されている	イグニッションキルスイッチを通常の操作ポジションにします。
サイドスタンドが出ていて、ギヤが入っている	サイドスタンドを格納します。
ギヤが入っていて、クラッチを切っていない	ギヤをニュートラルに入れるか、クラッチを切ります。
燃料が入っていない	給油手順。(146)
バッテリーが空になっている	接続しているバッテリーを充電します。(200)
スターターに対する過熱保護が作動した。スターターを稼働させる時間は制限されています。	スターターが使用できるようになるまで約1分間冷却します。

Bluetooth 接続が確立されません。

原因	修理
ペアリングに必要なステップが踏まれませんでした。	コミュニケーションシステムの Operating instructions で、ペアリングに必要なステップに関する情報を入手してください。
ペアリングを行ってもコミュニケーションシステムが自動的に接続されません。	ヘルメットのコミュニケーションシステムを OFF にして、1～2 分後に再度接続してください。
ヘルメットに保存されている Bluetooth 機器の数が多すぎます。	ヘルメットのすべてのペアリング登録を削除してください (コミュニケーションシステムの Operating instructions を参照)。
Bluetooth 対応機器を装備した他の車両が付近にあります。	複数の車両との同時ペアリングは避けてください。

Bluetooth 接続が阻害されています。

原因	修理
携帯端末機器との Bluetooth 接続が遮断されます。	省電力モードを OFF にしてください。
ヘルメットとの Bluetooth 接続が遮断されます。	ヘルメットのコミュニケーションシステムを OFF にして、1～2 分後に再度接続してください。
ヘルメットの音量を調整することができません。	ヘルメットのコミュニケーションシステムを OFF にして、1～2 分後に再度接続してください。

234 テクニカルデータ

電話帳が TFT ディスプレイに表示されません。

原因

修理

電話帳が車両にまだ転送されていません。

携帯端末機器でのペアリングの際に、電話データの転送 (110) を確認してください。

アクティブ目的地ガイドが TFT ディスプレイに表示されません。

原因

修理

BMW Motorrad Connected App のナビゲーションが転送されませんでした。

接続されている携帯端末機器で、走行開始前に BMW Motorrad Connected App を呼び出してください。

目的地ガイドをスタートさせることができません。

携帯端末機器のデータ接続を確認して、携帯端末機器のマップデータを点検してください。

ねじ止め部

フロントホイール	数値	有効
テレスコピックフォーク内のアクスルシャフト		
M12 x 20	30 Nm	
ロアーフォークブリッジとアウターチューブ		
M8 x 35	締付け順序: 切換え中にボルトを 6 回締め付ける	
	19 Nm	
テレスコピックフォークのブレーキキャリパー		
M10 x 65	38 Nm	
ホイール回転数センサーとフォーク		
M6 x 16 マイクロカプセル加工済またはボルト固定剤(中強度) 使用	8 Nm	

リヤホイール	数値	有効
リヤホイールとホイールフランジ		
M10 x 1.25 x 40	締付け順序: 対角の順に締め付ける	
	60 Nm	

236 テクニカルデータ

ミラー	数値	有効
ミラー(ロックナット) とアダプター		
M10 x 1.25	左ねじ、22 Nm	
アダプターとクランプ 台		
M10 x 14	25 Nm	

シフトレバー	数値	有効
ステップパーツとシフ トレバー		
M6 x 20 マイクロカプセル加工 済	10 Nm	

ブレーキペダル	数値	有効
ステップパーツとブ レーキペダル		
M6 x 20 マイクロカプセル加工 済	10 Nm	

フットレスト	数値	有効
クランプ台とフットレ ストジョイント		
M8 x 25	20 Nm	
フットレストとクラン プ台		
M6 x 20 / M6 x 12	10 Nm	

ハンドルバー	数値	有効
クランプ台(ハンドル バークランプ) とフォー クブリッジ		
M8 x 35	締付け順序: 進行方向 でブロック前側にしっ かりと取り付ける	
	19 Nm	
M8 x 65	締付け順序: 進行方向 でブロック前側にしっ かりと取り付ける	-ハンドルバー ライザー ^{OE} 装 備
	19 Nm	

238 テクニカルデータ

燃料

推奨フューエルグレード	無鉛プレミアムガソリン(ハイオク) (エタノール 15 %以下、E15) 95 ROZ/RON 90 AKI
燃料品質の選択肢	無鉛レギュラー(出力ロスあり) (最大 15%エタノール、E15) 91 ROZ/RON 87 AKI
フューエル容量	約 30 l
フューエルリザーブ容量	約 4 l
燃費	4.8 l/100 km、WMTC 後
CO2 排出	110 g/km、WMTC による
排ガス基準	EU5

エンジンオイル

エンジンオイル容量	max 4 l、フィルター交換時
規格	SAE 5W-40、API SL / JASO MA2、 添加剤(例えばモリブデンベースのもの)は許可されていません。 コーティングされているエンジン部品が損傷するためです、 BMW Motorrad では、BMW Motorrad ADVANTEC Ultimate オイルを推奨しています。
エンジンオイル補充量	max 0.8 l、MIN とMAX間の偏差

エンジン

エンジン番号位置	クランクハウジング下部右側、スターター下部
エンジン型式	A74B12M
エンジン型式	空冷式 / 液冷式 2 気筒 4 ストロークボクサーエンジン：平歯車駆動ダブルオーバーヘッドカムシャフト、バランスシャフト、可変インテークカムシャフトコントロールBMW ShiftCam 付き
排気量	1254 cm ³
シリンダーボア	102.5 mm
ピストンストローク	76 mm
圧縮比	12.5:1
最高出力	100 kW、エンジン回転数：7750 min ⁻¹
最大トルク	143 Nm、エンジン回転数：6250 min ⁻¹
最高回転数	max 9000 min ⁻¹
アイドル回転数	1050 min ⁻¹ 、エンジン作動温度時

クラッチ

クラッチの仕様	マルチプレート湿式クラッチ、アンチホッピング
---------	------------------------

240 テクニカルデータ

ギヤボックス

ギヤボックスの仕様	常時噛み合い式ヘリカルギア 6速トランスミッション
ギヤ比	1.000 (60:60 丁)、一次減速比 1.650 (33:20 丁)、ギヤボックス インプットギヤ比 2.438 (39:16 丁)、1速 1.714 (36:21 丁)、2速 1.296 (35:27 丁)、3速 1.059 (36:34 丁)、4速 0.943 (33:35 丁)、5速 0.848 (28:33 丁)、6速 1.061 (35:33 丁)、トランスミッ ションアウトプットギヤ比

リヤホイールドライブ

駆動方式	ベベルギヤ付きシャフトドライ ブ
リヤホイールドライブのギヤレ シオ	2.91 (32/11 ノッチ)
ファイナルドライブオイル	SAE 70W-80、5 °C 超および 5 °C 未 満

フレーム

フレーム型式	スチールチューブフレームとド ライブユニット、スチールパイ プリアフレーム
型式プレートの位置	左フロントフレームとステアリ ングヘッド
車両識別番号の位置	ステアリングヘッド下の右フロ ントフレーム

サスペンション

フロントホイール

フロントサスペンション型式	BMW テレレバー、アッパーフォークブリッジはアンチダイブ機能付き、トレーリングアームをエンジンおよびテレスコピックフォークに設置、センタースプリングストラットをトレーリングアームおよびフロントフレームで支持
フロントホイールサスペンションの構造	コイルスプリング付きセントラルスプリングストラット
-Dynamic ESA ^{OE} 装備	コイルスプリングおよびリザーバー付きセントラルスプリングストラット、電気調整式ブルおよびプレッシャステージショックアブソーバー
スプリングトラベル(フロント)	210 mm、ホイールで
-ローダウン ^{OE} 装備	158 mm、ホイールで

242 テクニカルデータ

リヤホイール	
リヤサスペンション型式	鋳造アルミニウム製片持ち式 スイングアームとBMW Motorrad Paralever
リヤサスペンション構造	コイルスプリング付きセントラル スプリングストラット、調整 式リバウンドダンピングおよび スプリングプリロード
-Dynamic ESA ^{OE} 装備	コイルスプリングおよびリザー バー付きセントラルスプリン グストラット、電気調整式プ ルおよびプレッシャステージ ショックアブソーバー、電気調 整式スプリングプリロード
スプリングトラベル(リヤホイール)	220 mm、ホイールで
-ローダウン ^{OE} 装備	170 mm、ホイールで

ブレーキ

フロントホイール	
フロントブレーキ型式	4 ピストンラジアルブレーキ キャリアパーを搭載した油圧式ダ ブルディスクブレーキ。ブレー キディスクはフローティングマ ウント式
フロントブレーキパッドの材質	焼結合金
フロントブレーキディスク厚	4.5 mm、新品時の状態 min 4.0 mm、摩耗限度
ブレーキ操作の遊び (フロント ブレーキ)	1.6...2.1 mm、ピストンにて

リヤホイール

リヤブレーキ型式	2 ピストンフローティングキャリパーを装備した油圧式ディスクブレーキ。ブレーキディスクはリジッドマウント
リヤブレーキパッドの材質	焼結合金
リヤブレーキディスク厚	5.0 mm、新品時の状態 min 4.5 mm、摩耗限度
ブレーキペダルのブローバイクリアランス	1...1.5 mm、フレームとブレーキペダルの間

ホイールとタイヤ

推奨されるタイヤの組み合わせ	最新の承認タイヤ一覧については、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。
タイヤ速度カテゴリー(フロント／リヤ)	V、最低限度: 240 km/h

フロントホイール

フロントホイールの仕様	クロススポークホイール
フロントホイールリムサイズ	3.0"x19"
タイヤサイズ(フロント)	120/70 - R19
タイヤ荷重指数(フロント)	min 60
許容軸荷重(フロント)	max 190 kg
フロントホイールのアンバランスの許容値	max 5 g

244 テクニカルデータ

リヤホイール

リヤホイールの仕様	クロススポークホイール
リヤホイールリムサイズ	4.50"x17"
タイヤサイズ(リヤ)	170/60 - R17
タイヤ荷重指数(リヤ)	min 72
許容軸荷重(リヤ)	max 320 kg
リヤホイールのアンバランスの許容値	max 5 g

タイヤ充填圧

タイヤ空気圧(フロント)	2.5 bar、タイヤ冷間時
タイヤ空気圧(リヤ)	2.9 bar、タイヤ冷間時

電装系

電源ソケットの定格電気負荷	max 5 A、すべての電源ソケット(合計)
クランプ 1	10 A、メーターパネル、盗難警報装置 (DWA)、イグニッションスイッチ、OBD ソケット、遮断リレーコイル
クランプ 2	7.5 A、左コンビネーションスイッチ、タイヤ空気圧モニター (RDC)、センサーボックス、シートヒーター
ヒューズホルダー	50 A、ヒューズ 1: 電圧レギュレーター

バッテリー

バッテリー型式	AGM バッテリー(Absorbent Glass Mat : グラスマット吸収式)、メンテナンスフリー
-M Lightweight 車両バッテリー搭載 ^{OE}	リチウムイオンバッテリー
バッテリー電圧	12 V
-M Lightweight 車両バッテリー搭載 ^{OE}	12 V
バッテリー容量	14 Ah
-M Lightweight 車両バッテリー搭載 ^{OE}	10 Ah

スパークプラグ

スパークプラグのメーカーおよび名称	NGK LMAR8AI-10
-------------------	----------------

ライトバルブ

ハイビーム用バルブ	
-ヘッドライトコントロールユニット ^{OE} 非装備	LED
-ヘッドライトコントロールユニット ^{OE} 装備	H7 / 12 V / 55 W
ロービームのバルブ	
-ヘッドライトコントロールユニット ^{OE} 非装備	LED
-ヘッドライトコントロールユニット ^{OE} 装備	H7 / 12 V / 55 W
ポジションライト／パーキングライトバルブ	

246 テクニカルデータ

-ヘッドライトコントロールユニット ^{OE} 非装備	LED
-ヘッドライトコントロールユニット ^{OE} 装備	W5W / 12 V / 5 W
テールライト／ブレーキライトバルブ	LED
ウインカー用バルブ	LED

盗難警報装置

再使用時に ON になるまでの時間	約 30 s
アラーム継続時間	約 26 s
バッテリータイプ (Keyless Ride 無線キー)	CR 2032

寸法

全長	2270 mm、スプラッシュガードを含む
全高	1460...1520 mm、ウインドシールドを含む、DIN 空車時
-ラリースタイル ^{OE} 装備 -ローダウン ^{OE} 装備	1410...1470 mm、ウインドシールドを含む、DIN 空車時
-ローダウン ^{OE} 装備	1420...1480 mm、ウインドシールドを含む、DIN 空車時
-ラリースタイル ^{OE} 装備 または -エディション ^{OE} 装備	1450...1510 mm、ウインドシールドを含む、DIN 空車時
全幅	952 mm、ミラー含む 980 mm、ハンドプロテクター付き

フロントシート高さ	890...910 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
-ローダウン ^{OE} 装備 -シートヒーター ^{OE} 装備	805...825 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
-ローダウン ^{OE} 装備 -タンデムパッケージ(ロータイプ) ^{OE} 装備	820...840 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
-ローダウン ^{OE} 装備 -タンデムパッケージ(ロータイプ) ^{OE} 装備 -シートヒーター ^{OE} 装備	830...850 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
-ローダウン ^{OE} 装備	840...860 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
-ローダウン ^{OE} 装備 -ラリーシート (ロー) ^{OE} 装備	840 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
-ラリーシート (ロー) ^{OE} 装備	880 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
ライダーステップアーチレンジス	1950...1990 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
-ローダウン ^{OE} 装備 -タンデムパッケージ(ロータイプ) ^{OE} 装備	1810...1850 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
-ローダウン ^{OE} 装備 -タンデムパッケージ(ロータイプ) ^{OE} 装備 -シートヒーター ^{OE} 装備	1830...1870 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
-ローダウン ^{OE} 装備 -シートヒーター ^{OE} 装備	1840...1860 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
-ローダウン ^{OE} 装備	1850...1890 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時

248 テクニカルデータ

-ローダウン ^{0E} 装備	1880 mm、ライダー非乗車時、
-ラリースーツ (ロー) ^{0E} 装備	DIN 空車時
-ラリースーツ (ロー) ^{0E} 装備	1920 mm、ライダー非乗車時、
	DIN 空車時

重量

空車重量	268 kg、車両重量(走行可能状態、 燃料満載時の 90 %、オプション 非装備)
許容総重量	485 kg
最大積載荷重	217 kg

性能

最高速度	>200 km/h
-アルミニウムケース ^{0A} 装備	180 km/h
-アルミニウムトップケース ^{0A} 装備	180 km/h

サービス

13

リサイクル	252
BMW MOTORRAD サービス	253
BMW MOTORRAD サービス履歴	254
BMW MOTORRAD モバイルサービス	254
メンテナンス作業	254
メンテナンススケジュール	256
BMW MOTORRAD 初回点検	257
メンテナンスの確認	258
一般整備記録	270

リサイクル

二輪車を廃棄する場合は？

最寄りの「廃棄二輪車取扱店」のBMW Motorrad ディーラーにご相談ください。

廃棄二輪車取扱店とは(社) 全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、広域廃棄物処理指定業指定店として登録されている廃棄二輪車取扱店です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口であり、店頭に「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。



廃棄二輪車取扱店の証

リサイクル料金と二輪車リサイクルマーク

リサイクル料金は廃棄二輪車を適正な処理を行い、再資源化する費用です。

リサイクルマーク(3 cm × 3 cm)が車体(シートの下)に貼付されているBMW Motorrad は、リサイクル費用がメーカー希望小売価格に含まれておりますので、再資源

化に必要なリサイクル料金はいただきません。

ただし、運搬および収集費用は含まれておりませんので、お客様から廃棄二輪車取扱店、および指定引取所迄の運搬および収集費用はお客様負担となります。

尚、運搬および収集費用は、依頼する廃棄二輪車取扱店にお問い合わせください。

また、お客様の都合で二輪車リサイクルシステムを活用されない場合に於いても、リサイクル料金は返還いたしません。



シート下のフレーム等に貼付しています

二輪車リサイクルマークの取扱い

二輪車を廃棄する際は、二輪車リサイクルマークが必要となります。

リサイクルマークは車体から剥がさないでください。尚、紛失、破損による再発行、部品販売の取扱いはございません。

リサイクルマークの剥がれ等により、リサイクルマーク付車両か否か不明の場合は、(財)自動車リサイクル促進センターのホームページおよび二輪車リサイクルコールセンターでご確認ください。

廃棄二輪車に関するお問い合わせについて

廃棄二輪車に関するお問い合わせは、最寄りの「廃棄二輪車取扱店」のBMW Motorrad ディーラーまたは下記の二輪車コールセンターまでお問合せください。

(財)自動車リサイクル促進センター内

- 二輪車リサイクルコールセンター
- 電話番号：03-3598-8075
- 受付時間：9時30分～17時00分(土日祝日、年末年始等を除く)
- ホームページ：
<http://www.jarc.or.jp/>

BMW MOTORRAD サービス

BMW Motorrad は広範囲にわたるディーラーネットワークにより、世界100か国以上で、お客様およびご使用のモーターサイクルのためのサービスを提供しています。BMW Motorrad ディーラーは、ご使用のBMW モーターサイクルにおいて、あらゆるメンテナンス

および修理作業を確実に行うための技術情報および技術的ノウハウを備えています。

最寄りのBMW Motorrad ディーラーについては、こちらのインターネットサイトをご参照ください：bmw-motorrad.com



警告

不適切に行われたメンテナンスや修理作業

損傷による事故の危険

- BMW Motorrad では、モーターサイクルに関する作業はBMW Motorrad ディーラーに依頼することをお勧めします。

ご使用のBMW モーターサイクルが常に最適な状態に保たれているようにするため、BMW Motorrad は、規定のメンテナンスインターバルを順守することをお勧めします。

実施すべきメンテナンスおよび修理作業については、本書の「サービス」の章でご確認ください。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合にも、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。

254 サービス

BMW Motorrad サービスの内容につきましては、BMW Motorrad ディーラーにご確認ください。

BMW MOTORRAD サービス履歴

記入項目

実施したメンテナンス作業が整備手帳に記入されます。整備手帳の記入項目は、定期メンテナンスの証明になります。

車両の電子サービス履歴に記入が行われると、サービスに関するデータがドイツ・ミュンヘンにあるBMW AG 本部 IT システムに保存されます。

サービス履歴に記入されたデータは、車両所有者変更後、新しい所有者も見ることができます。BMW Motorrad ディーラーや専門の整備工場もサービス履歴に記載されているデータを見ることができます。

異議申し立て

車両所有者は、車両を所有する間BMW Motorrad ディーラーまたは専門の整備工場に対して、サービス履歴への記入およびそれに関わる車両データの保存および自動車メーカーへのデータ転送に関して異議を申し立てることができます。この場合、車両のサービス履歴の記入が行われなくなります。

BMW MOTORRAD モバイルサービス

BMW Motorrad の新車は、万が一のトラブル発生時にはBMW Motorrad エマージェンシーサービスによる各種のサービスを受けることができます(モバイルサービス、現場で対応可能な範囲での応急処置、車両の回送など)。

エマージェンシーサービスの詳細につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

メンテナンス作業

BMW 納車前点検(PDI)

BMW 納車前点検(PDI) は、納車前に BMW Motorrad ディーラーによって実施されます。

BMW 初回点検

500 km～ 1200 km の間に必ずBMW 初回点検を行ってください。

BMW Motorrad サービス

BMW Motorrad サービスは1年に1度実施されます。サービス項目は車両使用年数および走行した距離に応じて異なります。BMW Motorrad ディーラーがお客様にサービスの実施を確認し、次のサービス時期を登録します。

1年間にかかなりの距離を走行する車両に関しては、場合によっては登録されている時期以前に

サービスを実施する必要があります。その場合には、適合する最大限の走行距離が一般整備記録に追加で記入されます。次のサービス時期の前にこの走行距離に達した場合には、予定を早めてサービスを実施する必要があります。

マルチファンクションディスプレイのサービス表示により、登録日の約1か月前または登録距離の約1000 km前に、次のサービスの時期が近づいていることが示されます。

サービスに関する詳しい情報については、以下をご覧ください：

bmw-motorrad.com/service

車両に必要なサービス範囲は、後述のメンテナンススケジュールでご確認いただけます。

256 サービス

メンテナンススケジュール

	500 - 1200 km 300 - 750 miles	10 000 km 6 000 miles	20 000 km 12 000 miles	30 000 km 18 000 miles	40 000 km 24 000 miles	50 000 km 30 000 miles	60 000 km 36 000 miles	70 000 km 42 000 miles	80 000 km 48 000 miles	90 000 km 54 000 miles	100 000 km 60 000 miles	12 months	24 months
1	X												
2		X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X ^a	
3		X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X ^a	
4			X		X		X		X		X		X ^b
5			X		X		X		X		X		
6			X		X		X		X		X		
7			X		X		X		X		X		
8		X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X ^c	
9												X ^d	X ^d

1 BMW 初回点検(オイルおよびオイルフィルター交換を含む)

2 BMW Motorrad 標準サービス範囲

3 エンジンオイルを交換する(フィルター交換時)

4 ベベルギヤのオイル交換(リヤ)

5 バルブクリアランスを点検する

6 すべてのスパークプラグを交換する

7 エアクリーナーエレメントを交換する

8 エアクリーナーを点検または交換する(オフロード走行時)

9 システム全体のブレーキフルードを交換する

a 1 年に 1 回または 10000 km ごと(どちらか先に該当した方)

b 2 年ごと、または 20000 km ごと(どちらか先に該当した方)

c オフロード走行の場合、1 年に 1 回または 10000 km ごと(どちらか先に該当した方)

d 初回は 1 年後、その後は 2 年ごと

BMW MOTORRAD 初回点検

BMW Motorrad 初回点検

下記に BMW Motorrad 初回点検の項目をリストアップしています。
ご使用の車両に該当する実際のメンテナンス範囲とは異なることがあります。

- サービス期日および残り距離の設定
- BMW Motorrad 故障診断装置で車両テストを実施する
- エンジンオイルを交換する(フィルター交換時)
- ベベルギヤのオイルを交換する
- フロントブレーキフルードレベルを点検する
- リヤブレーキフルードレベルを点検する
- クーラントレベルを点検する
- タイヤトレッド溝の深さとタイヤ空気圧を点検する
- 照明および信号装置を点検する
- エンジン始動抑止機能の機能点検
- 最終点検および走行安全性の点検
- BMW Motorrad 故障診断装置で車両テストを実施する
- 車載書類に記載されているBMW サービスについて確認する

メンテナンスの確認

BMW Motorrad サービス標準範囲

次に、BMW Motorrad サービス標準範囲の作業が挙げられます。車両に該当するサービス範囲は、実際には異なる場合があります。

- BMW Motorrad 故障診断装置で車両テストを実施する
- 油圧式クラッチシステムの目視点検
- ブレーキライン、ブレーキホース、接続部の目視点検
- ブレーキパッドとフロントブレーキディスクの摩耗点検
- フロントブレーキフルードレベルを点検する
- リヤブレーキパッドおよびブレーキディスクの摩耗を点検する
- リヤブレーキフルードレベルを点検する
- クーラントレベルを点検する
- サイドスタンドがスムーズに動くか点検する
- メイン(センター) スタンドがスムーズに動くか点検する
- タイヤ空気圧およびトレッドの溝の深さを点検する
- スポークの張りを点検し、必要に応じて締め直す
- 照明および信号装置を点検する
- エンジン始動抑止機能の機能点検
- 最終点検および走行安全性の点検
- BMW Motorrad 故障診断装置で車両テストを実施する
- BMW Motorrad 故障診断装置を使用して、サービス時期および残余走行距離を設定する
- バッテリー充電状態を点検する
- 車載書類に記載されているBMW Motorrad サービスについて確認する

**BMW Motorrad 納車前点検
(PDI)**

実施済み

日付_____

押印、署名

BMW Motorrad 初回点検

実施済み

日付_____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付_____

または最短

距離(km) _____

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

	はい	なし
BMW Motorrad サービス	☐	☐
フィルターを使用したエンジン内のオイル交換	☐	☐
リアアングルギア内のオイル交換	☐	☐
バルブクリアランスの点検	☐	☐
全スパークプラグ交換	☐	☐
エアフィルターエレメントの点検または交換 (整備時)	☐	☐
エアフィルターエレメントの交換	☐	☐
テレスコピックフォーク内のオイル交換	☐	☐
システム全体のブレーキフルードの交換	☐	☐

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

	はい	なし
BMW Motorrad サービス	☐	☐
フィルターを使用したエンジン内のオイル交換	☐	☐
リアアングルギア内のオイル交換	☐	☐
バルブクリアランスの点検	☐	☐
全スパークプラグ交換	☐	☐
エアフィルターエレメントの点検または交換 (整備時)	☐	☐
エアフィルターエレメントの交換	☐	☐
テレスコピックフォーク内のオイル交換	☐	☐
システム全体のブレーキフルードの交換	☐	☐

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

	はい	なし
BMW Motorrad サービス	☐	☐
フィルターを使用したエンジン内のオイル交換	☐	☐
リアアングルギア内のオイル交換	☐	☐
バルブクリアランスの点検	☐	☐
全スパークプラグ交換	☐	☐
エアフィルターエレメントの点検または交換 (整備時)	☐	☐
エアフィルターエレメントの交換	☐	☐
テレスコピックフォーク内のオイル交換	☐	☐
システム全体のブレーキフルードの交換	☐	☐

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

はい なし

BMW Motorrad サービス

☐ ☐

フィルターを使用したエンジン内のオイル交換

☐ ☐

リアアングルギア内のオイル交換

☐ ☐

バルブクリアランスの点検

☐ ☐

全スパークプラグ交換

☐ ☐エアフィルターエレメントの点検または交換
(整備時)☐ ☐

エアフィルターエレメントの交換

☐ ☐

テレスコピックフォーク内のオイル交換

☐ ☐

システム全体のブレーキフルードの交換

☐ ☐

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

	はい	なし
BMW Motorrad サービス	☐	☐
フィルターを使用したエンジン内のオイル交換	☐	☐
リアアングルギア内のオイル交換	☐	☐
バルブクリアランスの点検	☐	☐
全スパークプラグ交換	☐	☐
エアフィルターエレメントの点検または交換 (整備時)	☐	☐
エアフィルターエレメントの交換	☐	☐
テレスコピックフォーク内のオイル交換	☐	☐
システム全体のブレーキフルードの交換	☐	☐

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

	はい	なし
BMW Motorrad サービス	☐	☐
フィルターを使用したエンジン内のオイル交換	☐	☐
リアアングルギア内のオイル交換	☐	☐
バルブクリアランスの点検	☐	☐
全スパークプラグ交換	☐	☐
エアフィルターエレメントの点検または交換 (整備時)	☐	☐
エアフィルターエレメントの交換	☐	☐
テレスコピックフォーク内のオイル交換	☐	☐
システム全体のブレーキフルードの交換	☐	☐

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

はい なし

BMW Motorrad サービス

☐ ☐

フィルターを使用したエンジン内のオイル交換

☐ ☐

リアアングルギア内のオイル交換

☐ ☐

バルブクリアランスの点検

☐ ☐

全スパークプラグ交換

☐ ☐

エアフィルターエレメントの点検または交換
(整備時)

☐ ☐

エアフィルターエレメントの交換

☐ ☐

テレスコピックフォーク内のオイル交換

☐ ☐

システム全体のブレーキフルードの交換

☐ ☐

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

	はい	なし
BMW Motorrad サービス	☐	☐
フィルターを使用したエンジン内のオイル交換	☐	☐
リアアングルギア内のオイル交換	☐	☐
バルブクリアランスの点検	☐	☐
全スパークプラグ交換	☐	☐
エアフィルターエレメントの点検または交換 (整備時)	☐	☐
エアフィルターエレメントの交換	☐	☐
テレスコピックフォーク内のオイル交換	☐	☐
システム全体のブレーキフルードの交換	☐	☐

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

BMW Motorrad サービス

はい なし

☐ ☐

フィルターを使用したエンジン内のオイル交換

☐ ☐

リアアングルギア内のオイル交換

☐ ☐

バルブクリアランスの点検

☐ ☐

全スパークプラグ交換

☐ ☐

エアフィルターエレメントの点検または交換
(整備時)

☐ ☐

エアフィルターエレメントの交換

☐ ☐

テレスコピックフォーク内のオイル交換

☐ ☐

システム全体のブレーキフルードの交換

☐ ☐

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

	はい	なし
BMW Motorrad サービス	☐	☐
フィルターを使用したエンジン内のオイル交換	☐	☐
リアアングルギア内のオイル交換	☐	☐
バルブクリアランスの点検	☐	☐
全スパークプラグ交換	☐	☐
エアフィルターエレメントの点検または交換 (整備時)	☐	☐
エアフィルターエレメントの交換	☐	☐
テレスコピックフォーク内のオイル交換	☐	☐
システム全体のブレーキフルードの交換	☐	☐

注意事項

押印、署名

270 サービス

一般整備記録

この表は、メンテナンスおよび修理作業、アクセサリーの取り付け、特別キャンペーンの実施についての証明となります。

[illegible]

電子式エンジン始動ロックシステム(イモビライザー) に関する認証	273
KEYLESS RIDE に関する認証	276
TFT メーターパネル用認証	280

Declaration of Conformity

Radio equipment electronic immobiliser (EWS4)

For all countries without EU

Technical information

Frequency Band: 134 kHz
(Transponder: TMS37145 /
Type DST80, TMS3705
Transponder Base Station IC)
Output Power: 50 dBμV/m

Manufacturer and Address

Manufacturer:
BECOM Electronics GmbH
Address: Technikerstraße 1,
A-7442 Hochstraß

Argentina

 **RAMATEL**
H-25246

Australia/New Zealand



R-NZ

Brunei



TA No: DTA-007061

United Arab Emirates

TRA
REGISTERED No:
ER89926/20

DEALER No:
DA96133I20

Philippiens



NTC

Type Approved
No.: ESD-RCE-2023298

South Africa



TA-2020/6131

APPROVED

India

ETA-SD-20200905860

Belarus



Indonesia

72790/SDPPI/2021
13349



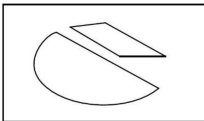
Dilarang melakukan perubahan
Spesifikasi yang dapat
Menimbulkan gangguan fisik
dan/atau elektromagnetik
terhadap lingkungan sekitarnya

Taiwan



低功 電波 射性電機管 辦法
第十二條 經型式認證合格之低
功率射頻電 機，非經許可，公
司、商號或使用者均不得擅 自變
更頻率、加大功率或變更原設計
之特性及 功能。第十四條 低功
率射頻電機之使用不 得影響飛航
安全及干擾合法通信；經發現有
干 擾現象時，應立即停用，並改
善至無干擾時方 得繼續使用。前
項合法通信，指依電信法規定作
業之無線電 通信。

Paraguay



CONATEL

NR: 2020-11-I-0834

Malaysia



RFCL/47A/0920/S(20-3358)

Singapore

Complies with
IMDA Standards
N3504-20

Israel

מספר אישור אלחוטי של משרד התקשורת הוא
51-74908
אסור להחליף את האנטנה המקורית של המכשיר
ולא
לעשות בו כל שינוי טכני אחר

United States (USA)

Contains FCC ID:

ODE-MREWS5012

FCC § 15.19 Labelling requirements

This device complies with part 15 of the FCC Rules and Industry Canada's licence-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

FCC § 15.21 Information to user

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

RF Exposure Requirements

To comply with FCC RF exposure compliance requirements, the device must be installed to provide a separation distance of at least 20 cm from all persons.

Serbia



P1620118300

Canada

Contains IC:

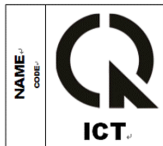
10430A-MREWS5012

This device complies with part 15 of the FCC Rules and Industry Canada license-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Vietnam



A1109091120AF04A3

Certifications

BMW Keyless Ride ID Device



USA, Canada:

Product name: BMW Keyless Ride ID
Device FCC ID: YGOHUF5750
IC: 4008C-HUF5750



Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Canada:

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

USA:

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Argentina:

CNC COMISIÓN NACIONAL
DE COMUNICACIONES

H-17115

Declaration Of Conformity

We declare under our responsibility that the product

BMW Keyless Ride ID Device (Model: HUF5750)

complies with the appropriate essential requirements of the article 3 of the R&TIE and the other relevant provisions, when used for its intended purpose. Applied Standards:

1. Health and safety requirements contained in article 3 (1) a)
 - EN 60950-1:2006+A11:2009+A1:2010+A12:2011; Information technology equipment-Safety
2. Protection requirements with respect to electromagnetic compatibility article 3 (1) b)
 - EN 301 489-1 (V1 .9.2, 09/2011), Electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Electromagnetic compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 1: Common technical requirements
 - EN 301 489-3 (V1.4.1, 08/2002) Electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Electromagnetic compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 3: Specific conditions for short range devices (SRD) operating on frequencies between 9 kHz and 40 GHz
3. Means of the efficient use of the radio frequency spectrum article 3 (2)
 - EN 300 220-1 & -2 (V2.4.1, 05/2012), electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Short range devices (SRD); Radio equipment to be used in the 25 MHz to 1000 MHz frequency range with power levels ranging up to 500 mW; Part 1: Technical characteristics and test methods. Part 2: Harmonized EN covering essential requirements under article 3.2 of the R&TIE directive

The product is labeled with the CE marking:



Velbert, October 15th, 2013

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Ben A. Müller', is written over a horizontal line.

Benjamin A. Müller

Product Development Systems
Car Access and Immobilization -
Electronics Huf Hülsbeck & Fürst
GmbH & Co. KG
Steege Straße 17, D-42551
Velbert

Declaration of Conformity

Radio equipment TFT instrument cluster

For all Countries without EU

Technical information

BT operating frq. Range:
2402 – 2480 MHz
BT version: 4.2 (no BTLE)
BT output power: < 4 dBm
WLAN operating frq. Range:
2412 – 2462 MHz
WLAN standards:
IEEE 802.11 b/g/n
WLAN output power: < 20 dBm

Manufacturer and Address

Manufacturer:
Robert Bosch GmbH
Address: Robert Bosch Str. 200,
31139 Hildesheim, Germany

Turkey

Robert Bosch GmbH, ICC6.5'in
tipi telsiz sisteminin 2014/53/EU
nolu yönetmeliğe uygun
olduğunu beyan eder. AB
Uygunluk Beyanı'nın tam metni,
aşağıdaki internet adresinden
görülebilir: <http://cert.bosch-carmultimedia.net>

Argentina

 **RAMATEL**

C-24711

Brazil

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário.

Canada

This device complies with Industry Canada's licence-exempt RSSs and part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause interference, and
- (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Korea

적합성평가에 관한 고시

R-CMM-RBR-ICC65IN

상호 : Robert Bosch GmbH모델

명 : ICC6.5in

기자재명칭 : 특정소출력 무선기기
(무선데이터통신시스템용 무선기기)

제조사 및 제조국가 : Robert

Bosch GmbH / 포르투갈

제조년월 : 제조년월로 표기

이 기기는 업무용 환경에서 사용할

목적으로 적합성평가를 받은 기기

로서 가정용 환경에

서 사용하는 경우 전파간섭의 우려

가 있습니다.

다.

Mexico

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

(1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y

(2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

Taiwan, Republic of

根據 NCC 低功率電波輻射性電機
管理辦法 規定: 第十二條

經型式認證合格之低功率射頻電
機, 非經許可, 公司、商號或使用
者均不得擅自變更頻率、加大功率
或變更原設計之特性及功能。

第十四條

低功率射頻電機之使用不得影響飛
航安全及干擾合法通信; 經發現有
干擾現象時, 應立即停用, 並改善
至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信,

指依電信法規定作業之無線電通
信。

低功率射頻電機須忍受合法通信或
工業、科學及醫療用電波輻射性電
機設備之干擾。

Thailand

เครื่องโทรคมนาคมและอุปกรณ์นี้

มีความสอดคล้องตามข้อกำหนดของ กทช.

(This telecommunication equipments is in compliance with NTC requirements)

United States (USA)

This device complies with Industry Canada's licence-exempt RSSs and part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause interference, and
- (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

284 索引

A

ABS

- 技術情報, 154
- 警告表示, 46, 47
- 自己診断, 137
- 操作部, 17
- 表示, 46

B

- Bluetooth, 100
- ペアリング, 100

D

DTC

- OFFにする, 67
- ONにする, 68
- 技術情報, 157
- 警告表示, 48, 49
- 自己診断, 138
- 操作する, 67

DWA

- 警告表示, 37, 38

- Dynamic Brake Control, 164
- 技術情報, 164

Dynamic ESA

- 操作する, 69
- 操作部, 17

H

- Hill Start Control, 79, 168
- ONにする／OFFにする, 80
- 技術情報, 168
- 作動不可, 51
- 操作する, 79
- 表示灯および警告灯, 50, 51

Hill Start Control Pro

- 技術情報, 168
- 操作する, 80
- 調整する, 81

K

Keyless Ride

- イグニッションを OFF にする, 60
- イグニッションを ON にする, 59
- 警告表示, 33, 34
- ステアリングロックをロックする, 58
- タンクキャップをロック解除する, 147, 148
- 電子式エンジン始動ロックシステム(イモビライザー) EWS, 60
- 無線キーのバッテリーが空になっているか、または無線キーの紛失, 61

P

- Pairing, 100
- Pre-Ride-Check, 137

R

RDC

- 技術情報, 165
- 警告表示, 43, 44, 45

Rider's Manual

- 車両における位置, 16

S

- ShiftCam, 169
- 技術情報, 169

あ

アクセサリ

- 一般的な情報, 210

値

表示, 25

アダプティブヘッドライト, 170

安全に関する注意事項

ブレーキ, 142

ライディングにあたって, 132

い

イグニッション

OFFにする, 57

ONにする, 56

イグニッションキルスイッチ

チ, 18

操作する, 63

インジケーター／警告灯, 19

全体図, 22

う

ウインカー

操作する, 63

操作部, 17

操作部(右側), 18

ウインドシールド

調整エレメント, 15

調整する, 116

え

エアクリーナー

車両内の位置, 15

取り付ける, 193

取り外す, 192

エンジン

警告表示, 40, 41

始動, 136

仕様(諸元), 239

エンジンオイル

エンジンオイルレベル用警告表

示, 38

充填レベル表示, 15

充填レベルを点検する, 175

仕様(諸元), 238

注入口, 15

電子制御式オイルレベルコント

ロール, 38

補充する, 177

エンジン温度, 39

エンジン回転数表示, 19

エンジン回転数表示, 97

エンジン始動ロック, 60

スペアキー, 57

エンジンブレーキトルクレギュ

レーター, 159

お

お手入れ

クローム, 226

洗車, 224

ペイント保護コーティング

グ, 227

オフロード走行, 140

オンボードコンピューター, 103

か

外気温度, 33

型式プレート

車両における位置, 15

き

キー, 56, 58

記号と意味, 4

ギヤチェンジ

シフトアップ推奨, 98

286 索引

ギヤボックス

仕様(諸元), 240

給油する, 146

Keyless Ride 装備, 147, 148

燃料品質, 145

く

クーラント

充填レベルを点検する, 182

補充する, 183

駆動システム故障警告灯, 40

クラッチ

機能を点検する, 182

仕様(諸元), 239

ハンドルレバーを調整する, 117

グリップヒーター

操作する, 85

操作部, 18

クルーズコントロール

操作する, 76

け

警告灯, 19

全体図, 22

警告表示

ABS, 46, 47

DTC, 48, 49

DWA, 37

Hill Start Control, 50, 51

Keyless Ride, 33, 34

My Motorcycle, 103

RDC, 43

エンジン, 40

エンジンエレクトロニクス, 41

エンジンオイルレベル, 38

エンジン温度, 39

エンジンコントロール, 40, 41

外気温度警告, 33

ギア未学習, 51

駆動システム故障警告灯, 40

サービス, 52

サイドスタンド, 46

車両電装システム電圧, 34, 35

盗難警報装置, 37

表示, 25

フューエルリザーブ容量, 50

ライトコントロールの故障, 37

ライトバルブの故障, 36

警告表示一覧, 27

ケース

操作する, 211

こ

コンビネーションスイッチ

左側面, 17

右側面, 18

さ

サービス, 253

警告表示, 52

サービス履歴, 254

サービス表示, 52

サスペンション

仕様(諸元), 241

し

シート

シート高を調整する, 125

高さ調整の位置, 16

脱着する, 123

ロック, 14

シートヒーター

操作する, 85

始動, 136
 操作部, 18
 始動補助, 198
 シフトアシスト
 ギア未学習, 51
 技術情報, 167
 走行, 141
 シフトレバー
 調整する, 120
 締め付けトルク, 235
 車両識別番号
 車両における位置, 15
 車両電装システム電圧, 34, 35
 USB 充電ソケット
 車両における位置, 15
 重量
 仕様(諸元), 248
 積載荷重一覧, 16
 仕様(諸元)
 エンジン, 239
 エンジンオイル, 238
 ギヤボックス, 240
 クラッチ, 239
 サスペンション, 241
 重量, 248
 スパークプラグ, 245
 寸法, 246
 性能, 248
 電装系, 244
 盗難警報装置, 246
 燃料, 238
 バッテリー, 245
 バルブ, 245
 ブレーキ, 242
 フレーム, 240

 ホイールとタイヤ, 243
 リヤホイールドライブ, 240
 ショックアブソーバー
 調整エレメント(リヤ), 14
 診断コネクター
 固定する, 205
 外す, 205

す

ステアリングロック
 ロックする, 56
 ステータスバー(上側)
 調整する, 95, 96
 スパークプラグ
 テクニカルデータ, 245
 スピードメーター, 19
 スプリングプリロード
 調整エレメント(リヤ), 15
 調整する, 127
 寸法
 仕様(諸元), 246

せ

制限速度情報
 ON または OFF にする, 97
 性能
 仕様(諸元), 248
 全体図
 My Motorcycle, 103
 TFT ディスプレイ, 23, 24
 インジケーター／警告灯, 22
 シート下, 16
 左コンビネーションスイッチ, 17
 左側面, 14
 右コンビネーションスイッチ, 18

288 索引

右側面, 15
メーターパネル, 19

そ

走行モード
技術情報, 160
走行モードProを設定する, 75
操作部, 18
調整する, 72
操作焦点
交換する, 95

た

タイヤ
最高速度, 133
充填圧, 244
充填圧表, 16
充填圧を点検する, 184
仕様(諸元), 243
トレッドの溝の深さを点検する, 185
慣らし走行, 139
タイヤ空気圧コントロール(RDC)
表示, 42
タンクキャップ緊急ロック解除機構, 149

ち

チェックコントロール
ダイアログ画面, 25
表示, 25
駐車, 144

つ

ツールキット
車両における位置, 16

て

デイルイト
オートマチックデイルイト, 66
手動デイルイト, 65
TFT ディスプレイ, 19
全体図, 23, 24
操作する, 94, 95
操作部, 17
表示を選択する, 91
電源ソケット
使用上の注意, 210
電装系
仕様(諸元), 244
電話
操作する, 109

と

盗難警報装置(DWA)
インジケーター／警告灯, 19
仕様(諸元), 246
操作する, 81
時計, 99
トップケース
操作する, 214
トラクションコントロール
DTC, 157
トラブルシューティング, 232

な

ナビゲーション
操作する, 106
慣らし走行, 139

に

荷物
積載に関する注意, 133

ね

燃料

- Keyless Ride 装備の場合の給油, 147, 148
- 給油する, 146
- 仕様(諸元), 238
- 注入口, 14
- 燃料品質, 145

は

- パーキングライト, 64
- ハザードランプ
 - 操作する, 63
 - 操作部, 17, 18
- バッテリー
 - 警告表示, 34, 35
 - 仕様(諸元), 245
 - 接続しているバッテリーを充電する, 200
 - 取り付ける, 202
 - 取り外す, 201
 - 外したバッテリーを充電する, 201
 - メンテナンスに関する注意, 199
- バルブ
 - LED バルブを交換する, 194
 - 警告表示, 36
 - 仕様(諸元), 245
 - ハイビーム, 194
 - ポジション／パーキングライト, 196
 - ロービーム, 194
- ハンドルバー
 - 調整する, 122

ひ

Pure Ride

- 全体図, 23
- ヒューズ
 - 交換する, 203

ふ

- フォロミーホームライト, 56, 64
- フューエルリザーブ容量
 - 警告表示, 50
 - 航続可能距離, 98
- ブレーキ
 - ABS Pro の詳細, 156
 - ABS Pro は走行モードに対応, 143
 - Dynamic Brake Control は走行モードに対応, 143
 - 安全に関する注意事項, 142
 - 機能を点検する, 177
 - 仕様(諸元), 242
 - ハンドルレバーを調整する, 118
 - ブレーキペダルを調整する, 119
- ブレーキパッド
 - 慣らし走行, 139
 - フロントを点検する, 178
 - リヤを点検する, 179
- ブレーキフルード
 - フロント充填レベルを点検する, 180
 - フロントリザーバータンク, 15
 - リヤ充填レベルを点検する, 181
 - リヤリザーバータンク, 15

290 索引

フレーム

仕様(諸元), 240

フロントホイールスタンド

取り付ける, 175

へ

ヘッドライト

光軸, 115

ほ

ホイール

サイズ変更, 186

仕様(諸元), 243

スポークを点検する, 185

フロントホイールを取り付け

る, 188

フロントホイールを取り外

す, 186

ホイールリムを点検する, 185

リヤホイールを取り付け

る, 191

ホーン, 17

ボルト, 235

本書の記述について, 6

み

ミラー

調整する, 114

ミラーアームを調整する, 115

ミラーを調整する, 114

む

無線キー

警告表示, 33, 34

め

メンテナンス

メンテナンススケジュール, 256

メンテナンススケジュール, 254

メンテナンスの確認, 258

メーターパネル

周囲輝度センサー, 19

全体図, 19

メディア

操作する, 108

メニュー

呼び出す, 94

も

モーターサイクル

お手入れ, 222

固定する, 150

再使用, 228

清掃する, 222

駐車, 144

長期保管, 227

モビリティサービス, 254

ら

ライト

オートマチックデイルイト, 66

手動デイルイト, 65

操作部, 17

パーキングライト, 63, 64

ハイビームを操作する, 64

パッシングライトを操作する, 64

フォローミーホームライト, 64

補助ヘッドライトを操作する, 64

ロービーム, 63

Rallye シート

高さ調整, 127

取り付ける, 127

取り外す, 126

り

リサイクル, 252

リモートコントロール

バッテリーを交換する, 61

リヤホイールドライブ

仕様(諸元) , 240

ろ

ローダウンサスペンション

制限, 132

ご購入いただきました車両の装備、アクセサリー、仕様は、本書の説明や図と異なる場合があります。これらについてのクレームはご容赦ください。

本書に記載されている寸法、重量、燃費、性能などのデータには、一般に認められている許容誤差が含まれています。

デザイン、装備、アクセサリーなどは、製品を改良するために予告なく変更することがあります。印刷の誤りや誤字、脱字に起因するクレームはご容赦ください。

© 2022 Bayerische Motoren
Werke Aktiengesellschaft
80788 München, Germany

本書はその全部について、たとえ一部であっても、BMW Motorrad After Sales から書式による承諾を得た場合を除き、転載や複製することは禁じられています。

Rider's Manual、Printed in
Germany

燃料補給用データ：

燃料

推奨フューエルグレード	無鉛プレミアムガソリン(ハイオク) (エタノール 15 %以下、E15) 95 ROZ/RON 90 AKI
燃料品質の選択肢	無鉛レギュラー(出力ロスあり) (最大 15%エタノール、E15) 91 ROZ/RON 87 AKI
フューエル容量	約 30 l
フューエルリザーブ容量	約 4 l
タイヤ充填圧	
タイヤ空気圧(フロント)	2.5 bar、タイヤ冷間時
タイヤ空気圧(リヤ)	2.9 bar、タイヤ冷間時

ご使用の車両に関する詳細情報については、こちらのサイトをご覧ください：
bmw-motorrad.com

